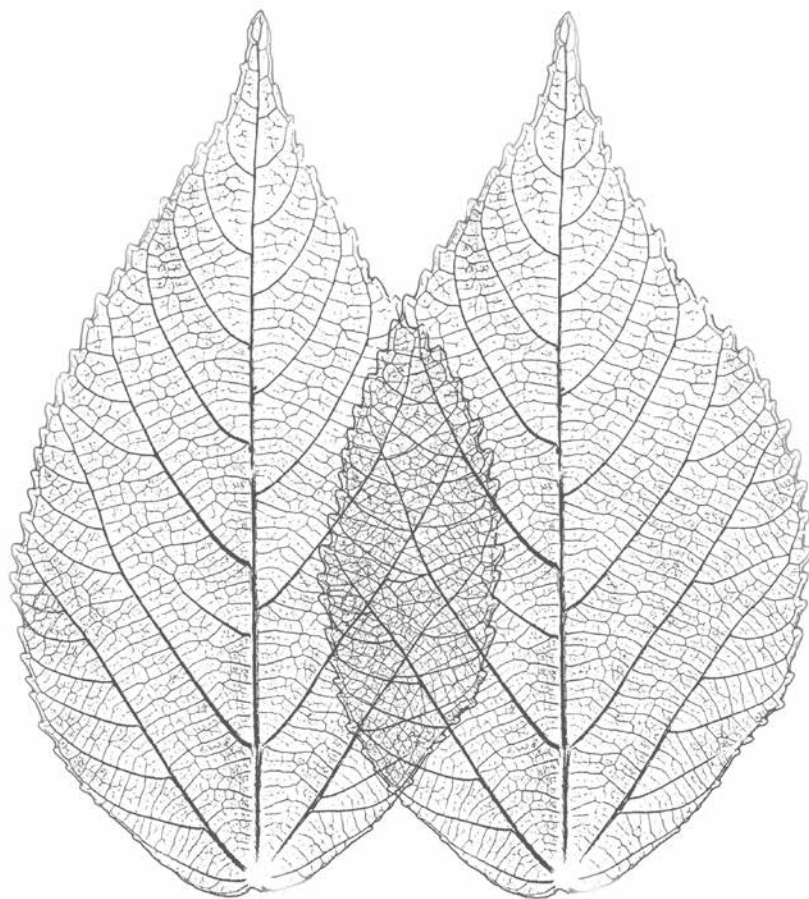


人環レビュー

教育・研究活動の自己評価

資料編

2022



● 目 次

目次	—	1	2. 総合人間学部	—	18
人間・環境学研究科 教育研究上の目的と方針	—	3	【資料 2-1】 学生数の推移	19	
教育研究上の目的	3		【資料 2-2】 入学状況	19	
アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	3		【資料 2-3】 編入学生の受入状況	19	
カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）	4		【資料 2-4】 転学部の状況	20	
ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	4		【資料 2-5】 留年・休学・退学の状況	20	
学位授与基準	4		【資料 2-6】 分属の状況	20	
			【資料 2-7】 各学系の授業形態	21	
総合人間学部 教育研究上の目的と方針	—	5	【資料 2-8】 授業形態別履修者数	21	
教育研究上の目的	5		【資料 2-9】 総人ゼミの開講状況	21	
アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	5		【資料 2-10】 他学部聴講の状況	21	
カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）	5		【資料 2-11】 外国の大学において修得した単位の認定状況	22	
ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	5		【資料 2-12】 入学前既修得単位の認定状況	22	
			【資料 2-13】 成績評価の方法	22	
沿革	—	6	【資料 2-14】 全学共通科目の開講コマ数（2019(R1) 年度）	23	
歴代総合人間学部長・人間・環境学研究科長	7		【資料 2-15】 主専攻・副専攻の文理分布	23	
			【資料 2-16】 「研究を他者に語る」実施アンケート	24	
			【資料 2-17】 修業年限内卒業率と 「標準修業年限×1.5」年内卒業率	24	
1. 研究教育体制	—	8	【資料 2-18】 卒業生の進路	25	
【資料 1-1】 研究教育組織	9		【資料 2-19】 就職状況	25	
【資料 1-2】 他部局ならびに学外諸機関との協力体制	10		【資料 2-20】 資格取得状況	26	
【資料 1-3】 人間・環境学研究科 教員構成	11		【資料 2-21】 奨学金制度・免除制度の採用状況	26	
【資料 1-4】 総合人間学部 教員構成	12				
【資料 1-5】 管理運営組織	13				
【資料 1-6】 委員会組織	14				
【資料 1-7】 教員数の推移	15				
【資料 1-8】 教員の年齢・性別構成	17				
【資料 1-9】 授業科目の担当状況	17				
【資料 1-10】 事務職員・技術職員の配置状況	17				
			3. 人間・環境学研究科	—	28
			【資料 3-1】 学生数の推移	29	
			【資料 3-2】 入学状況	29	
			【資料 3-3】 研究生在籍数	30	
			【資料 3-4】 留年・休学・退学の状況	30	
			【資料 3-5】 修士課程 開設科目数	30	
			【資料 3-6】 他研究科への聴講の状況	30	
			【資料 3-7】 単位互換制度の利用状況	31	
			【資料 3-8】 入学前既習得単位の認定状況	31	
			【資料 3-9】 TA 採用状況	31	
			【資料 3-10】 TA 運用状況	31	
			【資料 3-11】 RA 採用状況	31	
			【資料 3-12】 成績評価の方法	32	
			【資料 3-13】 修士課程 単位修得状況	32	
			【資料 3-14】 修士課程 学位授与の状況	32	
			【資料 3-15】 修士課程 標準修業年限内修了率と 「標準修業年限×1.5」年内修了率	33	
			【資料 3-16】 修士課程修了者の進路	33	
			【資料 3-17】 修士課程修了者の就職状況	34	
			【資料 3-18】 博士後期課程 学位授与の状況	35	
			【資料 3-19】 博士後期課程 標準修業年限内修了率と 「標準修業年限×1.5」年内修了率	35	



【資料 3-20】 博士後期課程修了者・研究指導認定退学者の進路	35
【資料 3-21】 博士後期課程修了者・研究指導認定退学者の就職状況	36
【資料 3-22】 教員免許状資格取得状況	36
【資料 3-23】 日本学術振興会特別研究員の採用状況	37
【資料 3-24】 奨学金制度・免除制度の採用状況	37

4. 教育研究指導 — 38

【資料 4-1】 ガイダンスについて	39
【資料 4-2】 学習指導方法の工夫	40
【資料 4-3】 授業時間外学習を促す工夫	41
【資料 4-4】 基礎学力不足の学部学生への配慮	42
【資料 4-5】 研究教育上の目的やディプロマ・ポリシーを意識した学習方法・成績評価の観点（基準）	42
【資料 4-6】 学生の学会発表者数	43
【資料 4-7】 学会への参加を促す取り組み	43
【資料 4-8】 他大学・公的機関および企業との共同研究	43
【資料 4-9】 他大学・公的研究機関の共同利用施設・設備の利用に関わる研究課題採択数	44
【資料 4-10】 学際教育研究部の活動	45
【資料 4-11】 外部資金等の受入状況	46
【資料 4-12】 学生・修了生が獲得した助成金等	47
【資料 4-13】 人文・社会系若手研究者出版助成による出版物	48
【資料 4-14】 学生・修了生の受賞状況	49
【資料 4-15】 学生の論文掲載数	50
【資料 4-16】 メディアに取り上げられた学生・修了生	50
【資料 4-17】 学生相談室の利用件数	50

5. 国際交流 — 52

【資料 5-1】 留学生の受入状況（総合人間学部）	53
【資料 5-2】 日本人学生の留学状況（総合人間学部）	53
【資料 5-3】 留学生の受入状況（人間・環境学研究科）	53
【資料 5-4】 出身地域別留学生受入数（人間・環境学研究科）	54
【資料 5-5】 外国人研究者等の受入状況	54
【資料 5-6】 招へい外国人学者による国際交流セミナー開催状況	55
【資料 5-7】 部局間学術交流協定締結先一覧	55

6. 施設・設備 — 56

【資料 6-1】 使用目的別 室数と保有面積	57
【資料 6-2】 使用形態別 室数と保有面積	57

7. 社会との交流・公開 — 58

【資料 7-1】 公開講座開催状況	59
【資料 7-2】 総合人間学部オープンキャンパス開催状況	59
【資料 7-3】 本研究科関係発行元による学術誌	60
【資料 7-4】 アウトリーチ活動について	61

8. 各種アンケート調査 — 62

【資料 8-1】 総合人間学部 授業評価アンケート結果	63
【資料 8-2】 人間・環境学研究科 授業評価アンケート結果	64
【資料 8-3】 総合人間学部 在学生・卒業生アンケート結果	65
【資料 8-4】 人間・環境学研究科 修士課程 M2 学生アンケート結果	71
【資料 8-5】 人間・環境学研究科 修士課程 修了時アンケート結果	73
【資料 8-6】 人間・環境学研究科 博士後期課程 修了（認定退学）時アンケート結果	75
【資料 8-7】 総合人間学部 卒業生（卒業後 3 年目）アンケート結果	77
【資料 8-8】 人間・環境学研究科 修士課程修了生（修了後 3 年目）アンケート結果	78
【資料 8-9】 人間・環境学研究科 博士後期課程修了生（認定退学含む）（修了後 3 年目）アンケート結果	79

過去に実施したアンケート（『人環レビュー資料編 2018』に収録）

- ・ 総合人間学部 人間・環境学研究科同窓生アンケート結果
（2012(H24) 年度実施）
- ・ 「社会が見た京都大学総合人間学部・大学院人間・環境学研究科」アンケート調査結果
（2016(H27) 年度実施）
- ・ 総合人間学部入学者出身高校へのアンケート結果
（2016(H28) 年度実施）

● 人間・環境学研究科 教育研究上の目的と方針

教育研究上の目的

人間・環境学研究科は、環境、自然、人間、文明、文化を対象とする幅広い学問分野の連携を通じて、人間と環境のあり方についての根源的な理解を深めるとともに、人間と環境のよりよい関係を構築するための新たな文明観、自然観の創出に役立つ学術研究を推進することを目指す。また、こうした研究活動を推進するなかで、人間及び環境の問題に対して広い視野、高度な知識、鋭い先見性をもって取り組むことのできる研究者、指導者、実務者を養成することを目的とする。

＜共生人間学専攻＞

共生人間学専攻では、「人間相互の共生」という視点に立ち、人間と環境の相関関係において人間の根源を探索しつつ、現代社会の具体的諸課題に取り組み、社会的要請に柔軟に応えられる研究者、指導者、実務者の養成を目指す。

＜共生文明学専攻＞

共生文明学専攻では、共生・融和の可能性を追求するため、多様な文明の間にみられる対立・相克の構造を解明するとともに、歴史・社会・文化の諸相にわたって複雑にからみあう文明の諸問題に新たな見地から取り組み、解決の方向性を示すことのできる研究者、指導者、実務者の養成を目指す。

＜相関環境学専攻＞

相関環境学専攻では、人間と自然環境の関わりを包括的に理解することを目指した基礎研究を展開するとともに、自然と人間の調和を図るために必要な新しい社会システムの確立に、高度な見識と科学的・論理的判断力をもって貢献することのできる研究者、指導者、実務者の養成を目指す。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

現代の科学・技術は、人間の可能性を限りなく押し広げてきた反面、地球環境問題、エネルギー問題、地域紛争、富の地域間格差等の諸問題を次第に顕在化させ、グローバル化の波とあいまって、わたしたちに新たな課題をつきつけています。人間・環境学研究科は、こうした新たな問題群に立ち向かい、地球規模での危機的状況を打開・克服するために、これまでの知の蓄積を踏まえつつ、新たな知のパラダイムを構築し、高い倫理性と強い責任感をもって社会の発展に貢献することのできる人を求めています。

人間・環境学研究科への入学を希望する人に求めるものは、下記に示す資質・能力です。

1. 特定の学問分野を主軸とする専門的研究において、問題の設定からその解決方法の提示に至る研究過程に取り組むことのできる知識、能力ならびに熱意を有していること。
2. 他者や異文化に対する理解を尽くした上で、自らの見解を形成し、それを豊かに表現するプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力、ならびにリーダーシップを持っていること。
3. 人文科学・社会科学・自然科学を横断する幅広い知識と教養を身につけ、自らの専門分野のみに閉じこもらない、人間・文明・自然に対する、多角的な視点や柔軟な発想力を培っていること。
4. 「人間・環境学研究科」の名称にある「・」は、加算的な意味合いの「・」ではなく、乗算的な意味合いのそれである。この名称が示唆するように、既成の知を熟知しているだけでなく、それを基盤に新たな創造的飛躍をなしうる知的軽やかさを身につけていること。

人間・環境学研究科の入学者選抜においては、上記の資質・能力を多角的に測るため、専門分野についての筆答試験、外国語の筆答試験または外部試験、および口述試験または論文試験を柔軟に組み合わせて評価を行います。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

人間・環境学研究科は、社会に湧き起こる新たな問題群の解決には従来の思考枠では対処することができないという基本認識に立ち、新しいパラダイムを創出するという目的意識の下に、共生人間学、共生文明学、相関環境学の3専攻を置いています。同一専攻に近接分野を多く配置することによって専門性に重点を置き、専門を掘り下げてその裾野を広げ、裾野を広げることによって頂上を高くすることをめざしています。

ディプロマ・ポリシーに示された目標を達成するために、多様な専門分野の科目を体系的に編成するとともに、分野横断的・専攻横断的な科目を設定しています。学生の自主性を尊重した教育を実施し、学生が倫理と責任について十分な意識をもつよう、教員と学生の対話を重視しています。

修士課程では専門分野における研究能力と高度な専門性を修得するために、学生は研究指導科目を中心として、講義・演習・実習からなる自専攻開設科目を履修しますが、研究の視野を拡大するために他専攻あるいは他研究科の開設する科目の履修も推奨されます。指導体制については、主指導教員と副指導教員による複数指導体制を採り、狭い専門の殻に自閉しないよう配慮しています。

学位論文の作成とともに、自立して研究を推進する能力や高度な専門業務を行う能力を修得することを目的とする博士後期課程では、学生は指導教員との密接な対話の下に研究を深化させます。また主指導教員と副指導教員を配置した複数指導体制を採り、複眼的思考の強化育成と基盤となる学識の形成を図っています。

修士課程と博士後期課程を通覧できるカリキュラム・マップにより、教育と学修の構造や体系が把握できるようにしています。各科目の内容の詳細や学修成果の評価方法についてはシラバスに明示されています。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

人間・環境学研究科は、環境、自然、人間、文明、文化を対象とする幅広い学問分野の連携を通して、人間と環境のあり方についての根源的な理解を深めるとともに、こうした研究活動を推進するなかで、人間及び環境の問題に対して広い視野と高度な知識、高い倫理性と強い責任感をもって取り組むことのできる研究者、指導者、実務者を養成することをめざしています。

修士課程においては、必修である研究指導科目、選択必修である自専攻開設科目、さらに選択科目である他専攻開設科目を履修して所定の単位を修得し、かつ本研究科が行う学位論文の審査に合格した者に、修士（人間・環境学）の学位を授与します。学位認定にあつては、以下のことが求められます。

1. それぞれの専門領域における広範かつ深い学識や広い視野に基づく研究能力を身につけていること。
2. それらに基づく高度な分析・判断能力や論理的な論述能力を修得していること。
3. 上記のことを通して、高度な専門性を必要とする職業を担うための優れた能力を培っていること。

博士後期課程においては、特別研究、特別演習、特別セミナーを履修して所定の単位を修得し、かつ本研究科が行う学位論文の審査に合格した者に、博士（人間・環境学）の学位を授与します。学位認定にあつては、以下のことが求められます。

1. それぞれの専門領域における高度な学識や学際的な幅広い視野に基づく研究能力を身につけていること。
2. 「着想の独創性」、「問題解決の企画力」、「持続的努力」などの観点からめざましい学問的成果を上げていること。
3. 上記のことを通して、新たな知的価値の創出に寄与できる研究職や高度な専門業務に従事するための優れた能力を培っていること。

学位授与基準

修士課程においては、必修である研究指導科目、選択必修である自専攻開設科目、さらに選択科目である他専攻開設科目を履修し、幅広い知識と高度の研究能力を修得した上で、「着想の独創性」、「論述の論理性」などの観点から相当の研究成果を上げたと思われる学位論文を作成した学生に対し、修士（人間・環境学）の学位を授与する。

博士後期課程においては、特別研究、特別演習、特別セミナーを履修し、所定の単位を修得した上で、「着想の独創性」、「論述の論理性」、「問題解決の企画力」、「持続的努力」などの観点からめざましい学問的成果を上げたと思われる優れた学位論文を作成した学生に、博士（人間・環境学）の学位を授与する。

● 総合人間学部 教育研究上の目的と方針

教育研究上の目的

総合人間学部は、人間と文明と自然の結びつきに新たな次元を確立するために、人類が直面する様々な問題を人間活動の広範な諸領域を通低させる形で問い直し、これまでの人文科学、社会科学、自然科学を融合した新しい学問の体系を構築することを、すなわち、新たな「人間の学」の創出を目指す。さらに、このような学問的探求を通じて、科学技術の急速な発展と国際化の進展など著しく変化するこれからの社会に対して、持続的かつ創造的に対処しうる広い視野を持った人材を育成することを目的とする。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

総合人間学部は、たえず変化する現代社会における人間と文明と自然の新たな結びつきを見出すために、人文科学、社会科学、自然科学を横断する「人間の学」の創出をめざしています。この挑戦に積極的に加わりようとする志をもつ人、高い倫理性と豊かな人間性を持ちつつ、国際的視野から人類が直面する様々な課題に向きあおうとする進取の精神をもつ人、持続的で創造的な取り組みを支える教養を身につけたいと考える人を本学部は求めます。

総合人間学部が入学を希望する人に求めるものは、高等学校の教育課程の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加えて、その内容を活用する主体的な思考力・判断力・表現力、そして他者と協働しながら学ぶ態度です。

総合人間学部の入学者選抜は、京都大学の一般選抜において、文系試験と理系試験の2つに分けて実施し、多様な基礎的学力を測ります。また本学部独自の特色入試では、高等学校における学びの成果、基礎的学力とともに、文系と理系の総合的な思考力・表現力を評価します。これらの入試においては、総合的な学力の評価を行うために大学入学共通テストの成績を取り入れ、合否判定を行っています。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

総合人間学部では、新たな「人間の学」の創出を主軸として、卒業の認定に関する方針に示した目的を達成するために、多様な学問分野を網羅する教員陣のもとで、教養教育・基礎教育と専門教育を体系的に一体化したカリキュラムを提供します。比較的近い学問分野で構成する学系を複数設置し、各学系のコースツリーならびに個別の学問分野の履修モデルを提示することにより、カリキュラム体系の構成を具体的に示します。講義や演習等として行われる個々の授業科目の内容および、定期試験・レポート・平常点による評価方法の詳細については、シラバスに記載します。

総合人間学部には所属する学生には、以下の指針に従って自律的に学修することを求めます。

1. 文理にまたがる多様な教養・基礎科目、複数の学系の入門科目、複数の外国語科目等を幅広く学び、人間・文明・自然に対する幅広い知識と理解力を修得し、豊かな人間性と高い倫理性を育む。
2. ゼミ・演習等の少人数科目を履修し、教養・基礎から専門の領域にわたる知識と能力を濃密な議論の中で培うとともに、他者に自らの見解を表現するためのプレゼンテーション能力および対話能力を身につける。
3. 学年の進行とともに、自らの学問的関心に応じて一つの学系を主専攻として選択して系統的に学び、自らの知的な核となる専門性を修得する。
4. 主専攻とは異なる学問分野を副専攻として系統的に学び、自らの専門分野に捉われない柔軟で重層的な思考力を養う。
5. 主専攻の分野において指導教員を選び、そのもとで卒業論文・卒業研究に取り組む。学修成果は複数の教員により審査される。こうした研究過程を通して、専門性を深めるとともに、現代の諸問題の解決に挑戦する創造的姿勢と持続力を育む。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

総合人間学部は、人間と文明と自然との新たな結びつきを見出す「人間の学」の創出を目指しています。また、この学問的追究を通して、高い倫理性と幅広い視野から創造的かつ持続的に現代の諸問題と向き合い、多様な人々と協働しながらリーダーシップを発揮する人を育成することを目的としています。これを達成するため、以下の点に到達した者に総合人間学部学士号を授与します。

1. 総合人間学部が提供する学際的な学問の場において、人文科学・社会科学・自然科学を横断する幅広い知識と教養を身につけていること。
2. 他者や異文化に対する理解を深めた上で、自らの見解を形成し、それを豊かに表現するプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力、ならびにリーダーシップを培っていること。
3. 多様な学問分野を学ぶ中で、自らの知的な核となる特定の分野を選択し、その理解を深めていること。
4. 主たる専門分野とは異なる、もう一つの分野も重点的に学ぶことによって、人間・文明・自然に対する、多角的な視点や柔軟な発想力を培っていること。
5. 卒業論文・卒業研究において、問題の設定からその解決方法の提示に至る研究過程に取り組み、一定の成果を上げていること。

● 沿革

1869(明治 2)年 5月	大阪に舎密局開校
1869(明治 2)年 9月	大阪に洋学校開校
1870(明治 3)年10月	理学所(舎密局の後身)、洋学校と合併し、開成所と改称
1880(明治13)年12月	大阪専門学校(開成所の後身)、大阪中学校と改称
1885(明治18)年 7月	大阪中学校、大学分校と改称
1886(明治19)年 4月	大学分校、第三高等学校と改称
1889(明治22)年 8月	第三高等学校、大阪から京都へ移転
1894(明治27)年 9月	第三高等学校開校(第三高等学校が改称)
1897(明治30)年 6月	京都帝国大学創設
1949(昭和24)年 5月	新制京都大学設置
1949(昭和24)年 5月	第三高等学校、京都大学所轄へ
1949(昭和24)年 8月	吉田分校および宇治分校設置
1950(昭和25)年 3月	第三高等学校廃止(以後京都大学分校と称せられる)
1954(昭和29)年 3月	分校を教養部と改称(学内措置)
1961(昭和36)年 5月	宇治分校を廃止、吉田分校に統合
1963(昭和38)年 4月	教養部設置(文部省令による改称)
1973(昭和48)年 5月	「教養部図書館」開館
1977(昭和52)年 5月	教養部に教養部改善検討委員会設置
1991(平成 3)年 4月	大学院人間・環境学研究科設置「人間・環境学専攻(第1専攻)」開設
1991(平成 3)年 4月	「人間・環境学研究科図書室」設置
1992(平成 4)年 4月	全学共通科目開講(新設の総合人間学部の科目を中心に各部局からの提供科目を加えて新編成)
1992(平成 4)年10月	総合人間学部設置(4学科)「人間学科」「国際文化学科」「基礎科学科」「自然環境学科」開設
1992(平成 4)年10月	大学院人間・環境学研究科「文化・地域環境学専攻(第2専攻)」開設
1992(平成 4)年10月	「教養部図書館」を「総合人間学部図書館」に改組
1993(平成 5)年 3月	教養部廃止
1993(平成 5)年 4月	「人間・環境学専攻」博士後期課程開設
1993(平成 5)年 4月	総合人間学部第1期生入学
1994(平成 6)年 4月	高等教育教授システム開発センター設置
1995(平成 7)年 4月	「文化・地域環境学専攻」博士後期課程開設
1996(平成 8)年 3月	大学院人間・環境学研究科棟竣工
1996(平成 8)年 4月	大学院人間・環境学研究科「アフリカ地域研究専攻(5年一貫性特別専攻)」開設
1997(平成 9)年 4月	大学院人間・環境学研究科「環境相関研究専攻(第3専攻)」開設
1998(平成10)年 3月	総合人間学部棟竣工
1998(平成10)年 4月	大学院アジア・アフリカ地域研究研究科設置に伴い、「アフリカ地域研究専攻」「東南アジア地域研究講座」移管
1999(平成11)年 4月	「環境相関研究専攻」博士後期課程開設
2002(平成14)年 4月	大学院地球環境学舎・学舎設置
2003(平成15)年 4月	大学院人間・環境学研究科と総合人間学部との一体化に伴う研究科の改組により、「共生人間学専攻」「共生明学専攻」「相関環境学専攻」の3専攻開設
2003(平成15)年 4月	総合人間学部の4学科を廃止し、「総合人間学科」1学科5学系に改組
2003(平成15)年 4月	「人間科学系」「認知情報学系」「国際文明学系」「文化環境学系」「自然科学系」開設
2003(平成15)年 4月	「総合人間学部図書館」と「人間・環境学研究科図書室」を「人間・環境学研究科総合人間学部図書館(「分室」含む)」に統合
2003(平成15)年 4月	高等教育研究開発推進機構設置
2003(平成15)年 4月	高等教育研究開発推進センター設置
2003(平成15)年 4月	高等教育教授システム開発センター廃止
2004(平成16)年 4月	国立大学法人京都大学設立
2007(平成19)年 4月	こころの未来研究センター設置(2022年4月より人と社会の未来研究院)
2008(平成20)年 4月	大学院人間・環境学研究科に「学際教育研究部」を開設
2008(平成20)年 4月	「人間・環境学研究科総合人間学部図書館分室」を廃止し、「環on」開室
2013(平成25)年 4月	国際高等教育院設置
2013(平成25)年 4月	高等教育研究開発推進機構廃止
2013(平成25)年 4月	事務組織改編(吉田南構内共通事務部開設)
2014(平成26)年 4月	国際高等教育院附属国際学術言語教育センター設置
2014(平成26)年 4月	「人間・環境学研究科総合人間学部図書館」を「吉田南総合図書館」に改組
2023(令和 5)年 4月	大学院人間・環境学研究科の3専攻を、「人間・環境学研究科専攻」1専攻に統合

歴代総合人間学部長・人間・環境学研究科長

総合人間学部長

1992(平成 4)年 10月 1日～1993(平成 5)年 3月 31日	木下 富雄
1993(平成 5)年 4月 1日～1996(平成 8)年 3月 31日	児島 眞平
1996(平成 8)年 4月 1日～1998(平成 10)年 3月 31日	三好 郁朗
1998(平成 10)年 4月 1日～2001(平成 13)年 3月 31日	林 哲介
2001(平成 13)年 4月 1日～2003(平成 15)年 3月 31日	宮本盛太郎

人間・環境学研究科長

1991(平成 3)年 4月 1日～1991(平成 3)年 9月 30日	西島 安則(研究科長事務取扱)
1991(平成 3)年 10月 1日～1993(平成 5)年 9月 30日	竹市 明弘
1993(平成 5)年 10月 1日～1997(平成 9)年 9月 30日	足利 健亮
1997(平成 9)年 10月 1日～2001(平成 13)年 3月 31日	豊島 喜則
2001(平成 13)年 4月 1日～2003(平成 15)年 3月 31日	江島 義道

人間・環境学研究科長・総合人間学部長

2003(平成 15)年 4月 1日～2004(平成 16)年 3月 31日	江島 義道
2004(平成 16)年 4月 1日～2007(平成 19)年 3月 31日	富田 博之
2007(平成 19)年 4月 1日～2010(平成 22)年 3月 31日	堀 智孝
2010(平成 22)年 4月 1日～2014(平成 26)年 3月 31日	富田 恭彦
2014(平成 26)年 4月 1日～2014(平成 26)年 9月 30日	杉万 俊夫
2014(平成 26)年 10月 1日～2016(平成 28)年 3月 31日	高橋 由典
2016(平成 28)年 4月 1日～2020(令和 2)年 3月 31日	杉山 雅人
2020(令和 2)年 4月 1日～2022(令和 4)年 3月 31日	小島 泰雄
2022(令和 4)年 4月 1日～	浅野 耕太

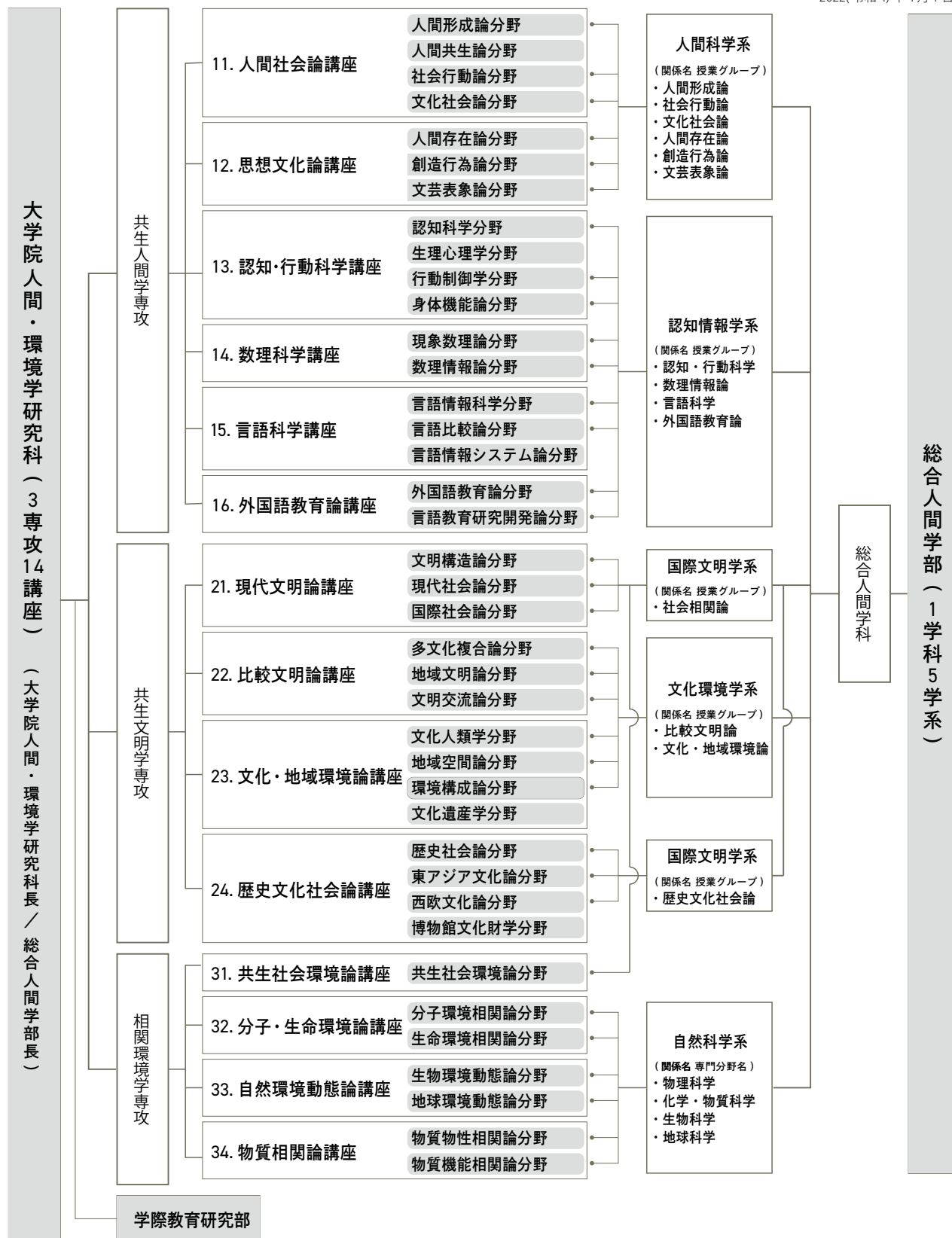


研究教育体制

1. 研究教育体制

【資料 1-1】研究教育組織

2022(令和4)年4月1日現在)



【資料 1-2】他部局ならびに学外諸機関との協力体制

2022(令和4)年5月1日現在)

区分	部局・機関名	人間・環境学研究科					総合人間学部			
		人数					人数			学系(関係)
		併任	流動	協力	客員	連携	併任	流動	協力	
学内他部局	大学院	情報学研究科						2		認知情報学系(認知・行動科学)(1)
		生命科学研究科						2		自然科学系(生物化学)(2)
		地球環境学堂・地球環境学舎	7				7			文化環境学系(比較文明論)(1)
										文化環境学系(文化・地域環境論)(1)
										自然科学系(化学・物質科学)(2)
	附置研究所	人文科学研究所			1					自然科学系(生物科学)(3)
		医生物学研究所			1					
		附属感染症モデル研究センター			1					
	教育研究施設等	学術情報メディアセンター			1			1		認知情報学系(数理情報論)(1)
		生命科学研究科附属放射線生物研究センター			1					
		人と社会の未来研究院		2						
	教育院等	国際高等教育院	6				6			人間科学系(人間形成論)(1)
										人間科学系(創造行為論)(1)
										認知情報学系(数理情報論)(1)
										認知情報学系(外国語教育論)(1)
										国際文明学系(歴史文化社会論)(1)
										自然科学系(化学・物質科学)(1)
		国際高等教育院附属国際学術言語教育センター			7					
学外機関	客員	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所			5					23. 文化・地域環境論講座(5)
		独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館			5					24. 歴史文化社会論講座(5)
		独立行政法人情報通信研究機構未来 ICT 研究所				1				13. 認知・行動科学講座(1)
	連携									
合計			6	7	17	10	1	6	7	5

注) () 内の数字は講座内、学系内の人数

【資料 1-3】人間・環境学研究所 教員構成

※協力教員 ※流動教員 ※併任教員 ※客員教員 ※国際交流・留学生担当教員 ※総合人間学部兼任教員 ※学外非常勤講師 2022(令和4)年4月1日現在

大学院	学部	講座名	分野名	教授	准教授	講師	助教
共生人間学専攻	人間科学系	11 人間社会論	人間形成論	倉石 一郎 大倉 得史 ^併	松本 卓也 石岡 学 タジャンニコラピエル(特定准教授)		
			人間共生論	連携機関：独立行政法人国立特別支援教育総合研究所			
			社会行動論	吉田 純 永田 素彦	柴田 悠		
		12 思想文化論	文化社会論	木下 千花 菅 利恵	仁井田千絵 上田 泰史		
			人間存在論	佐藤 義之 安部 浩 戸田 剛文	青山 拓央		
			創造行為論	栗山 智成 ^併	武田 宙也		
	認知情報学系	13 認知・行動科学	文芸表象論	廣野由美子 小島 基洋	須藤 秀平		
			認知科学	齋木 潤 月浦 崇 小村 豊 内田由紀子 ^協			山本 洋紀
			生理心理学	宮内 哲 [*] 連携機関：国立研究開発法人情報通信研究機構 未来 ICT 研究所			
		14 数理科学	行動制御学	神崎 素樹 久代 恵介	萩生 翔大 田中 真介 ^協		江川 達郎
			身体機能論	林 達也 船曳 康子			
			現象数理論	上木 直昌 清水 扇丈 足立 匡義 角 大輝	木坂 正史		
共生文化学専攻	国際文明学系	21 現代文明論	数理情報論	立木 秀樹 ^併 日置 尋久 小山田耕二 ^協	櫻川 貴司 ディプレクト, マシュー ^留	ティースホルガー (特定講師)	
			言語情報科学	藤田 耕司 谷口 一美	守田 貴弘 横森 大輔 ^協		
			言語比較論	河崎 靖	西脇麻衣子 堀口 大樹		
		22 比較文明論	言語情報システム論	連携機関：国立研究開発法人情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所			
			外国語教育論	西山 教行 ^併	中森 誉之 ピーターソン, マーク		
			言語教育研究開発論	スチュワート, ティモシー ^協 柳瀬 陽介 ^協 塚原 信行 ^協	ダルスキー, デビッド ^協 金丸 敏幸 ^協 笹尾 洋介 ^協		
	文化環境学系	23 文化・地域環境論		神谷 之康 ^協		細川 浩 ^協	
			文明構造論	細見 和之	小野寺史郎 小林 哲也		齋飼 大介
			現代社会論	大黒 弘慈	柴山 桂太		
		24 歴史文化社会論	国際社会論	森口 由香	見平 典 齋藤 嘉臣		
			多文化複合論	小倉 紀蔵 勝又 直也			
			地域文明論	太田 出	津守 陽		
相関環境学専攻	国際文明学系	25 文化・地域環境論	文明交流論	岡 真理	中筋 朋 徳永 悠 ^流		
			文化人類学	風間 計博 岩谷 彩子	石井 美保 [*] デアントーニ, アンドレア(特定准教授)		梶丸 岳
			地域空間論	小方 登 小島 泰雄 山村 亜希 ^流			
		26 歴史文化社会論	環境構成論	中嶋 節子	前田 昌弘		藤原 学
			文化遺産学	高妻 洋成 ^客 玉田 芳英 ^客 清野 孝之 ^客	馬場 基 ^客 山崎 健 ^客	[*] = 独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所	
			歴史社会論	合田 昌史 熊谷 隆之 吉江 崇 ^併 佐藤 公美(2022.9.1～)		バツバツバツ	
相関環境学専攻	国際文明学系	27 歴史文化社会論	東アジア文化論	道坂 昭廣 辻 正博 須田 千里 佐野 宏	福谷 彬		
			西欧文化論	松江 崇 長谷川千尋	合田 典世		
			博物館文化財学	桂山 康司 池田 寛子	大原 嘉豊 ^客 永島 明子 ^客	[*] = 独立行政法人国立文化財機構 京都国立博物館	
	自然科学系	31 共生社会環境論	博物館文化財学	浅湊 毅 ^客 山川 暁 ^客 尾野 善裕 ^客			
			共生社会環境論	浅野 耕太 小畑 史子 佐野 亘 広井 良典 ^協			
			分子・生命環境論	宇佐美 誠 ^協 (授業担当)			
		32 分子・生命環境論	分子環境相関論	津江 広人 小松 直樹 藤田 健一 ^併	廣戸 聡		高橋 弘樹 新林 卓也
			生命環境相関論	宮下 英明 川本 卓男 ^協 高田 穰 ^協	土屋 徹		
			生物環境動態論	加藤 真 瀬戸口浩彰 ^流 市岡 孝朗	西川 完途 ^流 三浦 智行 ^協		幅野 恭子 阪口 翔太 ^流
相関環境学専攻	自然科学系	33 自然環境動態論	地球環境動態論	阪上 雅昭 酒井 敏 梶井 克純 ^流 小木曾 哲	石村 豊穂		佐藤 博俊 加藤 護 坂本 陽介 ^流
			物質物性相関論	高木 紀明 吉田 鉄平 ^併 森成 隆夫 木下 俊哉	藤原 直樹		小山村 明 渡邊 雅之
			物質機能相関論	舟橋 春彦 ^協			佐野 光貞 小西 隆士
	34 物質相関論		物質機能相関論	内本 喜晴 田部勢津久 吉田 寿雄 中村 敏浩 ^協			大槻 太毅
				今吉 格 ^協	吉村 成弘 ^協		山本 旭
相関環境学専攻	自然科学系	35 物質相関論					
	36 物質相関論						
相関環境学専攻	自然科学系	37 物質相関論					
	38 物質相関論						

の分野については、学生の募集は行わない

学際教育研究部	部 長(兼)月浦 崇 教授 副部長(兼)田部勢津久 教授					
	学部・大学院教育研究推進部門		講演会・地域連携等推進部門	広報活動推進部門	国際化推進部門	野村 龍一 (白眉センター特定准教授) 鈴木 雄太 (白眉センター特定助教)
	(兼)吉江 崇 教授 (兼)小島 基洋 教授	(兼)吉田 鉄平 教授 (兼)佐野 宏 教授	(兼)田部勢津久 教授 (兼)永田 素彦 教授	(兼)日置 尋久 教授	(兼)木下 千花 教授 (兼)萩生翔大 准教授	

外国人教師	(ドイツ語)トラウデン, ディーター	プログラム、プロジェクト等特定教員	朴 白順 (特定助教)	高見 剛 (特定准教授)	内山 智貴 (特定助教)	渡邊 稔樹 (特定助教)
-------	--------------------	-------------------	----------------	-----------------	-----------------	-----------------

【資料 1-4】総合人間学部 教員構成

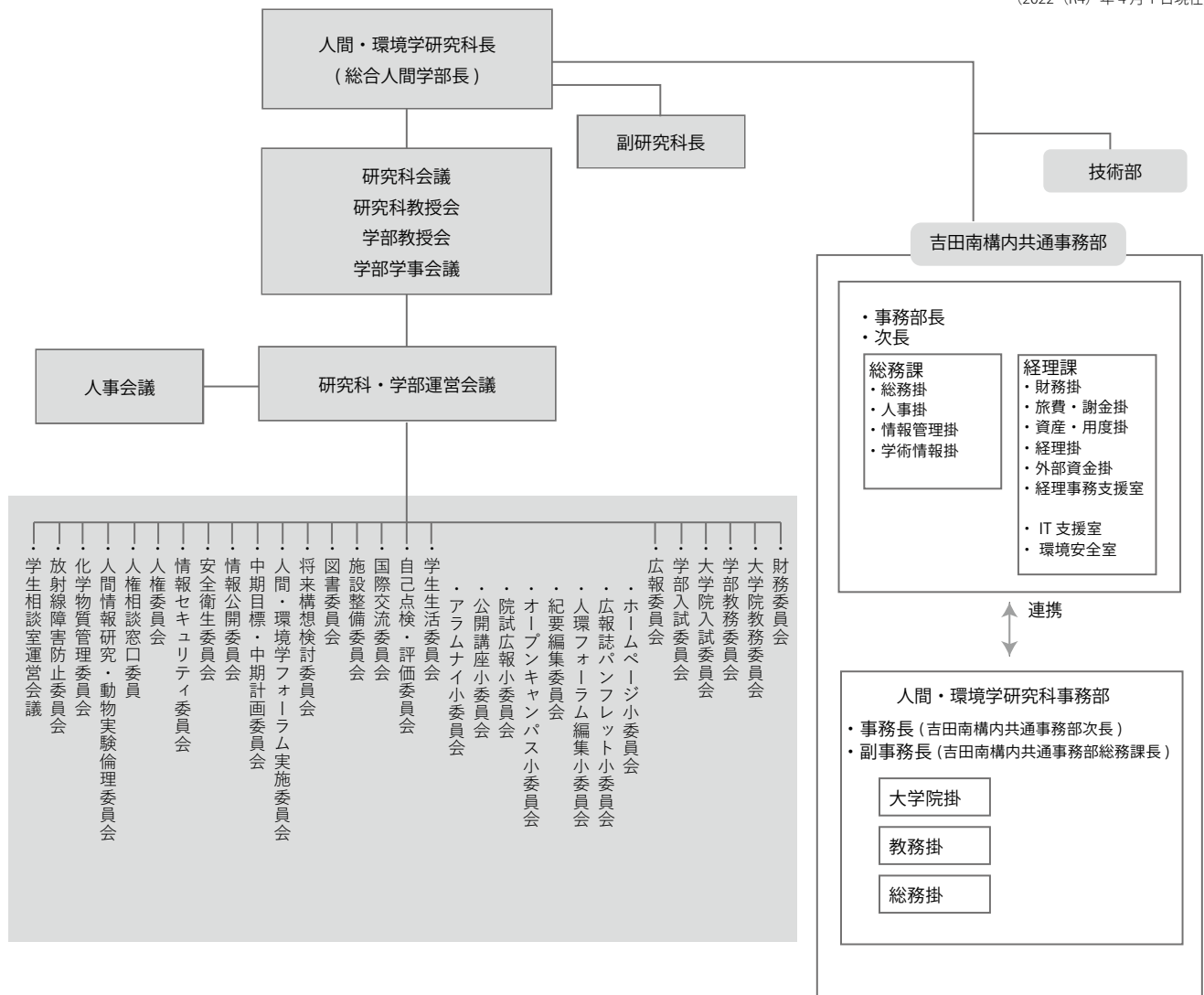
^併国際高等教育院所属教員 ^流大学院地球環境学学・学舎両任教員 ^{兼¹}大学院情報学研究科所属教員 ^{兼²}学術情報メディアセンター所属教員 ^{兼³}大学院生命科学研究所所属教員
2022 (R4) 年 5 月 1 日現在

学系	関係名 (授業科目グループ)	教授	准教授	講師	助教
人間科学系	人間形成論	倉石 一郎 大倉 得史 ^併	松本 卓也 石岡 学 タジャンニコラピエール(特定准教授)		
	社会行動論	吉田 純 永田 素彦	柴田 悠		
	文化社会論	木下 千花 菅 利恵	仁井田千絵 上田 泰史		
	人間存在論	佐藤 義之 安部 浩 戸田 剛文	青山 拓央		
	創造行為論	柴山 智成 ^併	武田 宙也		
	文芸表象論	廣野由美子 小島 基洋	須藤 秀平		
認知情報学系	認知・行動科学	齋木 潤 林 達也 神崎 素樹 神谷 之康 ^{兼¹} 小村 豊 月浦 崇 久代 恵介 船曳 康子	荻生 翔大	細川 浩 ^{兼¹}	山本 洋紀 江川 達郎
	数理情報論	立木 秀樹 ^併 上木 直昌 日置 尋久 清水 扇文 足立 匡義 角 大輝 小山田耕二 ^{兼²}	木坂 正史 櫻川 貴司 マシュー ディブレクト		
	言語科学	藤田 耕司 河崎 靖 谷口 一美	守田 貴弘 西脇 麻衣子 堀口 大樹		
	外国語教育論	西山 教行 ^併	中森 誉之 ピーターソン,マーク		
国際文明学系	社会相関論	浅野 耕太 小畑 史子 大黒 弘慈 佐野 亘 細見 和之 土屋 由香	見平 典 齋藤 嘉臣 柴山 桂太 小林 哲也 小野寺史郎		鶴飼 大介
	歴史文化社会論	須田 千里 道坂 昭廣 合田 昌史 辻 正博 桂山 康司 佐野 宏 熊谷 隆之 池田 寛子 松江 崇 吉江 崇 ^併 長谷川千尋 佐藤 公美 (2022.9.1～)	合田 典世 吉江 崇	ハッテ,ハッラウイ	
文化環境学系	比較文明論	岡 真理 小倉 紀蔵 太田 出	中筋 朋 徳永 悠 ^流 津守 陽		
	文化・地域環境論	小方 登 小島 泰雄 風間 計博 中嶋 節子 山村 亜希 ^流 岩谷 彩子	岩谷 彩子 前田 昌弘 デ・アントーニアンドレア(特定准教授)		藤原 学 梶丸 岳
自然科学系	物理学	阪上 雅昭 吉田 鉄平 森成 隆夫 高木 紀明 木下 俊哉	藤原 直樹		小山田 明 渡邊 雅之 佐野 光貞 小西 隆士 大槻 太毅
	化学・物質科学	内本 喜晴 田部勢津久 梶井 克純 ^流 津江 広人 吉田 寿雄 藤田 健一 ^併 小松 直樹	廣戸 聡		高橋 弘樹 坂本 陽介 ^流 山本 旭 新林 卓也
	生物科学	加藤 真 瀬戸口浩彰 ^流 宮下 英明 市岡 孝朗 千坂 修 ^{兼³}	西川 完途 ^流 土屋 徹 吉村 成弘 ^{兼³}		幡野 恭子 阪口 翔太 ^流 佐藤 博俊
	(地球科学)	酒井 敏 小木曾 哲	石村 豊穂		加藤 護 藤井 悠里

・自然科学系の「関係名」欄は専門分野名を表す。

【資料 1-5】管理運営組織

(2022 (R4) 年 4 月 1 日現在)



【資料 1-6】委員会組織

財務委員会 次の各号に掲げる事項を審議する 1) 予算の作成、執行及び決算に関すること 2) 中・長期に渡る財務計画に関すること 3) 資産管理に関すること 4) その他財務に関すること	大学院人間・環境学研究所教務委員会 次の事項を所掌する 1) 教科の基準に関すること 2) 教科の教育的方策に関すること 3) 授業の総括的計画の編成及び実施に関すること 4) 成績評価についての基準の設定および成績表の点検に関すること 5) 履修指導に関すること 6) その他大学院学生の教務全般に関すること
総合人間学部教務委員会 次の事項を所掌する 1) 教科の基準に関すること 2) 教科の教育的方策に関すること 3) 授業の総括的計画の編成及び実施に関すること 4) 成績評価についての基準の設定および成績表の点検に関すること 5) 履修指導に関すること 6) 卒業判定資料に関すること 7) その他学部学生の教務全般に関すること	大学院人間・環境学研究所入試委員会 次の事項を所掌する 1) 修士課程及び博士後期課程編入学試験募集要項案の作成に関すること 2) 入学試験の実施に関すること 3) 修士課程第1次試験合格者の決定に関すること 4) 修士課程及び博士後期課程編入学試験合格者の内定に関すること 5) 博士後期課程進学者の内定に関すること 6) その他前各号の目的に関すること
総合人間学部入試委員会 次の事項を所掌する 1) 一般入試に関すること 2) 特色入試に関すること 3) 転学部、編入学等に関すること 4) 入学者選抜方法の調査・研究に関すること 5) その他前各号の目的に関連すること	広報委員会 次の事項を所掌する 1) 部局広報の編集・発行に関すること 2) オープンキャンパス及び院入試説明会の対応に関すること 3) 部局案内パンフレットの編集・発行に関すること 4) ホームページの対応に関すること 5) 卒業生及び修了生との連携に関すること 6) 部局紀要及び人環フォーラム*の編集・発行に関すること 7) その他、部局の広報に関すること (* 第37号(2018(H30)年度刊行)より『総人・人環フォーラム』として継続)
学生生活委員会 次の事項を所掌する 1) 大学院学生及び学部学生の生活と修学に関すること 2) 大学院学生及び学部学生の厚生補導に関すること 3) 大学院学生及び学部学生の課外活動に関すること 4) 授業料の免除に関すること 5) 日本学生支援機構奨学生に関すること 6) 大学院学生及び学部学生の学生の進路に関すること 7) 大学院学生及び学部学生の集会及び掲示に関すること 8) その他前各号の目的に関すること	自己点検・評価委員会 次の事項を所掌する 1) 自己点検・評価の基本方針及び実施に関すること 2) 自己点検・評価の事項及び項目に関すること 3) 自己点検・評価の報告書の作成及び公表に関すること 4) その他自己点検・評価に関すること
国際交流委員会 次の事項を所掌する 1) 国際交流に関すること 2) 外国人留学生に関すること 3) 海外派遣に関すること 4) その他国際交流に関すること	施設整備委員会 次の各号に掲げる事項を所掌する 1) 施設の管理、整備及び修繕に関すること 2) 敷地利用に関すること 3) その他施設整備に関すること
図書委員会 次の各号に掲げる事項を所掌する 1) 図書など文献・資料の収集に関すること 2) 図書など文献・資料の予算配分に関すること 3) その他図書に関すること	将来構想検討委員会 研究科および学部における中・長期的な将来構想計画（人事の配置を含む）の企画、立案に関する事項を所掌する
人間・環境学フォーラム実施委員会 次の事項を所掌する 1) 人間・環境学フォーラムの実施に関すること 2) その他人間・環境学フォーラム実施に関し必要なこと	中期目標・中期計画委員会 人間・環境学研究所及び総合人間学部における中期目標・中期計画に関する事項を所掌する
情報公開委員会 次の各号に掲げる事項を審議する 1) 法人文書開示請求に対する開示（部分開示含む）又は不開示に関すること 2) 保有個人情報の開示請求に対する開示（部分開示含む）又は不開示に関すること 3) その他、開示請求に関し必要なこと	安全衛生委員会 次の各号に掲げる事項を所掌する 1) 安全衛生に関すること 2) 労働災害防止など安全対策に関すること 3) 環境の保全に関すること 4) 実験排水・廃棄物等の管理に関すること 5) その他安全衛生と環境保全等に関し必要なこと
人権委員会 人間・環境学研究所及び総合人間学部における同和問題等人権問題及びハラスメント問題（以下「人権問題等」という。）の防止に関し必要な事項及び人権問題等が生じた場合の対応を行うことを目的とする	人権相談窓口 人間・環境学研究所及び総合人間学部に、研究科の教職員並びに研究科及び学部の学生（研究生等の非正規生を含む）からの同和問題等の人権問題及びハラスメント問題に関する相談及び苦情の申出（「相談等」）に対応する。
情報セキュリティ委員会 次の各号に掲げる事項を所掌する 1) 情報セキュリティ対策の指導及び監査に関すること 2) 情報セキュリティポリシー策定評価、見直し及び実施に関すること 3) コンピュータ不正アクセス発生時における調査及び対策に関すること 4) 情報ネットワークの管理・運営に関すること 5) 情報関連機器の管理・運営及び情報関連機器に格納されている情報の管理・運用に関すること 6) ライセンス管理に関すること 7) 視聴覚関連機器の管理・運営に関すること 8) その他情報セキュリティに関すること	人間情報研究・動物実験倫理委員会 次の各号に掲げる事項を審議する 1) 研究責任者又は実験責任者から申請された研究計画に関すること 2) 人間情報研究及び動物実験に必要な施設及び設備に関すること 3) 人間情報研究及び動物実験に伴う衛生・安全管理に関すること 4) 実験動物の適切な飼育と使用の監視に関すること 5) その他委員会が必要と認めること
化学物質管理委員会 研究科における化学物質の管理に関し必要な事項を審議する	放射線障害防止委員会 次の各号に掲げる事項を審議する 1) 放射線障害の防止上重要な計画 2) 異常及び事故の原因調査 3) その他委員会が定める事項
人間・環境学研究所 / 総合人間学部学生相談室要項 次の各号に掲げる業務を行う 1) 研究科の大学院学生及び総合人間学部の学部学生の学生生活上の相談に応じ指導助言を行うこと 2) 学生生活上の問題に係る啓発活動に関すること 3) その他学生相談に関すること	

【資料 1-7】教員数の推移

人間・環境学研究所

2018(H30)年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹教員	69 (10)	28 (4) [1]	1 (1)	18 (1)	116 (16) [1]	97 (14) [1]
流動教員	3	2 (1)		2	7 (1)	5 (1)
併任教員	6 (1)				6 (1)	6 (1)
協力教員	8 [1]	12 (3) [1]			20 (3) [2]	20 (3) [2]
客員教員	5 (1)	4			9 (1)	9 (1)
合計	91 (12) [1]	46 (8) [2]	1 (1)	20 (1)	158 (22) [3]	137 (20) [3]
特定教員		1 [1]	2 (1) [2]	4 (1)	7 (2) [3]	
基幹教員 特定教員 計	69 (10)	29 (4) [2]	3 (2) [2]	22 (2)	123 (18) [4]	

注)・指導教員数は、教授・准教授の合計人数
・() 女性教員数、[] 外国籍教員数、いずれも内数

総合人間学部

2018(H30)年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹教員	69 (10)	28 (4) [1]		18 (1)	115 (15) [1]	97 (14) [1]
流動教員	3	2 (1)		2	7 (1)	5 (1)
併任教員	6 (1)				6 (1)	6 (1)
学部 兼任教員	4	1	1		6	6
合計	82 (11)	31 (5) [1]	1	20 (1)	134 (17) [1]	114 (16) [1]

注)・指導教員数は、教授・准教授・講師の合計人数
・() 女性教員数、[] 外国籍教員数、いずれも内数

2019(R1)年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹教員	69 (9)	28 (5) [1]		18 (1)	115 (15) [1]	97 (14) [1]
流動教員	3	2 (1)		2	7 (1)	5 (1)
併任教員	6 (2)				6 (2)	6 (2)
協力教員	8 (1) [1]	11 (2) [1]			19 (3) [2]	19 (3) [2]
客員教員	5 (1)	4			9 (1)	9 (1)
合計	91 (13) [1]	45 (8) [2]		20 (1)	156 (22) [3]	136 (21) [3]
特定教員		2 [1]	3 (2) [3]	5 (1)	10 (3) [4]	
基幹教員 特定教員 計	69 (9)	30 (5) [2]	3 (2) [3]	23 (2)	125 (18) [5]	

注)・指導教員数は、教授・准教授の合計人数
・() 女性教員数、[] 外国籍教員数、いずれも内数

2019(R1)年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹教員	69 (9)	28 (5) [1]		18 (1)	115 (15) [1]	97 (14) [1]
流動教員	3	2 (1)		2	7 (1)	5 (1)
併任教員	6 (2)				6 (2)	6 (2)
学部 兼任教員	4	1	1		6	6
合計	82 (11)	31 (6) [1]	1	20 (1)	134 (18) [1]	114 (17) [1]

注)・指導教員数は、教授・准教授・講師の合計人数
・() 女性教員数、[] 外国籍教員数、いずれも内数

2020(R2)年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹教員	65 (8)	31 (7) [2]	1	17 (1)	114 (16) [2]	96 (15) [2]
流動教員	3 (1)	2		2	7 (1)	5 (1)
併任教員	6 (2)				6 (2)	6 (2)
協力教員	9 (1) [1]	9 (1) [1]			18 (2) [2]	18 (2) [2]
客員教員	5 (1)	4 (1)			9 (2)	9 (2)
合計	88 (13)	46 (9) [3]	1	19 (1)	154 (23) [4]	134 (22) [4]
特定教員	1	2 [1]	1 (1) [1]	3	7 (1) [2]	
基幹教員 特定教員 計	66 (8)	33 (7) [3]	2 (1) [1]	20 (1)	121 (17) [4]	

注)・指導教員数は、教授・准教授の合計人数
・() 女性教員数、[] 外国籍教員数、いずれも内数

2020(R2)年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹教員	65 (8)	31 (7) [2]	1	17 (1)	114 (16) [2]	97 (15) [2]
流動教員	3 (1)	2		2	7 (1)	5 (1)
併任教員	6 (2)				6 (2)	6 (2)
学部 兼任教員	4	1	1		6	6
合計	78 (11)	34 (7) [1]	2	19 (1)	133 (19) [1]	114 (18) [1]

注)・指導教員数は、教授・准教授・講師の合計人数
・() 女性教員数、[] 外国籍教員数、いずれも内数

人間・環境学研究科

2021 (R3) 年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹教員	66 (10)	30 (6) [2]	2 (1) [1]	18 (2)	116 (19) [3]	96 (16) [2]
流動教員	3 (1)	2		2	7 (1)	5 (1)
併任教員	6 (1)				6 (1)	6 (1)
協力教員	10 (1) [1]	7 (1) [1]			17 (2) [2]	17 (2) [2]
客員教員	6 (1)	4 (1)			10 (2)	10 (2)
合計	91 (14) [1]	43 (8) [3]	2 (1) [1]	20 (2)	156 (25) [5]	134 (22) [4]
特定教員		3 [2]	1 [1]	5 [1]	9 [4]	
基幹教員 特定教員 計	66 (10)	33 (6) [4]	3 (1) [2]	23 (2) [1]	125 (19) [7]	

注) ・指導教員数は、教授・准教授の合計人数
・ () 女性教員数、[] 外国籍教員数、いずれも内数

2022 (R4) 年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹教員	66 (14)	31 (5) [2]	1 (1) [1]	17 (2)	115 (22) [3]	97 (19) [2]
流動教員	3 (1)	2		2	7 (1)	5 (1)
併任教員	6				6	6
協力教員	10 (1) [1]	7 (1) [1]			17 (2) [2]	17 (2) [2]
客員教員	6 (1)	4 (1)			10 (2)	10 (2)
合計	91 (17) [1]	44 (7) [3]	1 (1) [1]	19 (2)	155 (27) [5]	135 (24) [4]
特定教員		4 [2]	1 [1]	4 [1]	9 [4]	
基幹教員 特定教員 計	66 (14)	35 (5) [4]	2 (1) [2]	21 (2) [1]	124 (22) [7]	

注) ・指導教員数は、教授・准教授の合計人数
・ () 女性教員数、[] 外国籍教員数、いずれも内数

2023 (R5) 年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹教員	63 (11)	30 (6) [2]	3 (1) [2]	17 (2)	113 (20) [4]	93 (17) [2]
流動教員	4 (1)	1		1	6 (1)	5 (1)
併任教員	6 (1)				6 (1)	6 (1)
協力教員	8 (1) [1]	7 (1) [1]			15 (2) [2]	15 (2) [2]
客員教員	4 (1)	5 (1)			9 (2)	9 (2)
合計	85 (15) [1]	43 (8) [3]	3 (1) [2]	18 (2)	149 (26) [6]	128 (23) [4]
特定教員		4 [2]	1 [1]	7 (1) [1]	12 (1) [4]	
基幹教員 特定教員 計	63 (11)	34 (6) [4]	4 (1) [3]	24 (3) [1]	125 (21) [8]	

注) ・指導教員数は、教授・准教授の合計人数
・ () 女性教員数、[] 外国籍教員数、いずれも内数

総合人間学部

2021 (R3) 年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹教員	66 (10)	30 (6) [2]	2 (1) [1]	18 (2)	116 (19) [3]	98 (17) [3]
流動教員	3 (1)	2		2	7 (1)	5 (1)
併任教員	6 (1)				6 (1)	6 (1)
学部 兼任教員	3	1	1		5	5
合計	78 (12)	33 (6) [2]	3 (1) [1]	20 (2)	134 (21) [3]	114 (19) [3]

注) ・指導教員数は、教授・准教授・講師の合計人数
・ () 女性教員数、[] 外国籍教員数、いずれも内数

2022 (R4) 年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹教員	66 (14)	31 (5) [2]	1 (1) [1]	17 (2)	115 (22) [3]	98 (20) [2]
流動教員	3 (1)	2		2	7 (1)	5 (1)
併任教員	6				6	6
学部 兼任教員	2	1	1		4	4
合計	77 (15)	34 (5) [2]	2 (1) [1]	19 (2)	132 (23) [3]	113 (21) [2]

注) ・指導教員数は、教授・准教授・講師の合計人数
・ () 女性教員数、[] 外国籍教員数、いずれも内数

2023 (R5) 年度	教授	准教授	講師	助教	合計	指導教員
基幹教員	63 (11)	30 (6) [2]	3 (1) [2]	17 (2)	113 (20) [4]	96 (18) [4]
流動教員	4 (1)	1		1	6 (1)	5 (1)
併任教員	6 (1)				6 (1)	6 (1)
学部 兼任教員	2	1	1		4	4
合計	75 (13)	32 (6) [2]	4 (1) [2]	18 (2)	129 (22) [4]	111 (20) [4]

注) ・指導教員数は、教授・准教授・講師の合計人数
・ () 女性教員数、[] 外国籍教員数、いずれも内数

【資料 1-8】教員の年齢・性別構成

(2021 (R3) 年 4 月 1 日現在)

年齢階層	教授		准教授		講師		助教		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
21 ～ 30							1		1	0
31 ～ 40			5	1	1		6	1	12	2
41 ～ 50	14	4	15	5		1	2		31	10
51 ～ 60	28	5	4				7	1	39	6
61 ～ 65	14	1							14	1
小計	56	10	24	6	1	1	16	2	97	19
合計	66		30		2		18		116	

(2022 (R4) 年 4 月 1 日現在)

年齢階層	教授		准教授		講師		助教		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
21 ～ 30									0	0
31 ～ 40			8	1			4	1	12	2
41 ～ 50	8	7	10	3		1	2		20	11
51 ～ 60	31	5	7	1			8		46	6
61 ～ 65	13	2	1				1	1	15	3
小計	52	14	26	5	0	1	15	2	93	22
合計	66		31		1		17		115	

【資料 1-9】授業科目の担当状況

(2022 (R4) 年度)

		開講授業数			専任教員の担当率 (%)
		専任教員担当 ^{*1}	非常勤講師担当	合計	
総合人間学部	人間科学系	98	13	111	88.3
	認知情報学系	78	5	83	94.0
	国際文明学系	114	14	128	89.1
	文化環境学系	58	6	64	90.6
	自然科学系	55	0	55	100.0
	合計	403	38	441	91.4
人間・環境学研究科 【修士課程】	共生人間学専攻	130	10	140	92.9
	共生文明学専攻	144	8	152	94.7
	相関環境学専攻	79	0	79	100.0
	合計	353	18	371	95.1

^{*1} 流動教員、協力教員、客員教員を含む

【資料 1-10】事務職員・技術職員の配置状況

(2022 (R4) 年 4 月 1 日現在)

		常勤職員 (特定業務事務職員含む)	非常勤職員
事務職員	事務長	1 ^(兼)	
	副事務長	1 ^(兼)	
	総務掛	2	13
	教務掛	3	3
	大学院掛	3	3
技術専門職員・技術職員		5	
合計		13+2 ^(兼)	19

^(兼) 吉田南共通事務部の役職と兼務



総合人間学部

2. 総合人間学部

【資料 2-1】学生数の推移（総合人間学部）

各年度 5 月 1 日現在

		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
正規生	1 回生	124	125	125	125	124	126
	2 回生	131	124	129	130	128	126
	3 回生	134	135	134	134	133	130
	4 回生	197	200	187	182	209	196
	在学者数合計	586	584	575	571	594	578
留学生（内数）		(4)	(6)	(7)	(7)	(7)	(9)
非正規生	科目等履修生	19	14	12	12	11	11
	特別聴講学生	36	67	43	23	1	0
	留学生（内数）	(32)	(64)	(42)	(22)	(1)	(0)
	在学者数合計	55	81	55	35	12	11
指導教員数		114	114	114	114	114	114
教員 1 人当たり学生数		5.14	5.12	5.04	5.01	5.21	5.07

【資料 2-2】入学状況（総合人間学部）

（一般入試）

年度	総合人間学部						学力検査区分別											
							文系						理系					
	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員充足率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員充足率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員充足率
2017 (H29)	117	470	403	121	120	1.02	63	255	218	65	65	1.03	54	215	185	56	55	1.01
2018 (H30)	115	462	396	118	118	1.02	62	262	216	63	63	1.01	53	200	180	55	55	1.03
2019 (R1)	115	417	387	118	118	1.02	62	240	215	63	63	1.01	53	177	172	55	55	1.03
2020 (R2)	115	406	384	117	117	1.01	62	203	201	63	63	1.01	53	203	183	54	54	1.01
2021 (R3)	115	435	399	118	117	1.01	62	242	216	63	63	1.01	53	193	183	55	54	1.01
2022 (R4)	115	399	374	118	118	1.02	62	192	189	63	63	1.01	53	207	185	55	55	1.03

※特色入試において最終的な入学手続者数が募集人員に満たない場合には、残余の募集人員は一般入試の募集人員に加える。

（特色入試）

年度	総合人間学部					
	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員充足率
2017 (H29)	5	16	16	3	3	0.60
2018 (H30)	5	43	42	5	5	1.00
2019 (R1)	5	35	34	5	5	1.00
2020 (R2)	5	42	42	5	5	1.00
2021 (R3)	5	49	49	5	5	1.00
2022 (R4)	5	35	35	5	5	1.00

（一般入試＋特色入試）

年度	総合人間学部					
	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員充足率
2017 (H29)	120	486	419	124	123	1.02
2018 (H30)	120	505	438	123	123	1.02
2019 (R1)	120	452	421	123	123	1.02
2020 (R2)	120	448	426	122	122	1.01
2021 (R3)	120	484	448	123	122	1.01
2022 (R4)	120	434	409	123	123	1.02

【資料 2-3】編入学生の受入状況（総合人間学部）

入学年度	志願者数	合格者数	入学者数	入学者の出身学部
2017 (H29)	0	0	0	
2018 (H30)	3	2	2	理学部 (2)
2019 (R1)	1	1	1	工学部
2020 (R2)	1	1	1	工学部
2021 (R3)	1	1	0	経済学部
2022 (R4)	0	0	0	

※ 京都大学を卒業した者および卒業見込みの者が対象

【資料 2-4】転学部状況（総合人間学部）

年度	転入					転出								
	2 回生		3 回生		計	1 回生		2 回生		3 回生		4 回生		計
	入学年度		入学年度			入学年度		入学年度		入学年度		入学年度		
2018 (H30)	2017 (H29)	3	2016 (H28)	1	4	2018 (H30)	1	2017 (H29)	0	2016 (H28)	0	2015 (H27)	0	1
2019 (R1)	2018 (H30)	4	2017 (H29)	6	10	2019 (R1)	0	2018 (H30)	0	2017 (H29)	0	2016 (H28)	0	0
2020 (R2)	2019 (R1)	5	2018 (H30)	2	7	2020 (R2)	0	2019 (R1)	0	2018 (H30)	0	2017 (H29)	0	0
2021 (R3)	2020 (R2)	4	2019 (R1)	3	7	2021 (R3)	0	2020 (R2)	0	2019 (R1)	0	2018 (H30)	0	0
2022 (R4)	2020 (R2)	1			5									1
	2021 (R3)	3	2020 (R2)	1		2022 (R4)	0	2021 (R3)	1	2020 (R2)	0	2019 (R1)	0	

注）転入の回生は、総合人間学部の受入年次を示す。転出の回生は、転出前の総合人間学部の年次を示す。

入学年度別内訳

入学年度	転入者数	転出者数
2017 (H29)	9	0
2018 (H30)	6	1
2019 (R1)	8	0
2020 (R2)	6	0
2021 (R3)	3	1

【資料 2-5】留年・休学・退学の状況（総合人間学部）

	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
学生数	586	584	575	571	594	578
休学者	40	28	33	27	43	37
留年者	73	74	62	58	67	67
退学者	9	4	9	9	2	4

京都大学ホームページ＞公表事項＞教育情報の公表＞「入学者受入方針と入学者数、在学者数、卒業（修了）者数等」

学生数・休学者数・留年者数：各年度 5 月 1 日現在 / 退学者数：各年度内

留年者＝「卒業年次在籍者のうち、4 年（3 年次編入者等は 2 年）又は 6 年を超えて在籍している者」

【資料 2-6】分属の状況

入学年度	2018 (H30)			2019 (R1)			2020 (R2)			2021 (R3)			2022 (R4)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
未分属*1	1	0	1	2	0	2	4	0	4	6	0	6	6	0	6
人間科学系	20	9	29	21	12	33	30	13	43	21	13	34	21	13	34
認知情報学系	30	13	43	33	11	44	33	13	46	31	13	44	31	13	44
国際文明学系	14	8	22	17	8	25	12	8	20	15	7	22	15	7	22
文化環境学系	8	7	15	12	3	15	5	5	10	10	2	12	10	2	12
自然科学系	15	4	19	11	0	11	4	1	5	6	2	8	6	2	8
合計	88	41	129	96	34	130	88	40	128	89	37	126	89	37	126

*1 学系への分属は 2 回生より行われる。

【資料 2-7】各学系の授業形態（総合人間学部）

(2022 (R4) 年度)

学系名	区分	講義	演習・ゼミ	実習・実験	小計	合計
人間科学系	学部科目	52	75	2	129	180
	全学共通科目	39	12	0	51	
認知情報学系	学部科目	54	44	7	105	137
	全学共通科目	24	7	1	32	
国際文明学系	学部科目	98	88	0	186	214
	全学共通科目	16	12	0	28	
文化環境学系	学部科目	33	45	4	82	115
	全学共通科目	25	8	0	33	
自然科学系	学部科目	28	37 ^{*1}	0	65	125
	全学共通科目	50	4	6	60	

注)・各学系の主専攻表（別表を含む）に掲載されている授業科目数である

・学部特殊講義を含む

*1 自然科学系学部科目の「演習」には実験が含まれている

【資料 2-8】授業形態別履修者数（総合人間学部）

(2022 (R4) 年度)

	科目コマ数	履修者数	平均履修者数
講義	191	4,058	21.2
演習	183	979	5.3
ゼミ	52	402	7.7
実験・実習	8	87	10.9
合計	434	5,526	

注 1) 講義・講読は演習に含まれる

注 2) 自然科学系学部科目の「演習」には実験が含まれている

【資料 2-9】総人ゼミの開講状況

	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
開講ゼミ数	6	9	3	6	14
受講者数	22	23	8	51	38

【資料 2-10】他学部聴講の状況

部局名	2018 (H30)		2019 (R1)		2020 (R2)		2021 (R3)		2022 (R4)	
	人数	単位数	人数	単位数	人数	単位数	人数	単位数	人数	単位数
文学部	38	189	39	193	52	338	61	353	68	423
教育学部	23	154	37	194	39	244	34	181	38	209
法学部	10	60	10	46	19	118	21	110	14	92
経済学部	37	214	31	142	30	166	43	182	37	170
理学部	27	192	24	193	40	234	35	277	33	267
医学部（人間健康科学科）	0	0	0	0	0	0	2	5	1	5
薬学部	0	0	1	47	1	2	0	0	2	6
工学部	21	209	29	176	33	222	39	210	29	122
農学部	9	36	10	30	17	92	16	58	16	67
合計	165	1,054	181	1,021	231	1,416	251	1,376	238	1,361

注) 教育学部は教職科目の聴講を除く

【資料 2-11】外国の大学において修得した単位の認定状況(総合人間学部)

		人数 (単位数)				
国・地域	大学名	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
アジア						
シンガポール共和国	シンガポール国立大学					
シンガポール共和国	南洋理工大學	1 (18)				
中華人民共和国	北京大学	1 (23)				
中華人民共和国	復旦大学	1 (10)				
北米						
アメリカ合衆国	ワシントン大学	1 (16)	1 (30)			
欧州 (NIS 諸国を含む)						
イタリア共和国	ミラノ工科大学	1 (29)				
英国	エディンバラ大学	1 (5)		1 (17)		
英国	キングス・カレッジ・ロンドン		1 (21)			
英国	グラスゴー大学					
英国	リーズ大学	1 (5)	1 (14)		1 (6)	
オランダ王国	ライデン大学		1 (6)			
オランダ王国	ユトレヒト大学			1 (20)		
スペイン王国	バルセロナ大学	1 (6)				
ドイツ連邦共和国	ボン大学			1 (13)		
フィンランド共和国	ヘルシンキ大学			1 (9)		
大洋州						
オーストラリア連邦	オーストラリア国立大学					
オーストラリア連邦	シドニー大学			1 (11)		
ニュージーランド	オタゴ大学			1 (11)		
中東						
イスラエル国	ハイファ大学			1 (21)		
イスラエル国	ヘブライ大学			1 (12)		
合計人数		8	4	8	1	0

注) 留学期間ではなく単位認定を行った年度である。

【資料 2-12】入学前既修得単位の認定状況(総合人間学部)

	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
認定学生数	5	1	1	0	0	1
認定単位数	118.5	12	15	0	0	13

【資料 2-13】成績評価の方法(総合人間学部)

2023 (R5) 年度															
学系	授業形態	科目数	評価項目採用率 (科目数に対する割合)								評価項目数 (%)				
			出席	平常点※	授業態度	発表・報告	レポート	期末レポート・レポート試験	小テスト 課題 実技	定期試験	1	2	3	4	0
人間科学系	講義	43	9.3	23.3	34.9	7.0	16.3	48.8	20.9	23.3	46.5	23.3	30.2	0.0	0.0
	実験・実習・演習・ゼミナール	61	11.5	21.3	72.1	55.7	14.8	21.3	16.4	3.3	18.0	45.9	24.6	8.2	3.3
認知情報学系	講義	37	16.2	32.4	32.4	5.4	18.9	29.7	35.1	18.9	32.4	48.6	16.2	2.7	0.0
	実験・実習・演習・ゼミナール	49	12.2	18.4	59.2	49.0	14.3	10.2	26.5	2.0	24.5	59.2	16.3	0.0	0.0
国際文明学系	講義	60	5.0	20.0	30.0	16.7	18.3	48.3	21.7	21.7	40.0	41.7	15.0	3.3	0.0
	演習・ゼミナール	69	36.2	5.8	87.0	84.1	8.7	23.2	4.3	4.3	4.3	46.4	40.6	8.7	0.0
文化環境学系	講義	21	23.8	19.0	38.1	19.0	9.5	61.9	47.6	0.0	9.5	66.7	19.0	4.8	0.0
	実習・演習・ゼミナール	35	20.0	11.4	71.4	65.7	17.1	25.7	11.4	0.0	14.3	48.6	37.1	0.0	0.0
自然科学系	講義	23	21.7	30.4	30.4	4.3	26.1	4.3	34.8	43.5	17.4	69.6	13.0	0.0	0.0
	演習・ゼミナール	31	25.8	12.9	64.5	45.2	29.0	6.5	12.9	3.2	12.9	54.8	25.8	0.0	6.5
全体	講義	184	12.5	24.5	32.6	10.9	17.9	40.8	28.8	21.7	33.7	45.1	19.0	2.2	0.0
	実験・実習・演習・ゼミナール	245	21.6	13.9	72.7	62.4	15.1	18.4	13.9	2.9	14.3	50.2	29.4	4.5	1.6

※ PandA または Twitter を用いた課題提出またはテスト (クイズ)・レスポンスペーパー・コメントシート等を含む

【資料 2-14】全学共通科目の開講コマ数

(平成 31 年 3 月現在)

提供部局	科目群	人文・社会科学	自然科学	外国語	情報学	健康・スポーツ	キャリア形成	統合科学	少人数教育	大学院共通	大学院横断	総計
総合人間学部	常勤	261	131	437	23	39			42			933
	非常勤	55		611	2	82						750
	未定											0
	小計	316	131	1,048	25	121	0	0	42	0	0	1,683
理学部・総合人間学部	常勤		249									249
	非常勤		64									64
	未定											0
	小計	0	313	0	0	0	0	0	0	0	0	313
人間・環境学研究科	常勤										1	1
	非常勤											0
	未定											0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
その他	常勤	188	258	63	74	33	58	43	254	19	90	1,080
	非常勤	3		64	1		32			12	5	117
	未定											0
	小計	191	258	127	75	33	90	43	254	31	95	1,197
総合計		507	702	1,175	100	154	90	43	296	31	95	3,194

注)・週コマ数で換算、通年科目はコマ数を 2 倍にしている。

- ・提供部局別であるため、教員の所属とは異なる。
- ・自然・応用科学科目群には、物理学実験、基礎化学実験、地球科学実験を含む。
- ・実験科目はすべて総合人間学部へカウントしている
- ・代講分は代表教員の身分でカウントしている
- ・平成 30 年度より大学院横断科目群ができたため、大学院提供分もカウントしている

【資料 2-15】主専攻・副専攻の文理分布

卒業年度		2019 (R1)		2020 (R2)		2021 (R3)		2022 (R4)	
主専攻	副専攻	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
文系	文系	49	39.2%	33	33.7%	43	29.9%	25	20.8%
	理系	33	26.4%	27	27.6%	37	25.7%	37	30.8%
	小計	82	65.6%	60	61.2%	80	55.6%	62	51.7%
理系	文系	28	22.4%	28	28.6%	44	30.6%	38	31.7%
	理系	15	12.0%	10	10.2%	20	13.9%	20	16.7%
	小計	43	34.4%	38	38.8%	64	44.4%	58	48.3%
総計		125	100.0%	98	100.0%	144	100.0%	120	100.0%

【資料 2-16】「研究を他者に語る」実施アンケート

研究を他者に語る

総合人間学部では、各学生が、自身とは異なる学問分野を専門とする教員に向かって、研究内容を発表する「研究を他者に語る」と題した取組みを行っています。自分が取り組んでいる研究の内容を異分野の教員に対して「説得的に」語ることで、学術の知とその意義を専門外の人にわかりやすく語るコミュニケーション能力を身につけるとともに、自分の研究を相対化し客観視することで、多様かつ総合的な視点で物事を観る能力を培うことを目指します。

学生へのアンケート

		2019 (R1)	2020 (R2)
	回答数	40	88
この試みはあなたにとって意義あるものでしたか	1. そう思わない	7.5	8.0
	2. ややそう思わない	15.0	5.7
	3. どちらでもない	10.0	14.8
	4. ややそう思う	40.0	40.9
	5. そう思う	27.5	30.7

		2021 (R2)
	全体	144
	回答数	61
	回答率	42.4%
「研究を他者に語る」についてどう思いましたか。	1. とても有意義に感じた	21.3
	2. 有意義に感じた	52.5
	3. ふつう	23.0
	4. あまり有意義に感じなかった	3.3

聞き役教員へのアンケート

		2019 (R1)	2020 (R2)
	回答数	87	73
この試み自体は意義あるものでしたか	1. そう思わない	1.1	2.7
	2. ややそう思わない	3.4	0.0
	3. どちらでもない	11.5	12.3
	4. ややそう思う	31.0	35.6
	5. そう思う	51.7	49.3
	無回答	1.1	0.0

		2021 (R2)
	全体	134
	回答数	72
	回答率	53.7%
「研究を他者に語る」についてどう思いましたか。	1. とても有意義に感じた	34.7
	2. 有意義に感じた	52.8
	3. ふつう	8.3
	4. あまり有意義に感じなかった	4.2

【資料 2-17】修業年限内卒業率と「標準修業年限×1.5」年内卒業率（総合人間学部）

標準修業年限内卒業率								「標準修業年限×1.5」年内卒業率					
入学年度	入学者数	修業年限内 他学部から の転入者	修業年限内 他学部から の転入者	修業年限が4年 とは異なる者 (3年次編入学者)	修業年限内卒業者		卒業率	5年で卒業した者		6年で卒業した者		卒業者	卒業率
					卒業年度	卒業者数		卒業年度	卒業者数	卒業年度	卒業者数		
2012 (H24)	127	1	5		2015 (H27)	84	64.1%	2016 (H28)	32	2017 (H29)	5	121	92.4%
2013 (H25)	125	2	7	1	2016 (H28)	89	67.9%	2017 (H29)	25	2018 (H30)	4	118	90.8%
2014 (H26)	124	2	9		2017 (H29)	84	64.1%	2018 (H30)	33	2019 (R1)	5	122	93.1%
2015 (H27)	125	0	8		2018 (H30)	98	73.7%	2019 (R1)	24	2020 (R2)	3	125	94.0%
2016 (H28)	119	0	6		2019 (R1)	91	72.8%	2020 (R2)	20	2021 (R3)	8	119	95.2%
2017 (H29)	120	0	9		2020 (R2)	71	55.0%	2021 (R3)	32	2022 (R4)	8	111	86.0%
2018 (H30)	118	1	6		2021 (R3)	98	79.7%	2022 (R4)	23	2023 (R5)		121	98.4%
2019 (R1)	126				2022 (R4)	87	69.0%	2023 (R5)		2024 (R6)			0.0%

・当該年度より後に入学した者のうち、修業年限が4年とは異なる者（例：3年次編入入学してきた者）、転学部してきた者は含まれ、他学部へ転出した者は除く

【資料 2-18】卒業生の進路（総合人間学部）

年度		2017 (H29)			2018 (H30)			2019 (R1)			2020 (R2)			2021 (R3)			2022 (R4)		
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
卒業者数		84	39	123	94	47	141	93	32	125	72	26	98	94	50	144	92	28	120
進路別人数	大学院研究科	29	8	37	35	12	47	36	10	46	26	9	35	41	18	59	36	7	43
	大学学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	1	1	0	0	0
	進学（合計）	29	8	37	35	12	47	36	10	46	27	10	37	41	19	60	36	7	43
	就職	44	26	70	42	32	74	49	21	70	37	16	53	47	27	74	49	18	67
	その他*	11	5	16	17	3	20	8	1	9	8	0	8	6	4	10	7	3	10
進学率 (%)		34.5	20.5	30.1	37.2	25.5	33.3	38.7	31.3	36.8	37.5	38.5	37.8	43.6	38.0	41.7	39.1	25.0	35.8
就職率 (%)		52.4	66.7	56.9	44.7	68.1	52.5	52.7	65.6	56.0	51.4	61.5	54.1	50.0	54.0	51.4	53.3	64.3	55.8

※「その他」の主な内訳：外国の学校等へ入学した者、進学準備、就職準備、帰国留学生、一時的な仕事に就いた者、進路について大学に届け出のない者等

【資料 2-19】就職状況（総合人間学部）

業種		年度	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	合計
農業・林業			1					0	1
漁業								1	1
鉱業・採石業・砂利採取業				1					1
建設業				1	3		1	3	8
製造業	食料品・飲料・たばこ・飼料製造業		1			1	2	1	5
	繊維工業					1	1		2
	印刷・同関連業				1	1			2
	化学工業・石油・石炭製品製造業		3	3			1		7
	鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業					1	1	1	3
	はん用・生産用・業務用機械器具製造業			2		2	2		6
	電子部品・デバイス・電子回路製造業					1			1
	電気・情報通信機械器具製造業			2	2		1	1	6
	輸送用機械器具製造業		1					1	2
	その他の製造業		5		1	2			8
電気・ガス・熱供給・水道業				3	2	1	1		7
情報通信業			24	20	17	15	24	13	113
運輸業・郵便業			4		4		2	3	13
卸売業・小売業	卸売業		1	4	3		3	2	13
	小売業		1	1	2		1	2	7
金融業・保険業	金融業		9	6	5	5	6	6	37
	保険業		1	6	2	1	2	2	14
不動産業・物品賃貸業	不動産取引・賃貸・管理業			4	2	2	1	1	10
	物品賃貸業								0
学術研究専門・技術サービス業	学術・開発研究機関		9						9
	法務			2		1		5	8
	その他の専門・技術サービス業			11	11	9	13	11	55
宿泊業・飲食サービス業									0
生活関連サービス業・娯楽業				1	1				2
教育・学習支援業	学校教育				2	1		2	5
	その他の教育、学習支援業		8	2	3		2	2	17
医療・福祉	医療業・保健衛生						1		1
	社会保険・社会福祉・介護事業				1				1
複合サービス事業					1				1
サービス業（他に分類されないもの）	宗教						1		1
	その他のサービス業				3	3		2	8
公務	国家公務員		1	3		3	5	2	14
	地方公務員		2	2	3	3		2	12
上記以外								4	4
合計			71	74	69	53	71	67	405

【資料 2-20】資格取得状況（総合人間学部）

			2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
教員免許	中学 一種	社会		1	1	2	1	2
		国語		1			1	
		英語		4	1	2		2
		ドイツ語						
		フランス語						
		数学			1	2		1
		理科		2	3			1
		保健体育						
		小計 (免許数)	0	8	6	6	2	6
	高校 一種	地理歴史		1		3	1	2
		公民			1	3	1	1
		国語	1	2			1	1
		英語		5	1	3		3
		ドイツ語						
		フランス語						
		数学		1	1	2	1	1
		理科		2	3		1	1
		保健体育						
		情報		1		1		
		小計 (免許数)	1	12	6	12	5	9
	総計 (免許数)		1	20	12	18	7	15
	取得者数 (人数)		1	12	6	7	4	7
学芸員・司書	司書 (免許数)		0	0	0	1	0	0
	学芸員 (免許数)		1	0	1	0	2	0
	取得者数 (人数)		1	0	1	1	2	0

取得者数 (人数)

	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
教員免許	1	12	6	7	4	7
司書・学芸員	1	0	1	1	2	0
公認会計士	1	12	6	7	4	7

【資料 2-21】奨学金制度・免除制度の採用状況

奨学金制度*1

		年度	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)
日本学生支援機構奨学金	申請者数		19	6	4
	採用者数*2		17	5	3
地方公共団体・民間奨学金*3	地方公共団体 (利用人数)		0	0	0
	民間団体 (利用人数)		17	18	19

*1 貸与・給付を合わせた人数である

*2 3 回生以上の採用数。

*3 民間奨学金の主な団体：中山報恩会、小森記念財団、伊藤謝恩育英財団、等。

入学料免除・徴収猶予制度

		申請者数	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)
申請者数	現行制度のみ		0	1	0
	併願		1	0	0
	新制度のみ		8	5	9
	申請者 合計		9	6	9
許可者数	現行制度のみ		0	0	0
	併願		1	0	0
	新制度のみ		7	4	8
	許可者 合計		8	4	8

・2020 年度より、国の施策により、給付奨学金の拡充および新しい授業料免除制度が実施されている

授業料免除制度

		2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)
申請者数	現行制度のみ	58	53	35
	併願	56	22	31
	新制度のみ	23	41	35
申請者 合計		137	116	101
全額免除	新制度支援区分Ⅰ（全額免除）×現行制度（全学免除）	27	19	9
	新制度支援区分Ⅱ（2/3 免除）×現行制度（全学免除）	8	10	7
	新制度支援区分Ⅲ（1/3 免除）×現行制度（全学免除）	8	5	9
	新制度支援区分Ⅰ（全額免除）のみ	13	16	26
	現行制度（全額免除）のみ	42	34	22
半額免除	現行制度（半額免除）	0	1	4
2/3 免除	新制度Ⅱ（2/3 免除）	2	4	6
1/3 免除	新制度Ⅲ（1/3 免除）	1	1	2
免除者 合計		101	90	85
不許可		36	26	16

- ・ 前後期あわせた延べ人数である。
- ・ 2020 年度より、国の施策により、給付奨学金の拡充および新しい授業料免除制度が実施されている



人間・環境学研究科

3. 人間・環境学研究科

【資料 3-1】人間・環境学研究科 学生数の推移

〔修士課程〕

	学生数（総数）			留学生数（内数） ^{※1}			社会人学生数（内数）			特別聴講学生、 研究生、 特別研究学生等
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
2016 (H28)	215	136	351	20	43	63	10	8	18	27
2017 (H29)	197	140	337	16	36	52	5	10	15	29
2018 (H30)	192	147	339	23	48	71	4	11	15	23
2019 (R1)	218	151	369	39	57	96	10	13	23	30
2020 (R2)	225	147	372	33	53	86	7	13	20	21
2021 (R3)	198	142	340	23	55	78	6	15	21	18
2022 (R4)	178	136	314	28	51	79	11	14	25	31
2023 (R5)	185	131	316	37	45	82	10	13	23	27

・※1外国人留学生数（留学ビザ留学生（COVID-19による未渡日含む））で内数

〔博士後期課程〕

	学生数（総数）			留学生数（内数） ^{※1}			社会人学生数（内数）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
2016 (H28)	158	139	297	20	37	57	23	22	45
2017 (H29)	161	137	298	25	44	69	28	26	54
2018 (H30)	180	134	314	27	43	70	35	28	63
2019 (R1)	180	140	320	32	44	76	38	37	75
2020 (R2)	184	150	334	34	45	79	43	44	87
2021 (R3)	182	138	320	38	43	81	49	44	93
2022 (R4)	185	130	315	40	45	85	50	39	89
2023 (R5)	183	141	324	41	52	93	51	45	96

・※1外国人留学生数（留学ビザ留学生（COVID-19による未渡日含む））で内数

【資料 3-2】入学状況

〔修士課程〕

	入学 定員	志願 者数	合格 者数	入学 者数	入学定 員充足 率（%）	入学者数			再入学 者数	総合人間 学部から の進学者 （内数）	社会人学 生数 （内数）
						男	女	計			
2016 (H28)	164	306	164	158	96.3	95 (8)	63 (18)	158 (26)		34	7
2017 (H29)	164	300	160	148	90.2	80 (6)	68 (18)	148 (24)		30	7
2018 (H30)	164	295	181	160	97.6	93 (17)	67 (29)	160 (46)		26	6
2019 (R1)	164	322	184	179	109.1	111 (22)	68 (27)	179 (49)		37	17
2020 (R2)	164	323	184	159	97.0	95 (11)	64 (24)	159 (35)		37	3
2021 (R3)	164	281	184	132	80.5	75 (12)	56 (24)	131 (36)	1 (男)	25	11
2022 (R4)	164	306	152	141	86.0	82 (16)	59 (20)	141 (36)		37	10
2023 (R5)	164	293	148	140	85.4	79 (19)	61 (21)	140 (40)		27	10

〔博士後期課程〕

（ ）は留学生で内数

	入学 定員	編入学 志願者数	入学 者数	入学定員 充足率 （%）	進学者数			編入学者			再入学 者数	合計			社会人 学生数 （内数）
					男	女	計	男	女	計		男	女	計	
2016 (H28)	68	26	70	102.9	32 (4)	17 (2)	49 (6)	10 (4)	11 (4)	21 (8)		42 (7)	28 (6)	70 (13)	18
2017 (H29)	68	29	59	86.8	21 (1)	15 (8)	36 (9)	11 (1)	12 (6)	23 (7)		32 (6)	27 (15)	59 (21)	12
2018 (H30)	68	37	77	113.2	32 (4)	15 (4)	47 (8)	16 (5)	13 (5)	29 (10)	1 (女)	48 (10)	29 (10)	77 (20)	17
2019 (R1)	68	31	73	107.4	24 (2)	22 (4)	46 (6)	13 (6)	13 (4)	26 (10)	1 (女)	37 (8)	36 (8)	73 (16)	23
2020 (R2)	68	41	83	122.1	29 (5)	22 (9)	51 (14)	17 (4)	14 (3)	31 (7)	1 (男)	47 (9)	36 (12)	83 (21)	24
2021 (R3)	68	31	71	104.4	31 (8)	17 (6)	48 (14)	14 (2)	9 (5)	23 (7)		45 (10)	26 (11)	71 (22)	23
2022 (R4)	68	34	64	94.1	22 (5)	16 (3)	38 (8)	17 (5)	9 (6)	26 (11)		39 (10)	25 (9)	64 (19)	17
2023 (R5)	68	34	68	100.0	21 (3)	20 (8)	41 (11)	15 (6)	12 (6)	27 (12)		15 (6)	12 (6)	68 (33)	23

（ ）は留学生で内数

【資料 3-3】研究生在籍数

年度	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R3)
4 月在籍者数	18	21	26	19	14	24
留学生数 (内数)	14	17	18	17	9	19
10 月在籍者数	43	55	52	50	52	52
留学生数 (内数)	39	49	48	47	44	46

【資料 3-4】留年・休学・退学の状況

(各年度 5 月 1 日現在)

		2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
修士課程	学生数	351	337	339	369	372	340	314
	留年者	33	23	32	37	52	43	35
	休学者	19	19	21	28	26	30	22
	退学者・除籍者数	11	7	8	5	10	8	3
博士後期課程	学生数	297	298	314	320	334	320	315
	留年者	98	90	115	109	103	107	131
	休学者	48	46	61	54	67	62	41
	退学者・除籍者数	13	2	8	12	10	17	9

注) ・留年者数：毎年度 5 月 1 日現在の数
・休学者数：毎年度 5 月 1 日現在の数
・退学者数：当該年度内の累計数 (研究指導認定退学者を除く)

【資料 3-5】修士課程 開設科目数

(2022 (R4) 年度)

専攻	科目数			
	講義	演習	実習	研究指導科目
共生人間学専攻	117	78	4	3
共生文明学専攻	112	89	0	3
相関環境学専攻	53	59	0	3
共通科目			2	

【資料 3-6】他研究科への聴講の状況

(人)

	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
文学研究科	60	61	78	82	70	79
教育学研究科	10	11	22	20	11	16
法学研究科	1	0	3	3	1	
理学研究科	9	2	2	6	1	5
医学研究科	8	2	7	6	6	3
工学研究科	0	2	0	1		1
農学研究科	0	2	1	0	2	2
エネルギー科学研究科	2	2	1	0		
公共政策大学院	5	6	0	2	1	3
地球環境学舎・学舎	0	2	2	1		
経済学研究科	6	9	5	0	3	5
経営管理大学院	5	5	0	7	3	2
アジア・アフリカ地域研究研究科	4	3	1	4	6	2
情報学研究科	4	9	6	9	4	4
生命科学研究科					1	1
総合生存学館					1	
合計	114	116	128	141	110	123

【資料 3-7】単位互換制度の利用状況

【受入】

	年度	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
奈良女子大学 大学院人間文化研究科	認定学生数	0	0	1	0	0	0
	認定単位数	0	0	2	0	0	0
大阪大学 大学院国際公共政策研究科	認定学生数	0	0	0	0	0	1
	認定単位数	0	0	0	0	0	2

【派遣】

	年度	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
奈良女子大学 大学院人間文化研究科	認定学生数	0	0	1	0	0	0
	認定単位数	0	0	2	0	0	0
大阪大学 大学院国際公共政策研究科	認定学生数	0	0	0	1	0	0
	認定単位数	0	0	0	2	0	0

【資料 3-8】入学前既修得単位の認定状況

	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
認定学生数	0	1	1	2	1	0
認定単位数	0	10	10	20	4	0

【資料 3-9】TA採用状況

	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
修士課程	学生数	337	339	369	372	340
	採用人数 (延べ人数)	57	76	78	73	84
博士後期課程	学生数	298	314	320	334	320
	採用人数 (延べ人数)	27	63	70	54	57
TA 採用合計数		84	139	148	127	141

【資料 3-10】TA運用状況

	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
全学共通科目	科目数	172	183	128	156	152
総合人間学部	科目数	64	74	121	82	92
人間・環境学研究科	科目数	29	35	45	44	53

【資料 3-11】RA採用状況

	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
博士後期課程学生数		314	320	334	320	315
内訳	M2					3
	D1	0	2	3	9	8
	D2	9	8	6	5	2
	D3	6	5	5	5	8
合計		15	15	14	19	18

【資料 3-12】成績評価の方法

(2023 (R5) 年度)

講座	授業形態	科目数	評価方法 (科目数に対する採用率)										評価項目数			
			出席	平常点	コメントシート等の提出	授業への参加 (予習・復習・発言)	発表・報告・質疑応答	レポート	期末レポート レポート試験	小テスト/ 小レポート/ 課題/ 実技/実習	定期試験	到達目標の達成度	1	2	3	4
1. 数理・情報科学	講義	7	0.0	42.9	14.3	0.0	0.0	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0	42.9	57.1	0.0	0.0
	演習	17	0.0	41.2	0.0	23.5	82.4	5.9	11.8	0.0	0.0	23.5	29.4	52.9	17.6	0.0
2. 人間・社会・思想	講義	17	17.6	29.4	0.0	47.1	23.5	29.4	41.2	17.6	5.9	0.0	29.4	47.1	5.9	17.6
	演習	20	10.0	55.0	0.0	45.0	45.0	5.0	10.0	0.0	0.0	0.0	35.0	60.0	5.0	0.0
3. 芸術文化	講義	21	9.5	23.8	28.6	66.7	28.6	33.3	47.6	14.3	0.0	0.0	9.5	33.3	57.1	0.0
	演習・実習	22	18.2	13.6	0.0	68.2	63.6	13.6	40.9	18.2	0.0	0.0	22.7	18.2	59.1	0.0
4. 認知・行動・健康科学	講義	9	55.6	22.2	0.0	11.1	55.6	22.2	33.3	11.1	0.0	0.0	22.2	66.7	11.1	0.0
	演習	13	46.2	23.1	7.7	38.5	84.6	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	23.1	38.5	38.5	0.0
5. 言語科学	講義	16	12.5	0.0	0.0	81.3	68.8	31.3	37.5	6.3	0.0	0.0	6.3	62.5	18.8	12.5
	演習	6	16.7	16.7	0.0	66.7	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0
6. 東アジア文明	講義	37	10.8	32.4	0.0	32.4	16.2	27.0	51.4	27.0	10.8	0.0	18.9	59.5	16.2	5.4
	演習	26	46.2	0.0	0.0	84.6	80.8	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0	15.4	34.6	50.0	0.0
7. 共生世界講座	講義	17	11.8	11.8	0.0	41.2	29.4	29.4	29.4	5.9	11.8	17.6	41.2	35.3	17.6	5.9
	演習	20	25.0	5.0	0.0	55.0	60.0	10.0	30.0	10.0	0.0	20.0	15.0	60.0	20.0	5.0
8. 文化・地域環境	講義	17	5.9	23.5	5.9	52.9	29.4	35.3	41.2	29.4	5.9	0.0	11.8	58.8	17.6	11.8
	演習	27	0.0	7.4	0.0	51.9	63.0	40.7	11.1	11.1	0.0	0.0	22.2	70.4	7.4	0.0
9. 物質科学	講義	16	31.3	31.3	0.0	43.8	31.3	37.5	6.3	12.5	0.0	0.0	12.5	75.0	12.5	0.0
	演習	17	58.8	5.9	0.0	76.5	64.7	11.8	11.8	0.0	0.0	0.0	11.8	47.1	41.2	0.0
10. 地球・生命環境	講義	11	54.5	18.2	0.0	18.2	27.3	9.1	27.3	0.0	9.1	18.2	27.3	63.6	9.1	0.0
	演習	16	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0	37.5	50.0	37.5	12.5	0.0

【資料 3-13】修士課程 単位修得状況

(2022 (R4) 年度)

課程	専攻	科目数	単位取得者数	受講登録者数	取得率
1・2 回生	共生人間学専攻	129	896	971	92.3%
	共生文明学専攻	128	531	569	93.3%
	相関環境学専攻	69	418	436	95.9%

【資料 3-14】修士課程 学位授与の状況

		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
共生人間学専攻	授与者	48	66	69	75	80	68
	未修者	21	18	22	27	23	16
共生文明学専攻	授与者	50	34	43	38	37	37
	未修者	12	15	13	21	16	14
相関環境学専攻	授与者	52	42	37	41	42	29
	未修者	6	4	6	11	11	9
総計	授与者	150	142	149	154	159	134
	未修者	39	37	41	59	50	39

・修士課程在籍 2 年で学位を取得できるが、各年度の授与者および未修者には、3 年以上の在籍者が含まれる

【資料 3-15】修士課程 標準修業年限内修了率と「標準修業年限× 1.5」年内修了率

標準修業年限内修了率					「標準修業年限× 1.5」年内修了率			
入学年度	入学者数	修了年度	修了者数	標準修業年限内 修了率	修了年度	対象学生数	修了者数合計	「標準修業年限× 1.5」 年内修了率
2013 (H25)	140	2014 (H26)	112	80.0%	2015 (H27)	13	125	89.3%
2014 (H26)	151	2015 (H27)	119	78.8%	2016 (H28)	17	136	90.1%
2015 (H27)	155	2016 (H28)	129	83.2%	2017 (H29)	11	140	90.3%
2016 (H28)	158	2017 (H29)	134	84.8%	2018 (H30)	16	150	94.9%
2017 (H29)	148	2018 (H30)	120	81.1%	2019 (R1)	16	136	91.9%
2018 (H30)	160	2019 (R1)	130	81.3%	2020 (R2)	15	145	90.6%
2019 (R1)	179	2020 (R2)	134	74.9%	2021 (R3)	24	158	88.3%
2020 (R2)	159	2021 (R3)	126	79.2%	2022 (R4)	18	144	90.6%
2021 (R3)	132	2022 (R4)	105	79.5%	2023 (R5)			
2022 (R4)	141	2023 (R5)			2024 (R6)			

【資料 3-16】修士課程修了者の進路

年度	2018 (H30)			2019 (R1)			2020 (R2)			2021 (R3)			2022 (R4)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
修了者数	78	64	142	82	67	149	95	59	154	96	63	159	71	63	134
進学 (大学院)	25	24	49	29	25	54	33	19	52	25	17	42	22	19	41
人間・環境学研究科へ進学 (内数)	(24)	(22)	(46)	(29)	(21)	(50)	(31)	(17)	(48)	(22)	(16)	(38)	(20)	(19)	(39)
進学 (大学院以外)	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0
就職	46	33	79	46	32	78	52	29	81	61	35	96	43	30	73
その他	7	7	14	7	10	17	10	10	20	10	10	20	6	14	20
大学院進学率	32.1	37.5	34.5	35.4	37.3	36.2	34.7	32.2	33.8	26.0	27.0	26.4	31.0	30.2	30.6
就職率	59.0	51.6	55.6	56.1	47.8	52.3	54.7	49.2	52.6	63.5	55.6	60.4	60.6	47.36	54.5

※「その他」の主な内訳：修了後の進路について大学に届け出のない者、就職準備、無業者、家事手伝い、帰国留学生、一時的な仕事に就いた者

【資料 3-17】修士課程修了者の就職状況

(職業別就職状況)

修了年度		2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	合計
研究者		5	7	9	6	5	32
農林水産技術者			1				1
技術者	製造技術者（開発）	11	12	12	6	7	48
	製造技術者（開発除く）	1	3	3	4	3	14
建築・土木測量技術者		2	1	1	1	1	6
情報処理・通信技術者		6	12	11	17	11	57
その他の技術者		2	3	1	2	1	9
教員	中学校		1		1		2
	高等学校	4	1	1	3	2	11
	中等教育学校		1				1
	短期大学・大学	1					1
医療技術者				2	1		3
その他の保健医療従事者				1			1
美術・写真・デザイナー・音楽・舞台				1	2	2	5
その他		4	7	3	5	7	26
管理的職業従事者		4	6	4	3	5	22
事務従事者		9	2	6	3	2	22
販売従事者		4	1	1	5	2	13
サービス職業従事者		9	3	1	8	2	23
生産工程従事者			1				1
輸送・機械運転従事者						1	1
建設・採掘従事者		1					1
上記以外		16	15	24	29	23	107
合計		79	77	81	96	74	407

(産業別就職状況)

修了年度		2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	合計
農業・林業・漁業							0
鉱業・採石業・砂利採取業		1					1
建設業		1					1
製造業		18	27	23	22	18	108
電気・ガス・熱供給・水道等		1	1	2	2		6
情報通信業		21	20	21	36	22	120
運輸業・郵便業		2	2		1	2	7
卸売業・小売業		6	3	3	5	5	22
金融業・保険業		1	1	3	5	3	13
不動産業・物品賃貸業		2		1		1	4
学術研究, 専門・技術サービス業	学術・開発研究機関			1			1
	法務					1	1
	その他の専門・技術サービス業	9	13	15	12	9	58
宿泊業・飲食サービス業					1		1
生活関連サービス業・娯楽業		1		1			2
教育, 学習支援業	学校教育	6	3	3	4	3	19
	その他の教育, 学習支援	5	1	2	2		10
医療・福祉	医療業・保健衛生			2	1	1	4
	社会保険・社会福祉・介護事業		1				1
複合サービス事業		1					1
サービス業（他に分類されないもの）		3		3		1	7
公務	国家公務	1	1		2	1	5
	地方公務		2			2	4
上記以外			2	1	3	5	11
合計		79	77	81	96	74	407

【資料 3-18】博士後期課程 学位授与の状況

修了年度		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
大学院博士後期課程 修了者	学位授与者数	34	47	47	50	45	36
	在籍 3 年の学位取得者数 (内数)	(13)	(14)	(11)	(18)	(12)	(16)
	研究指導認定退学者数	47	32	34	38	28	29
	未修者数	112	134	114	111	120	133
課程博士累計数		859	906	953	1,003	1,047	1,083
論文提出によるもの	論文博士	0	1	3	1	1	0
	論文博士累計数	49	50	53	54	55	55

注)・課程博士の値は、研究指導認定退学の後に学位を授与された者の数を含む

【資料 3-19】博士後期課程 標準修業年限内修了率と「標準修業年限× 1.5」年内修了率

年度別学生数		標準修業年限内 修了者数		標準修業年限内 修了率 a/A	「標準修業年限× 1.5」年内修了者数					「標準修業年限× 1.5」 年内修了率 B/A
入学年度	A 入学者数	修了年度	a 修了者数		修了年度	b 修了者数	修了年度	c 修了者数	B (a+b+c)	
2014 (H26)	51	2016 (H28)	10	19.6%	2017 (H29)	3	2018 (H30)	4	17	33.3%
2015 (H27)	79	2017 (H29)	7	8.9%	2018 (H30)	10	2019 (R1)	6	23	29.1%
2016 (H28)	70	2018 (H30)	13	18.6%	2019 (R1)	6	2020 (R2)	5	24	34.3%
2017 (H29)	59	2019 (R1)	11	18.6%	2020 (R2)	8	2021 (R3)	6	25	42.4%
2018 (H30)	76	2020 (R2)	18	23.7%	2021 (R3)	8	2022 (R4)	6	32	42.1%
2019 (R1)	72	2021 (R3)	12	16.7%	2022 (R4)	8	2023 (R5)		20	27.8%
2020 (R2)	82	2022 (R4)	8	9.8%	2023 (R5)		2024 (R6)		8	9.8%

【資料 3-20】博士後期課程修了者・研究指導認定退学者の進路

	2017 (H29)			2018 (H30)			2019 (R1)			2020 (R2)			2021 (R3)			2022 (R4)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
修了者数 ^{*1}	29	32	61	35	22	57	35	23	58	39	34	73	27	23	50	32	18	50
就職	15	11	26	26	10	36	17	11	28	33	18	51	22	11	33	22	13	35
その他	14	21	35	9	12	21	18	12	30	6	16	22	5	12	17	10	5	15
就職率	51.7	34.4	42.6	74.3	45.5	63.2	48.6	47.8	48.3	84.6	52.9	69.9	81.5	47.8	66.0	68.8	72.2	70.0

^{*1} 博士後期課程修了者と研究指導認定退学者の合計であり、研究指導認定退学後に学位を取得した者は含まれない。

注)・就職年度は、学位授与者では学位授与年度、学位未授与の研究指導認定退学者では退学年度とした。

【資料 3-21】博士後期課程修了者・研究指導認定退学者の就職状況

(職業別就職状況)

修了年度		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	合計
研究者		8	9	12	18	10	15	72
技術者	製造技術者 (開発)	1	1	2	1	2		7
	製造技術者 (開発除く)							0
情報処理・通信技術者		1		1			1	3
その他の技術者			1					1
教員	高等学校	1	1		1		1	4
	中等教育学校							0
	大学・短期大学	8	14	9	11	7	4	53
	その他	1	1	1			1	4
医療技術者						2		2
その他		2	1		3			6
管理的職業従事者			1			1	1	3
事務従事者		3	3	1	1			8
販売従事者								0
サービス職業従事者			1			1		2
上記以外		1	3	2	6	3	3	18
不明 (大学に届け出のない者)					10	7		17
合計		26	36	28	51	33	26	200

(産業別就職状況)

修了年度		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	合計
農業・林業・漁業					1			1
製造業		5	3	5	2	2	2	19
情報通信業		2	2	1	3		1	9
卸売業・小売業			1				1	2
金融業、保険業					1			1
学術研究， 専門・技術サービス業	学術・開発研究機関	1	3	2	2	3		11
	法務	1				1		2
	その他の専門・技術サービス業				1			1
教育，学習 支援業	学校教育	15	23	14	23	13	15	103
	その他の教育、学習支援業			4			2	6
医療・福祉						2		2
サービス業 (他に分類されないもの)			2	1	2	1	1	7
公務	国家公務	1	1					2
	地方公務		1		2	2		5
上記以外		1		1	4	2	4	12
不明 (大学に届け出のない者)					10	7		17
合計		26	36	28	51	33	26	200

【資料 3-22】教員免許状資格取得状況

		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
中学専修	社会					1	1
	国語						1
	英語			1			1
	保健体育						
	数学	1			1	1	
	理科	1	1	1	2		
	小計	2	1	2	3	2	3
高校専修	地理歴史					1	1
	公民						
	国語	1				1	1
	英語			1			1
	保健体育						
	数学	1			1	1	
	理科	1	1	2	2		
	小計	3	1	3	3	3	3
取得者数		1	1	3	3	3	3

【資料 3-23】日本学術振興会特別研究員の採用状況

(人)

	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R4)
DC1	2	9	9	6	5	5	3
DC2	6	12	9	0	8	8	10
計	8	21	18	6	13	13	13

【資料 3-24】奨学金制度・免除制度の採用状況

日本学生支援機構奨学金

年度		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
修士課程	申請者数	31	40	32	32	35	33
	採用者数	31	40	32	32	35	33
博士後期課程	申請者数	12	11	9	11	10	5
	採用者数	12	11	9	11	10	5

入学料免除

年度		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
修士課程	申請者数	50	50	54	31	37	52
	採用者数	20	20	11	11	16	8
博士後期課程	申請者数	11	11	9	10	7	12
	採用者数	4	4	7	5	3	5

授業料免除

年度		2017 (H29)		2018 (H30)		2019 (R1)		2020 (R2)		2021 (R3)		2022 (R4)	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
修士課程	申請者数	126	133	138	143	150	156	116	129	106	113	111	121
	全額免除 (採用者数)	61	46	58	43	35	33	67	52	42	57	42	41
	半額免除 (採用者数)	39	61	58	77	83	78	40	66	49	47	38	47
博士後期課程	申請者数	114	119	123	126	132	134	127	140	128	134	149	150
	全額免除 (採用者数)	88	71	84	66	69	63	113	105	70	115	87	83
	半額免除 (採用者数)	12	38	29	50	45	53	4	26	48	13	45	48



教育研究指導

4. 教育研究指導

【資料 4-1】ガイダンスについて

(2022 (R4) 年度)			
ガイダンス名	日程	内容	主催
総合人間学部 新入生ガイダンス	2022 年 4 月 7 日 (木) 13:00 ~ 14:00	・全体説明 / ・学部長挨拶 / ・人権相談窓口委員からの案内 / ・学生相談室からの案内 / ・吉田南総合図書館の紹介 / ・同窓会の案内	学部教務委員会
総合人間学部 履修ガイダンス・学系 紹介・各クラス担当と の顔合わせ (新入生対象)	2022 年 4 月 7 日 (木) 14:15 ~ 17:00	・履修ガイダンス / ・学系紹介 / ・各クラス担当との顔合わせ / ・『全学共通科目 履修の手引き (簡易版)』『総合人間学部便覧』『履修モデル&教員プロフィール』 についての説明 / ※公正な学術活動に関すること、コンピュータソフトウェアの適正な使用につ いてを含む	〃
新 2・3 回生合同学系 ガイダンス (全員参加)	2022 年 4 月 5 日 (火) 13:00 ~ 人間科学系 13:30 ~ 文化環境学系 14:00 ~ 自然科学系 15:00 ~ 認知情報学系 15:30 ~ 国際文明学系	・学系毎に、全体説明の後、各教員アドバイザーから説明等を行う。 『学生便覧』『履修モデル&教員プロフィール』持参 【新 2 回生】履修コースを提示し、卒業論文・卒業研究に至る過程 (研究公正 に関することを含む) を説明する。 【新 3 回生】指導教員の決定方法や卒業論文・卒業研究に至る過程 (研究公正に 関することを含む) を説明し、大学院進学や就職等進路について情報提示する。 新 4 回生には全体ガイダンスは実施せず個別相談を受け付ける。	〃
学系分属説明会 ・ 1 回生対象 (2 回生以上の参加も認 める)	2022 年 9 月 30 日 (金) 9:30 ~ 自然科学系 11:00 ~ 人間科学系 13:00 ~ 認知情報学系 14:30 ~ 国際文明学系 16:00 ~ 文化環境学系 延べ 178 名が参加	・学系内の各関係・分野の紹介と就職進学の説明 ・『学生便覧』『履修モデル&教員プロフィール』持参	〃

(2022 (R4) 年度)			
ガイダンス名	日程	内容	主催
新入生オリエンテー ション (修士課程新入生、 博士後期課程編入学生)	2022 年 4 月 7 日 (火) 10:30 ~ 12:00 (2 部制) 修士課程：共生人間学専攻、 博士後期課程編入学全専攻 10:30 ~ 11:00 修士課程：共生文明学専攻、 相関環境学専攻 11:30 ~ 12:00 講座別オリエンテーション 16:30 ~ 17:30	・研究科長挨拶 / ・履修指導・研究公正 / ・人権問題について / ・学生相談室について / ・ティーチング・アシスタントについて / ・同窓会につ いて	大学院教務委員会
博士学位論文作成説明会	2022 年 9 月 30 日 (金) 16:45 ~	・博士学位論文提出日程、提出要領	大学院教務委員会
修士論文作成説明会 【オンライン】	2022 年 10 月 7 日 (金) 16:45 ~	・修士論文提出日程、提出要領	〃
入試説明会			
第 1 回 大学院入試説明会	2022 年 4 月 23 日 (土) 10:00 ~ 12:30 【オンライン】	・ 10:00 ~ 10:50 全体説明および質疑応答 ・ 11:00 ~ 11:30 講座別説明会 ・ 11:30 ~ 12:30 研究室紹介 (2 部制)	大学院入試広報小委員会
第 2 回 大学院入試説明会	2022 年 10 月 15 日 (土) 10:00 ~ 12:30 【オンライン】	・ 10:00 ~ 10:45 全体説明会 (組織再編について / 入試について / 質疑応答) ・ 11:00 ~ 11:30 講座別説明会 ・ 11:30 ~ 12:30 研究室紹介 (2 部制 11:30 ~ 12:00 / 12:00 ~ 12:30)	〃

【資料 4-2】学習指導方法の工夫

(教員アンケート 2012(H24)・2015(H27)・2017(H29) 年度実施)

項目・内容		学部教育			大学院教育			全学共通教育		
		2012 (H24)	2015 (H27)	2017 (H29)	2012 (H24)	2015 (H27)	2017 (H29)	2012 (H24)	2015 (H27)	2017 (H29)
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
授業形態	少人数授業	6	9	17	11	12	15	5	6	5
	対話・討論型授業	6	15	16	15	15	18	10	9	13
	講義・演習の併用型授業	6	3	7	2	1	4		1	3
	デモ・実験・現物観察等による体験型授業	5	4	3	3	3	4	6	5	2
	野外調査・現物調査を組み入れた授業	5	6	10	4	3	5	3	3	7
授業	質問の多用 (それに対する回答と議論に基づく授業展開)	1	2	4		1	2	2	2	2
	プレゼンテーションの活用 (重視)	1	4	3	3	7	4		3	3
	その他									
資料・教材等	英語論文・教科書・教材の利用	3	2	1	5	4	2			
	画像・映像・音声資料の活用 (ウェブ資料)	6	4	3	2	2	1	6	9	5
	講義資料・補助資料の配布	2	4	1		3	1	2	4	1
	パソコンの活用 (デモ、シミュレーション、演習解答)	1	1	1		3		1		1
	教科書・教材の作成				2				1	
	その他									
課題	レポート・小テスト・演習問題 …毎回、複数回、小単元毎 …添削後返却	1	2	2	2		1	3	4	5
その他	TA の活用	4	8	3	2		1	7		7
	授業用ウェブサイトの活用 (資料、プログラム、課題)	1	1	1		1	1	2	1	2
	英語による授業 (対話・討論型等)	1	1		2	3		1	3	
	自律型学習支援システム (CALL) の活用							4	3	2
	学習支援システム (PandA) の活用					1		1	4	
	その他									

【資料 4-3】授業時間外学習を促す工夫

(教員アンケート 2012(H24) 年 6 月・2015(H27) 年 7 月・2017(H29) 年 7 月実施)

項目・内容		学部教育			具体例	大学院教育			具体例	全学共通教育			具体例
		2012 (H24) 件数	2015 (H27) 件数	2017 (H29) 件数		2012 (H24) 件数	2015 (H27) 件数	2017 (H29) 件数		2012 (H24) 件数	2015 (H27) 件数	2017 (H29) 件数	
情報の提供	教科書・参考書の提示	2	2	2		4	2	2		1		2	
	必読書籍・論文の提示	1	2	3			4	5		1	3	2	
	関連資料（文献・書籍・資料等）の紹介	6	4	2		8	4	4		2	3	3	・シラバスに掲載
	関連情報掲載の URL を紹介	1				2				2			
資料・教材	講義資料の WEB 掲載	1				1		1		1	2	1	
	講義資料の事前配布	1	3	3			3	3				1	
	その他				・シラバスに資料の提示								
講義内	プレゼンテーションの活用	3	4	4	・プレゼンの事前指導 ・大学院生と学部生とをペアにする	2	8	5		1	3	2	・レジュメの作成
	討論・議論型授業	1	2			1	1	3				2	
	準備学習・復習の指導		2		・学生自身による設問設定 ・事前に資料を読み、質問・意見を当日提出 ・速読・精読部分を予め指示	1	1	9	・講義内で時間外学習が進むように基礎的部分を指導 ・予習したものを提出させ、添削 ・説明担当箇所を事前に決定 ・準備学習の指示	5	3	3	・準備学習の指示
課題	宿題の提示（レポート・小テスト・演習等）	20	10	16	・講義内では終わらない課題を出す ・自分で考える学習内容を選ぶ	12	7	11		24	20	29	・毎回課題を課し、採点して返却、質問への回答 ・グループ課題を課す ・期末レポートを早めに提示
	自主学習用の問題等の提示	2	1	1		3	1			3	6	2	
	野外調査	1	1	2		1	1	1		1	1	1	・時間外の野外実習
その他	学生主導ゼミ・勉強会の推奨	2	1			2	2						
	メールによる学習指導					1		2		1			
	学習支援システム（PandA）の活用		1	1			1	2			1	6	
	定期的な研究進捗状況の報告	1		1		1	3	4	・研究成果報告会				
	時間外指導時間の確保	1		1		1	5	1			2		
	授業時間外学習時間の確保	1		2		2				1		3	
	その他				・学問の魅力と意義を伝える ・学修成果の将来的な寄与や発展を伝える ・シラバスによる準備学習の指示 ・毎回コメントを提出させる ・受講生間の話し合いで、分担箇所の割り当てを行う				・シラバスによる準備学習の指示 ・分野で組織的な履修指導 ・院生や他の研究者との交流 ・時間外の研究会や個別指導				・シラバスに準備学習の指示 ・演習問題・宿題に対する略解を KULASIS で公開 ・毎回の授業の成果等記載する自己記録帳の作成（学期終了後にレポートとして提出） ・CALL の活用 ・eLearning の活用 ・TA の活用（事前学習の指導）

【資料 4-4】基礎学力不足の学部学生への配慮

(教員アンケート 2012(H24) 年 6 月・2015(H27) 年 7 月・2017(H29) 年 7 月実施)

項目・内容		全学共通教育				学部教育			
		2012 (H24) 件数	2015 (H27) 件数	2017 (H29) 件数	具体例	2012 (H24) 件数	2015 (H27) 件数	2017 (H29) 件数	具体例
講義内対応	基礎学力不足を前提とした授業	3	5			2	1		
	学力把握とそれに対応した教材と教授法の選定	2	7	10	・補講 ・基礎的内容からの授業展開 ・基礎からの詳細な解説 ・学生間での教え合い学習	2	10	4	・基本からの詳細な解説
	予習・復習の徹底	2					1		
	その他				・質問時間の確保 ・机間巡回の充実 ・レポート作成方法の詳細説明 (講義 1 回)				・質問 (質問用紙) の受付、即回答 ・発展的な内容に触れる際にはそのことを明言
授業補助	書籍・文献等の紹介	5	1	4	・基礎的文献の提示	5	2	5	
	課題の提示	4	1			1	1		
	教材開発	1							
受講者への対応	質問等への個別対応 対応時間の設定 (オフィスアワー等)	5	6	7	・添削時のコメント ・対話時間の確保 ・オフィスアワーの活用	4	8	6	・面談 ・オフィスアワーの活用
	TA の活用	1				1	1		
	学習進捗状況の把握	1				2	1		
	その他				・関連講義の紹介				・日常的な指導 ・大学院生とペアにした学習

【資料 4-5】研究教育上の目的やディプロマ・ポリシーを意識した学習方法・成績評価の観点 (基準)

(教員アンケート 2017(H29) 年 7 月実施)

【総合人間学部】

項目	学習方法の工夫	成績評価の観点
幅広い知識、多角的視点、柔軟な発想	・幅広い視点における思考力の育成を重視 (4) ・文理融合複眼的視座に立った履修の指導 ・他の専門分野の戦略的な学習を促す ・幅広い分野の参考文献書籍の紹介 ・多専攻生の受入	・多角的視点、柔軟な発想 ・幅広い視点 ・批判的思考
プレゼンテーション能力、対話力、リーダーシップ	・発表・討論の重視 (3) ・発表の独創性の育成 ・対話能力の育成 ・対話型授業 ・学生から現代的問題の提示させ、議論する	・発表の重視 (4) ・討論の重視 (5) ・発表の論理構成の明確さ、議論の質、対話能力
専門性	・レポート課題 (2) ・検索能力の構築 ・問題意識の明確化を促す ・重要点に関する質問をすることで、思考力の育成 ・レポートの丁寧な添削 ・参考文献の紹介	・独創性 (3: 研究課題、着眼点) ・独自の問題関心 ・問題提起から解決までの過程における論理的一貫性 ・説得性・論理性・明解性
挑戦する創造的姿勢、持続力	・持続的な学修を促すための教材の工夫や助言 ・学習者一人ひとりの学習目的や動機づけを重視した授業展開	・持続的な取組 (3) ・資料の準備の程度

【人間・環境学研究科】

項目	学習方法の工夫	成績評価の観点
幅広い知識、複眼的思考	・文理双方の視点の修得 ・幅広い視点における思考力の育成 ・広範な領域の勉学の奨励 ・幅広い分野の文献・書籍の紹介 ・他の専門分野の履修を促す	・幅広い視点 ・批判的思考 ・個別領域に留まらない総合的な理解力
問題解決の企画力	・問題解決型課題を提示 ・研究課題を自ら設定し、解決方法を集団で議論させる ・学生から現代的問題を提示させ、議論する ・現代社会の諸問題に対する、総合的、実践的な理解の促進	・問題解決のための実践的な能力
高度な研究能力	・問題意識を明確化させる ・発表の重視 (4) 例：発表資料の事前準備、時間内での要点整理、着眼点説明をさせる ・議論の重視 (6) 例：問題提起能力の育成を図る ・参考文献の紹介	・論理性 (3) ・発表の重視 (5) ・討論の重視 (5) 例：議論の質
着想の独創性	・自身による問題設定	・独創性 (3)
持続的努力	・自習資料の提供 ・学生各自の学習目的の重視	・課題への対応 (2) ・実験に取り組む姿勢 ・資料収集能力 ・意見・質問による授業への参加状況

【資料 4-6】学生の学会発表者数

		2018 (H30)			2019 (R1)			2020 (R2)			2021 (R3)			2022 (R4)			2023 (R5)		
		学部生	修士	博士	学部生	修士	博士	学部生	修士	博士	学部生	修士	博士	学部生	修士	博士	学部生	修士	博士
国内会議	発表者 (筆頭著者)	3 (3)	142 (123)	210 (176)	1 (1)	80 (69)	127 (106)	2 (2)	40 (29)	69 (55)	1 (1)	41 (24)	92 (56)	4 (4)	43 (36)	95 (67)	1 (1)	59 (45)	88 (70)
	総計 (筆頭著者)	355 (302)			208 (176)			111 (86)			134 (81)			142 (107)			148 (79)		
国際会議	発表者 (筆頭著者)	0 (0)	55 (50)	85 (77)	0 (0)	37 (34)	59 (52)	0 (0)	4 (3)	13 (13)	0 (0)	3 (3)	30 (29)	0 (0)	0 (0)	24 (22)	1 (1)	13 (10)	32 (26)
	発表者 (筆頭著者)	140 (127)			96 (86)			17 (86)			33 (32)			24 (2)			46 (17)		

・注 [] 内の数字は筆頭著者を示し内数

【資料 4-7】学会への参加を促す取組み

(教員アンケート 2012(H24)年6月・2015(H27)年7月・2017(H29)年7月実施)

項 目	共生人間学専攻			共生文明学専攻			関連環境学専攻		
	2012(H24)	2015(H27)	2017(H29)	2012(H24)	2015(H27)	2017(H29)	2012(H24)	2015(H27)	2017(H29)
学会（シンポジウム）参加費の補助	8	9	13	2		1	20	8	15
旅費の補助	17	14	14	2	2	2	21	9	17
研究進捗状況に合わせた学会発表の 提案・奨励とそのための指導	1	3	5	1	4	1	2	4	2
海外現地調査、留学体験の推奨				1	2				
奨学金・研究助成の申請のサポート			2	1	2				9
学会情報の提供		3	18	1	4	5		1	
大学宿泊施設の斡旋				1					
学会等の京都開催	1								
競争的資金の獲得	1	1			1			1	

【資料 4-8】他大学・公的機関および企業との共同研究

年度	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
共生人間学専攻	7	24	18	4	4	2
共生文明学専攻	2	3	2	0	0	0
関連環境学専攻	24	28	11	7	7	6
合計	33	55	31	11	11	8

・科研費・受託研究等を除く

2017(H29) 年度 積水化学工業株式会社、公益財団法人日本英語検定協会、奈良女子大学、東京工科大学、福井県高浜町、大塚化学株式会社・ヒロセ・ユニエンス株式会社、学校法人立命館立命館大学総合科学技術研究機構・株式会社 G S コアサ、堺化学工業株式会社研究開発本部中央研究所、北陸先端大学院大学、富山大学、北海道大学 スラブ・ユーラシア研究センター、国立遺伝学研究所、マレーシア国サラワク州森林局森林研究所、岩崎電気株式会社、国立民族学博物館、核融合研究所、三和油化工業株式会社・豊田通商、産業技術総合研究所、日本福祉大学、東京大学、東京工業大学、大阪大学、産業技術総合研究所、一般財団法人住宅総合研究財団、名古屋大学、堺化学工業株式会社、トヨタ自動車株式会社、セイコーエプソン株式会社、株式会社カシイ、Mipox 株式会社 2018(H30) 年度 東京工科大学、大塚化学株式会社・ヒロセ・ユニエンス株式会社、学校法人立命館立命館大学総合科学技術研究機構・株式会社 G S コアサ、北陸先端大学院大学、公益財団法人結核予防会結核研究所、新潟大学、国立遺伝学研究所、東京大学大気海洋研究所、マレーシア国サラワク州森林局森林研究所、岩崎電気株式会社、国立民族学博物館、核融合研究所、三和油化工業株式会社・豊田通商、豊田中央研究所、関西学院大学、香川大学、産業技術総合研究所、日本福祉大学、東京大学、東京工業大学、大阪大学、産業技術総合研究所、三井住友海上福祉財団、一般財団法人住宅総合研究財団、株式会社カシイ、トヨタ自動車株式会社、日産自動車株式会社、National Chiao Tung University、株式会社豊田中央研究所、株式会社村田製作所・明治国際医療大学、パナソニック株式会社、日立製作所、岩手県滝沢市、京丹後市大宮南地域里力再生協議会、鹿児島大学医学部保健学科、パナソニック株式会社、理化学研究所、School of Design and Informatics Abertay University in Scotland UK、School of Languages and Global Studies、University of Central Lancashire England UK、神戸大学保健学研究科、J X T G エネルギー株式会社、雲南農業大学、コペンハーゲン大学、清水建設株式会社、日本電信電話株式会社、豊田通商・三和油化、フランス ルーアン大学、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター 2019(R1) 年度 株式会社カシイ、日産自動車株式会社、トヨタ自動車株式会社、東ソー株式会社、TOA 株式会社、パナソニック株式会社、日立製作所、岩手県滝沢市、京丹後市大宮南地域里力再生協議会、鹿児島大学医学部保健学科、パナソニック株式会社、理化学研究所、School of Design and Informatics Abertay University in Scotland UK、School of Languages and Global Studies、University of Central Lancashire England UK、神戸大学保健学研究科、J X T G エネルギー株式会社、雲南農業大学、コペンハーゲン大学、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター、株式会社ダイセル、日本製鉄株式会社技術開発本部先端技術研究所 2020(R2) 年度 コペンハーゲン大学、University of Rhode Island (USA)、Ball State University (USA)、Christian-Albrechts-Universität zu Kiel (ドイツ) University of North Texas (USA)、イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校、九州大学、千葉大学、国立研究開発法人物質・材料研究機構、早稲田大学、名古屋大学、東京工業大学、産業技術総合研究所、電力中央研究所、株式会社ダイセル、大塚化学株式会社、ヒロセ・ユニエンス株式会社 2021(R3) 年度 University of Sanata Dharma (Indonesia)、コペンハーゲン大学、University of Rhode Island (USA)、Ball State University (USA)、Christian-Albrechts-Universität zu Kiel (ドイツ) University of North Texas (USA)、九州大学、千葉大学、国立研究開発法人物質・材料研究機構、早稲田大学、名古屋大学、東京工業大学、産業技術総合研究所、電力中央研究所、株式会社ダイセル、大塚化学株式会社、ヒロセ・ユニエンス株式会社 2022(R4) 年度 University of Rhode Island (USA)、Ball State University (USA)、Christian-Albrechts-Universität zu Kiel (ドイツ) University of North Texas、いすゞ中央研究所、大塚化学、コペンハーゲン大学、九州大学、千葉大学、名古屋大学、東京工業大学、産業技術総合研究所、電力中央研究所
--

【資料 4-9】他大学・公的研究機関の共同利用施設・設備の利用に関わる研究課題採択数

年度	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R3)
共生人間学専攻	1	1	1	1	0	0	1
共生文明学専攻	1		2	2	1	1	1
相関環境学専攻	15	9	17	15	7	7	5
合計	17	10	20	18	8	8	7

2016 (H28) 年度

● Prof. Dr. Thomas Buchheim, Fakultät für Philosophie, Wissenschaftstheorie und Religionswissenschaft der LMU München 採択課題：Schellings Philosophie der menschlichen Freiheit (Gefördert von der Deutschen Forschungsgemeinschaft) / ●神戸研究学園都市 UNITY 研究会「未来に向けた日中交流と日中相互関係」/ ●佐賀大学シンクロトロン光応用研究センター「光電子分光を用いたチタン酸化物の電子構造の研究」/ ●岡山大学地球物質科学研究センター「コマチアイトの含水融解実験による冥王代地殻組成の解明」/ ●放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究 (広島大学)「低線量率放射線誘発細胞応答における酸化ストレスの関与」/ ●高輝度科学センター「Spring-8「高分子結晶化時における密度揺らぎについての研究」・IXAFS を用いた二酸化炭素の水素化反応中の白金種の状態解析」・「 γ -レゾルシン酸分解経路遺伝子群由来 GraE タンパク質の結晶構造解析 II (2015A1112)」/ ●京大原子炉実験所「抗がん剤を担持した六方晶窒化ホウ素によるガン化学療法とホウ素中性子捕捉療法のハイブリッドナノ医療」/ ●基礎生物学研究所「日本産ミヤコグサとハマダイコン野生種における開花時期制御の種内多型に関わる遺伝的背景の解明」・「開花関連遺伝子 LjEMF2 と LjE1 がミヤコグサ (マメ科) の開花所用日数に及ぼす影響の評価」/ ●高輝度光科学研究センター「XAFS を用いた二酸化炭素の水素化反応中の白金種の状態解析」/ ●高エネルギー加速器研究機構 / ●高知大学海洋コア総合研究センター「エチオピア洪水玄武岩を対象にした約 30Ma の地球磁場変動の解析」・「人工光合成のための層状チタン酸塩光触媒における銀担触媒の XAFS による状態解析」・「レゾルシン酸分解経路遺伝子群由来 GraE タンパク質の結晶構造解析 II (2015A1112)」・「アスパラギン酸ラセマゼの温度適応に関する構造解析 II (2014G694)」/ ●三重大学大学院生物資源学研究所附属練習船勢水丸「京都大学総合人間学部「総合フィールド演習」の一環としての海洋観測・生物生態調査」

2017(H29) 年度

●京都大学数理解析研究所「ランダム力学系理論の総合的研究」/ ●高知大学海洋コア総合研究センター共同利用・共同研究課題「エチオピア洪水玄武岩を対象にした約 30Ma の地球磁場変動の解析」/ ●岡山大学惑星物質研究所「コマチアイトの含水融解実験による冥王代地殻組成の解明」/ ●大阪市立大学人工光合成研究センター「ポルフィリン色素の固体表面への吸着・金属光還元作用を利用した新規金属担持法の開発」/ ●東京大学物性研究所「圧力下 NMR 測定法に関する研究」/ ●佐賀大学シンクロトロン光応用研究センター「レーザー光電子分光を用いた酸化物の電子構造の研究」/ ●Spring-8「硬 X 線光電子分光による擬一次元バナジウム酸化物の金属絶縁体転移の観測」・「 γ -レゾルシン酸分解経路遺伝子群由来 GraE タンパク質の結晶構造解析 II (2015A1112)」/ ●若狭湾エネルギー研究センター「後方散乱実験で核共鳴反応を伴うチャネリングの測定」/ ●放射線災害・医科学研究拠点 (広島大学・長崎大学・福島医科大学合同)「低線量率放射線誘発細胞応答における酸化ストレスの関与」

2018 (H30) 年度

●京都大学数理解析研究所「RIMS 共同研究 特別計画 (公開型) Maximal regularity and nonlinear PDE」/ ●国立民族学博物館「オセアニア・東南アジア島嶼部における他者接触の歴史記憶と感情に関する人類学的研究」/ ●神戸研究学園都市大学交流推進協議会「グローバル時代の新しい教養—未来に向けた日中交流と日中相互関係」/ ●放射線災害・医科学研究拠点 (広島大学・長崎大学・福島医科大学合同)「低線量率放射線誘発細胞応答における酸化ストレスの関与」/ ●大阪市立大学人工光合成研究センター「二酸化炭素還元のための微結晶チタン酸カルシウム光触媒の特異構造と光触媒活性の解明」/ ●東京大学物性研究所「圧力下 NMR 測定法に関する研究」/ ●広島大学放射光科学研究センター「Ca₃(Ru_{1-x}Ti_x)₂O₇ における金属絶縁体転移近傍の電子状態」/ ●若狭湾エネルギー研究センター「後方散乱実験で核共鳴反応を伴うチャネリングの測定」/ ●Spring-8「軟 X 線吸収・発光分光によるルテニウム酸化物 Ca₂RuO₄ の電場誘起金属絶縁体転移の観測」・「ポリエステル/ノジュール形成過程における密度揺らぎの研究」・「高分子結晶化の初期過程における密度揺らぎの研究」・「その場合高エネルギー X 線回折による全固体リチウムイオン二次電池硫化物固体電解質の形成機構解明」・「オペランド軟 X 線吸収分光測定を用いたカーボン担持硫黄正極材料の電子構造/局所構造解析」・「アニオン置換した Li 過剰系正極材料のオペランド局所構造解析」・「オペランド XAS 測定を用いた新規 Li 過剰系電極材料の電子・局所構造解析」・「圧粉体セルを用いた全固体 Li イオン電池のオペランド XAFS 計測 (3)」・「全反射 XRD によるアルカリ水電解用 Ni 薄膜アノード電極における活性点構造の解明 (1)」/ ●国立遺伝学研究所「光合成能を喪失させた“藻類”における分裂制御メカニズムの解明に向けて」/ ●株式会社カネカ、フジコワ工業、株式会社 AFI テクノロジー、三井物産株式会社「チリにおける持続可能な沿岸漁業及び養殖に資する赤潮早期予測システムの構築と運用 (Monitoring of algae in Chile)」/ ●東京大学大気海洋研究所「海洋性植物プランクトンの新規な光エネルギー利用機構の探索」

2019 (R1) 年度

●京都大学数理解析研究所「RIMS 共同研究 特別計画 (公開型) Maximal regularity and nonlinear PDE」/ ●国立民族学博物館「オセアニア・東南アジア島嶼部における他者接触の歴史記憶と感情に関する人類学的研究」/ ●神戸研究学園都市大学交流推進協議会「グローバル時代の新しい教養—未来に向けた日中交流と日中相互関係」/ ●放射線災害・医科学研究拠点 (広島大学・長崎大学・福島医科大学合同)「低線量率放射線誘発細胞応答における酸化ストレスの関与」/ ●大阪市立大学人工光合成研究センター「半導体光触媒による二酸化炭素還元野のための助触媒の開発」/ ●東京大学物性研究所「キュービックアンビルセルを用いた NMR 測定開発」/ ●東京大学大気海洋研究所「海洋性植物プランクトンの新規な光エネルギー利用機構の生理的役割の解明」/ ●Spring-8「水電解用アノード電極触媒の XRD による精密構造解析 (1)」・「アニオン置換 Li 過剰系正極材料の充放電反応に伴う結晶構造変化の解析」・「水蒸気雰囲気下での角度分解軟 X 線吸収分光法を用いた硫化物固体電解質の電子・局所構造変化の分析 (1)」・「フッ化物イオン挿入脱離時におけるペロブスカイト型酸フッ化物正極材料の電子・局所構造解析」・「全固体フッ化物イオン二次電池における金属/金属フッ化物二相境界移動挙動の解析 (2)」・「アルカリ水電解中における酸素発生電極触媒の XAFS 解析 (1)」・「Sr₂MO₄F_x (M: Mn, Co) 層状ペロブスカイト化合物の結晶構造と F 濃度に伴う構造変化」・「Li 過剰系材料 (Li₂Nb₂Mn₂O₃ 及び (Li₂Na)₂(Ni₂Mn)₂O₃) の精密構造解析並びに蓄電容量と関係解明」・「課題番号 2019B1318」/ ●国立遺伝学研究所「光合成能を喪失させた“藻類”における分裂制御メカニズムの解明に向けて」/ ●株式会社カネカ、フジコワ工業、株式会社 AFI テクノロジー、三井物産株式会社「チリにおける持続可能な沿岸漁業及び養殖に資する赤潮早期予測システムの構築と運用 (Monitoring of algae in Chile)」

2020 (R2) 年度

●京都大学複合原子力科学研究所「抗がん剤を担持した六方晶窒化ホウ素によるガン化学療法とホウ素中性子捕捉療法のハイブリッドナノ医療」(代表者) / ●京都大学複合原子力科学研究所「Gadolinium を担持したナノ粒子による Gd-NCT の基礎研究」(協力者) / ●大阪市立大学人工光合成研究センター「光触媒による新規な合成化学反応の開発」/ ●佐賀大学シンクロトロン光応用研究センター「採択研究課題：角度分解光電子分光を用いたチタン酸化物の電子バンド構造の研究 (前期) (後期)」/ ●国立民族学博物館「オセアニア・東南アジア島嶼部における他者接触の歴史記憶と感情に関する人類学的研究」/ ●東京大学「S 置換した FeSe の高圧低温下 NMR 測定」/ ●広島大学放射光科学研究センター「角度分解光電子分光による Ca₃Ru₂-xTi_xO₇ の不純物効果と金属絶縁体転移の観測」/ ●Spring-8「電場印加硬 X 線光電子分光による励起子絶縁体の非線形電気伝導の研究」

2021 (R3) 年度

●京都大学複合原子力科学研究所「抗がん剤を担持した六方晶窒化ホウ素によるガン化学療法とホウ素中性子捕捉療法のハイブリッドナノ医療」(代表者) / ●京都大学複合原子力科学研究所「Gadolinium を担持したナノ粒子による Gd-NCT の基礎研究」(協力者) / ●大阪市立大学人工光合成研究センター「光触媒の合成化学反応の開発」/ ●佐賀大学シンクロトロン光応用研究センター「角度分解光電子分光を用いたチタン酸化物の電子構造の研究」/ ●国立民族学博物館「オセアニア・東南アジア島嶼部における他者接触の歴史記憶と感情に関する人類学的研究」/ ●東京大学「S 置換した FeSe の高圧低温下 NMR 測定」/ ●広島大学放射光科学研究センター「Ru ナノシートにおける金属絶縁体転移の基体依存性」/ ●高エネルギー加速器研究機構放射光実験施設 Photon Factory「遷移金属カルコゲナイド化合物における励起子効果の電子状態解析」

2022 (R4) 年度

●国立民族学博物館「オセアニア・東南アジア島嶼部における他者接触の歴史記憶と感情に関する人類学的研究」/ ●名古屋大学「人間・社会・自然の来歴と未来：「人新世」における人間性の根本を問う」/ ●東京大学「S 置換した FeSe の高圧低温下 NMR 測定」/ ●名古屋大学未来材料・システム研究所「宇宙線を用いた気象観測手法の開発」/ ●Spring-8「高温超伝導体 La_{2-x}Sr_xCuO₄ の化学ポテンシャルの温度依存性」/ ●高エネルギー加速器研究機構放射光実験施設 Photon Factory「La 系高温超伝導体の共鳴軟 X 線角度分解光電子分光」/ ●京都大学複合原子力科学研究所「抗がん剤を担持した六方晶窒化ホウ素によるガン化学療法とホウ素中性子捕捉療法のハイブリッドナノ医療」(代表者) /

2023 (R5) 年度

●東京大学「S 置換した FeSe の高圧低温下 NMR 測定」/ ●名古屋大学「人間・社会・自然の来歴と未来：「人新世」における人間性の根本を問う」/ ●大阪公立大学附属植物園「タチツボスミレ類の系統分類学的研究—未記載種の特定、分類再検討、絶滅危惧種の保全—」/ ●京都大学複合原子力科学研究所「抗がん剤を担持した六方晶窒化ホウ素によるガン化学療法とホウ素中性子捕捉療法のハイブリッドナノ医療」(代表者) / ●大阪市立大学人工光合成研究センター「二酸化炭素還元のためのチタン系光触媒の開発/ 陽熱メタンリフォーミング触媒の開発」

【資料 4-10】学際教育研究部の活動

学際教育研究部 国際化推進部門 (2020 ～ 2022 年度)

2020	2020 年度 共催事業 (1 件)	
	シンポジウム	・第 5 回 若者文化シンポジウム「ことばの伝統と現代コミュニケーション」～日本とドイツ～ 2021 年 2 月 16 日 (火) 16:00-18:15 ◇モデレーター 吉田 純 (人間・環境学研究科教授・山岡記念財団諮問委員)
2021	2021 年度 主催事業 (1 件)	
	「国際的研究のためのワークショップ」基調講演と Q & A と国際会議でのプレゼンテーションに関するオンライン・ワークショップ	・基調講演と Q & A 2021 年 11 月 20 日 (土) 10:00-12:00 (Zoom によるオンライン開催) ◇志村 真幸 先生「学問は「越境」できるのか：南方熊楠を研究する」 (京都外国語大学 / 2008 年学位取得 / 比較文化史学) ◇岡澤 剛起 先生「サイエンスをするということ、海外ですということ」 (神経科学研究所 (上海) / 2008 年総合人間学部卒業 / 神経科学) ・国際会議でのプレゼンテーションに関するオンライン・ワークショップ 2022 年 1 月 4 日 (月) 10:00-15:00 (Zoom によるオンライン開催、1 時間昼休憩) ◇講師 Dr. Iris WIECZOREK (アイリス・ウィーツォレク博士) (IRIS 科学・技術経営研究所) 人間・環境学研究科所属の博士課程学生・ポスドク等、これから国際的に研究発信をしようとする若手研究者に対するオンラインワークショップ
	2021 年度 共催事業 (4 件)	
	国際会議	・International Online Conferene on Global Transformation of Christian Zionism 2021 年 10 月 23 日 (土)-2021 年 10 月 25 日 (月) Zoom オンライン 2021 年 10 月 23 日 (土) 8:35 pm-12:10 am (日本時間) ◇開会挨拶 岡 真理 (人間・環境学研究科教授) / ◇イントロダクション 役重善洋 (京都大学人文学連携研究者)
	シンポジウム	・第 6 回 若者文化シンポジウム「現代文化にみる東西の交流」(日独同時通訳) 2022 年 2 月 16 日 (水) 16:00-19:20 ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川・オンライン講演 (Zoom) 同時開催 ◇モデレーター 吉田 純 (人間・環境学研究科教授・山岡記念財団諮問委員)
	協賛事業 国際ガラス年 2022	・国際ガラス年日本実行委員会委員長：田部勢津久 (京都大学人間・環境学研究科教授) ・国際ガラス年 2022 記念シンポジウム ハイブリッド開催 2022 年 9 月 30 日 (金) 13:00-17:00 第二セッション「ガラスと私たちの未来」招待講演 ◇田部勢津久 (人間・環境学研究科教授、国際ガラス年日本実行委員会委員長) ・国際ガラス年 CLOSING CONFERENCE (東京大学、オンライン) 2022 年 12 月 8 日 (金)-9 日 (土) 12 月 8 日 (金) Welcome Address Setsuhisa ◇ Tanabe (President of Japanese executive committee for IYOG2022)
	研究集会	・第 74 回萬葉学会全国大会 10 月 17 日 (日) 10:00-16:00 人間・環境学研究科棟大講義室 B23 ◇挨拶 小島泰雄 (人間・環境学研究科長) ◇講演 内田賢徳 (京都大学名誉教授)「天平綺譚一 万葉集巻十六の意匠」
2022	2022 年度 主催事業 (1 件)	
	「国際的研究に関する講演会」基調講演と Q & A	・2022 年 11 月 19 日 (土) 10:00-12:00 (Zoom によるオンライン開催) ◇桶谷 龍成 先生 (大阪大学) (2016 年人間・環境学研究科修士課程修了 / 結晶化学) 「専門性」をもつということ ◇ Anastasia Fedorova 先生 (ロシア国立研究大学経済高等学院) (2014 年人間・環境学研究科にて学位取得 / 映画史) 「映画は誰のもの？現代ロシアにおける日本映画の研究・上映をめぐる」 総合討論と質疑応答 (11:00-12:00)
	2022 年度 共催事業 (1 件)	
	シンポジウム	・第 7 回 若者文化シンポジウム「日本とドイツに見る異文化の受容と変容」2023 年 3 月 8 日 (水) 16:00-19:20 ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川・オンライン講演 (Zoom) 同時開催 ◇モデレーター 吉田 純 (人間・環境学研究科教授・山岡記念財団諮問委員)
学術越境センター (2023 年度～)		
2023	2023 年度 学術越境センター 主催事業 (2 件)	
	学術越境研究計画計画 一般公開講演	・Project Planning in Transdisciplinary Research - Public Lecture 2023 年 5 月 25 日 (木) 16:45-18:15 人間・環境学研究科棟地下大講義室 ◇ Prof. Chika KINOSHITA (木下千花 人間・環境学研究科教授) "Film as Performance: Reframing Benshi and Japanese Early Cinema in the Age of New Media" 「パフォーマンスとしての映画—デジタル時代からみた弁士と日本の初期映画」 カンサス州立大学学部生との交流会 出席者 42 名
	修了生による講演会	・2023 年 11 月 30 日 ◇萩原広道 先生 (大阪大学人間科学研究所行動生態学講座助教 / 人間・環境学研究科にて学位取得 (2021 年 3 月)) 出席者 16 名
	2023 年度 共催事業 (6 件)	
	人環 国際交流セミナー	・京都大学大学院人間・環境学研究科 第 84 回国際交流セミナー 2023 年 10 月 26 日 (木) 16:45-18:15 人間・環境学研究科棟 地下大講義室 ◇ハーバード大学 Mahzarin R. Banaji 教授 Blindspot: Hidden Biases of Good People (ブラインドスポット：善き人々の隠れたバイアス) 出席者 32 名
	学内シンポジウム	・京都大学オープンイノベーション機構シンポジウム「Beyond 2050 プロローグ」～京都大学が描く未来の社会像～ 2023 年 11 月 10 日 (金) 13:30-16:30 京都大学吉田キャンパス 国際科学イノベーション棟西館 5F シンポジウムホール ◇ファシリテーター 齋木潤 (人間・環境学研究科教授)
	研究集会	・日本基礎心理学会 2023 年度 第 2 回フォーラム 2023 年 11 月 11 日 (土) 14:00-16:00 京都大学稲盛財団記念館大会議室 (及び zoom 開催) テーマ "Implicit Social Cognition" ◇講演者 Mahzarin R. Banaji 教授 (Harvard 大学教授) / ◇企画・司会 齋木 潤 (京都大学人間・環境学研究科教授)
	国際研究集会	・L'Asie du Nord-Est entre singularités et convergences dans le rapport aux mondes francophones et à la F/francophonie 2023 年 11 月 18 日 (土) 吉田南総合館, Zoom オンライン 09h00-09h30. Séance inaugurale 開会セッション Allocution du Professeur Noriyuki Nishiyama, Université de Kyoto ◇講演 西山教行 (人間・環境学研究科教授)

2023	研究集会	・日本漢字学会第6回研究大会 2023年12月16日(土)-17日(日) 京都大学吉田キャンパス(+ Zoom) ◇開会の辞 佐野 宏 大会委員長(人間・環境学研究科教授)
	シンポジウム	・第8回 若者文化シンポジウム「国際比較からみる若者のアイデンティティと社会参加」2024年3月13日(水) シンポジウム 16:00-18:45 交流会 18:50-20:00 ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川・オンライン講演(Zoom)同時開催 ◇モデレーター 吉田 純(人間・環境学研究科教授・山岡記念財団諮問委員)

【資料 4-11】外部資金等の受入状況

年度		2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
科学研究費 助成事業	申請件数(新規分のみ)	78	53	54	71	68	43	55
	内定件数(新規)	28	23	20	28	29	18	22
	内定件数(新規・継続)	68	77	76	82	92	77	77
	内定金額(千円)	157,700	194,100	209,400	228,000	238,700	224,400	214,200
	内定金額(間接経費含む)(千円)	205,010	252,330	272,220	296,400	310,310	291,720	278,460
競争的外部資金	採択件数(総数)	9	7	5	6	13	17	16
	受入金額(千円)	167,915	125,981	68,889	73,272	243,683	362,973	301,968
共同研究	受入件数(総数)	14	15	11	11	11	11	15
	受入金額(千円)	36,419	34,644	35,334	10,753	17,676	22,011	32,635
	共同研究員受入人数	1	1	1	1	1	1	2
受託研究	受入件数	10	10	9	10	12	16	15
	受入金額(千円)	177,185	137,173	121,687	150,535	240,745	360,863	299,758
寄附金	受入件数	16	35	47	23	33	35	33
	受入金額(千円)	22,410	22,937	45,374	6,423	17,959	20,842	25,852
産業財産権・ 特許等	産業財産権の保有件数	5	7	10	10	10	9	5
	特許 出願数	1	0	1	2	7	8	7
		0	3	3	0	0	0	0
	特許 契約件数	3	2	3	3	3	3	1
		1,243	0	209	76	557	131	85
	収入額(千円)							

【資料 4-12】学生・修了生が獲得した助成金等

			2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
学内	特別研究員	DC1	9	6	5	5	3
		DC2	9	0	8	8	10
	京都大学教育研究振興財団		12	0	0	0	4
	京都大学大学院教育支援機構プログラム				49	58	65
	学内の支援制度		13	0	4	8	4
	学外の助成金		6	7	17	12	12
	計		49	13	83	91	98
	京都大学教育研究振興財団	C. 在外研究助成					1 (D3)
		D. 国際研究集会発表助成	12 (D1/3名) (D2/4名) (D3/4名) (研修員)				3 (D1/1名) (D3/2名)
	京都大学大学院教育支援機構プログラム	(人文・社会)			34	40	54
		(健康・医療・生命)			1	3	1
		(環境・エネルギー複合)			11	12	9
		(マテリアル)			3	3	1
学外	その他の支援制度	大学院教育支援機構 (DoGS) 海外渡航助成金				4 (M2/2名, D2/2名)	4 (M2/3名, D1/1名)
		アジア研究教育ユニット派遣プログラム	4 (M2/2名) (D1/2名)		4 (B2,M1/2 名,D2)	4 (B1/2 名,B2,B4)	
		学生海外研究活動助成金	6 (B) (M1/2名) (M2/2名) (D1)				
		体験型海外渡航支援制度 一鼎会プログラム「おもろチャレンジ」	3 (B/2名) (M2)				
	日本心理学会	ジェンダー研究会シードマネー					
		国際会議等参加旅費補助金	1 (D1)				
	日本社会心理学会	若手研究者海外学会発表支援金	1 (D3)				
	日本化学協会	笹川科学研究助成		2 (D2,D3)	1 (D3)	1 (M2)	2 (M2,D3)
	松下幸之助記念志財団	研究助成			3 (D1,D3/2 名)		2 (D1,D3)
		松下幸之助国際スカラシップ				1 (D3)	
	一般財団法人 財団せせらぎ	助成金		1 (D3)			
	味の素食の文化センター	食の文化研究助成				1 (D3)	
	上廣倫理財団	研究者公募助成			3 (D3/2名, 人文連携研 究者)	2 (D3/2名)	
	澁澤民族学振興基金	大学院生等に対する研究活動助成	1 (D2)	2 (D1,D3)	4 (D1,D2, D3/2名)		4 (M2/1名, D3/3名)
		国際研究集会参加旅費					
	武田科学振興財団	杏雨書屋研究助成	1 (D3)			1 (D3)	
	平和中島財団奨学金	日本人留学生奨学生	1 (D3)				
	三島海雲記念財団	学術研究奨励金			2 (D3/2名)	1 (D3)	1 (D3)
	嗜好品文化研究会	研究助成事業 (研究助成)	1 (M1)				
	住友住団	住友財団アジア諸国における日本関連研究助成		1	1 (D1)		
	京都大学芦生研究林	芦生研究林公募研究 若手研究者助成金			1 (M2)		
	自然保護助成基金	プロ・ナトゥーラ・ファンド助成			1 (D1)	1 (D2)	1 (D3)
	SOMPO 環境財団	学術研究助成		1 (D3)			
	一般財団法人自然環境研究センター	四方記念地球環境保全研究助成基金			1 (M2)		
	日本学術振興会	科学研究費助成事業・基盤研究 (C)				1 (D3)	
		若手研究者海外挑戦プログラム				1 (D3)	
	みずほ国際交流奨学財団	奨学生					1 (D2)
	りそなアジア・オセアニア財団	アジア・オセアニア研究助成研究助成				1 (D3)	
	公益財団法人ウシオ財団	奨学金				1 (D1)	
	室戸ユネスコ世界ジオパーク	学術研究助成					1 (M2)
学外の助成 計			6	7	17	12	12

【資料 4-13】人文・社会系若手研究者出版助成による出版物

2021 (令和 3) 年度 令和 3 年度「京都大学大学院人間・環境学研究科長裁量経費助成」

	氏名	書籍タイトル
1	町田 奈緒士	『トランスジェンダーを生きる ―― 語り合いから描く体験の「質感」』(ミネルヴァ書房、A5 版、全 344 頁、2022.3)
2	久保 豊	『夕焼雲の彼方に―― 木下恵介とクシアな感性』(ナカニシヤ出版、四六判、全 304 頁、2022.3)
3	島村 幸忠	『頼山陽と煎茶――近世後期の文人の趣味とその精神性に関する試論』(笠間書院、全 202 頁、2022.3)
4	仲間 絢	『『雅歌』の花嫁神秘主義とパンベルク大聖堂彫刻群』(三元社、A5 版、全 228 頁＋カラー口絵 4 頁、2022.2)
5	原 壘	『武満徹のピアノ音楽』(アルテス/パブリッシング、A5 版、全 376 頁、2022.3)
6	牧野 広樹	『歌声の共同体 ドイツ青年音楽運動の思想図』(松籟社、四六判、全 459 頁、2022.2)
7	津田 洋子	『フランス語現象文の意味論: VOILÀ / IL Y A 構文の談話メカニズム (プリミエ・コレクション 116)』(京都大学学術出版会、A5 版、全 322 頁、2022.3)
8	杉谷 和哉	『(MINERVA 人文・社会科学叢書 251) 政策にエビデンスは必要なのか ―― EBPM と政治のあいだ』(ミネルヴァ書房、A5 版、全 289 頁、2022.3)

2022 (令和 4) 年度 令和 4 年度「京都大学人と社会の未来研究院若手出版助成」

	氏名	書籍タイトル
1	真鍋 公希	『円谷英二の「卓越化」―― 特撮の社会学』(ナカニシヤ出版、A5 版、全 306 頁、2023.3)
2	和田 萌	『移民を排除する安全保障―― フランスにおける「つくられた脅威」』(勁草書房、A5 版、全 240 頁、2023.3)
3	開 信介	『(和泉選書 197) 久生十蘭作品研究 ―― 〈霧〉と〈二重性〉』(和泉書院、四六判、全 260 頁、2023.3)
4	衛藤 恵理香	『(和泉選書 198)『常陸国風土記』の表現と方法 ―― 地名と歌謡』(和泉書院、四六判、全 228 頁、2023.2)
5	岡久 太郎	『(プリミエ・コレクション 123) 文法と身体―― 曖昧な文を伝達するイントネーションとジェスチャー』(京都大学学術出版会、A5 判、全 238 頁、2023.3)
6	中元 洸太	『トマス・リードの「常識」を読み解く ―― 常識への二つの態度をめぐって』(ナカニシヤ出版、四六判、全 250 頁、2023.2)
7	山根 直子	『尾崎翠の詩学』(臨川書店、四六判、全 300 頁、2023.4)
8	雑賀 広海	『混乱と遊戯の香港映画 ―― 作家性、産業、境界線』(水声社、A5 判、全 365 頁、2023.3)

	実績
2010 (H22) 年度	8
2011 (H23) 年度	11
2012 (H24) 年度	12
2013 (H25) 年度	9
2014 (H26) 年度	13
2015 (H27) 年度	19
2016 (H28) 年度	17
2017 (H29) 年度	11
2018 (H30) 年度	10
2019 (R1) 年度	6
2020 (R2) 年度	10
2021 (R3) 年度	8
2022 (R4) 年度	8
計	142

【資料 4-14】学生・修了生の受賞状況

(2023 年 10 月末現在)

	2020 (R2)		2021 (R3)		2022 (R4)		2023 (R5)	
	国内	国際	国内	国際	国内	国際	国内	国際
1 学会賞・奨励賞・最優秀賞・優秀賞	7	1	8	0	7	2	3	0
2 講演・発表・presentation award	2	0	4	0	1	0	0	0
3 論文賞	1	0	1	1	5	1	0	0
4 ポスター賞	8	1	9	1	2	1	1	0
5 学芸賞・財団・大学・自治体等からの受賞	0	0	1	0	0	0	0	0
6 その他の賞・栄誉	1	0	1	0	0	1	0	0
	19	2	24	2	15	5	4	0
	21		26		20		4	

※ 卒業・修了後 5 年以内の者を含む

1【学会賞・奨励賞・最優秀賞・優秀賞】

(2020)

第 11 回表象文化論学会賞奨励賞、萬葉学会奨励賞、第 5 回メルロ＝ポンティ研究賞、2020 年日本シェイクスピア協会奨励賞、関西社会学会第 71 回大会 奨励賞、2020 年度関西電気化学奨励賞、第 11 回 (令和 2(2020) 年度) 日本学術振興会育志賞、11th Automated Negotiating Agents Competition(ANAC2020/ オンライン開催) の The 2nd International Werewolf AI Competition プロトコル部門において第 3 位入賞

(2021)

2021 年度日本シェイクスピア協会奨励賞、第 61 回ドイツ語学文学振興会奨励賞、2021 年度日本ベントス学会奨励賞、日本認知言語学会奨励賞、2021 年度日仏社会学会奨励賞 (著書の部)、2021 年度第 3 回関西電気化学研究会関西電気化学奨励賞 (3 名)

(2022)

2021 年度若手会員研究奨励賞、第 62 回ドイツ語学文学振興会奨励賞、第 17 回日本文化人類学会奨励賞、IPHS Prizes and Awards 2022 East Asian Planning History Prize(国際都市計画史学会 2022 年東アジア都市計画史賞)、第 63 回 FNTG 総合シンポジウム若手奨励賞、情報処理学会ゲーム情報研究集会第 48 回研究会 (2022 年度) 若手奨励賞、近畿化学協会 触媒・表面部会 OKCAT2022 (Osaka-Kansai International Symposium on Catalysis) Outstanding Research Award(優秀研究賞)、2022 年度 (第 3 回) 関西電気化学研究会 Webinar 関西電気化学奨励賞、日本植物分類学会奨励賞

(2023)

2023 年日本建築学会奨励賞、関西社会学会第 74 回大会奨励賞 (2 名)

2【講演・発表・presentation award】

(2020)

日本化学会第 101 春季年会優秀講演賞 (産業)、日本化学会第 101 回春季年会学生講演賞

(2021)

第 34 回秋季シンポジウム「複合イオン化合物の創製とキャラクターゼーション」セッション優秀発表者、電気化学会第 89 回大会固体化学セッション 学生発表賞、電気化学会第 89 回大会優秀学生講演賞、電気化学会第 89 回大会燃料電池セッション学生発表賞第 1 位

(2022)

森林遺伝育種学会第 11 回大会学生発表最優秀賞

(2023)

3【論文賞】

(2020)

第 11 回日本考古学協会賞優秀論文賞

(2021)

Royal Society of Chemistry(王立化学会)Dalton Transactions HOT Articles に選出、日本化学会「Bulletin of the Chemical Society of Japan (Vol.94 No.9)」優秀論文に選出

(2022)

国際比較文化心理学会博士論文賞 (Harry and Pola Triandis Doctoral Thesis Award)、日本言語政策学会 2021 年度学会賞優秀論文賞、日本家族社会学会賞第 9 回奨励論文賞、日本刑事政策研究会・読売新聞社「刑事政策に関する懸賞」論文佳作、2022 年度 (第 17 回) 漢検漢字文化研究奨励賞佳作、公益財団法人昭和池田記念財団第 42 回 (令和 4 年度) 昭和池田賞特別努力賞

(2023)

4【ポスター・口頭発表】

(2020)

第 39 回固体・表面光化学討論会優秀発表賞、第 39 回 光がかかわる触媒化学シンポジウム優秀ポスター賞、第 10 回 CSJ 化学フェスタ 2020 優秀ポスター発表賞 (2 名)、第 30 回 キャラクターゼーション講習会優秀ポスター賞、日本植物分類学会第 20 回大会口頭発表賞 (2 名)、第 68 回日本生態学会大会 最優秀ポスター賞

(2021)

第 12 回触媒化学研究発表会優秀ポスター賞、第 18 回触媒化学ワークショップ優秀ポスター賞、第 10 回 JACI/GSC シンポジウム GSC ポスター賞、第 40 回光がかかわる触媒化学シンポジウム優秀ポスター賞、第 18 回触媒化学ワークショップ優秀ポスター賞、第 34 回秋季シンポジウム「フォトセラミックス～光と色に関わるセラミックスの合成・機能・応用～」セッション優秀発表賞、第 18 回日韓触媒シンポジウム Young Oral Presentation Award、第 21 回日本植物分類学会大会発表賞ポスター発表賞 (2 名)

(2022)

第 40 回光がかかわる触媒化学シンポジウム優秀ポスター賞、第 68 回有機金属化学討論会ポスター賞、アメリカ電気学会第 242 回 ECS 集会燃料電池セッション学生ポスター賞 第 3 位 (The Electrochemical Society "242nd ECS Meeting/ 燃料電池セッション (PEFC&E22) Student Poster Awards, Third place

(2023)

第 72 回高分子学会年次大会優秀ポスター賞

5【学芸賞・財団・大学・自治体等からの受賞】

(2020)

第 40 回「地方の時代」映像祭 市民・学生・自治体部門 優秀賞

(2021)

令和 3 年度埼玉県萩野吟子賞奨励賞

6【その他の賞・栄誉】

(2021)

第 6 回池袋みらい国際映画祭 (東京) 特別審査員賞

(2022)

CineYouth Festival (アメリカ) ドキュメンタリー映画賞

【資料 4-15】学生の論文掲載数

(2023 年 10 月末現在)

年度	2018 (H30)			2019 (R1)			2020 (R2)			2021 (R3)			2022 (R4)			2023 (R5)		
	学部生	修士	博士	学部生	修士	博士	学部生	修士	博士	学部生	修士	博士	学部生	修士	博士	学部生	修士	博士
論文数 〔筆頭著者〕	0	10 [5]	87 [60]	0	14 [11]	61 [46]	2 [2]	26 [10]	58 [43]	1 [0]	25 [12]	71 [49]	1 [0]	23 [13]	60 [43]	2 [1]	14 [7]	73 [52]
総計	97 [65]			75 [57]			86 [55]			97 [51]			84 [56]			89 [60]		

・注 [] 内の数字は筆頭著者を示し内数

【資料 4-16】メディアに取り上げられた学生・修了生

	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
1. 新聞	14	20	14	11	10	13
2. テレビ・ラジオ・雑誌			2		1	3
3. HP	1		1	1	0	2
4. その他						
計	15	20	17	12	11	18

※ 学部卒業後、大学院修了後 5 年以内の者を含む

1. 学部学生		2		1		
2. 学部卒業生 (5 年以内)		0	1			
3. 修士課程学生	2	0	1	3	1	3
4. 博士後期課程学生		4	9	3	1	2
5. 研究科修了生 (学位取得後 5 年以内)	13	14	6	5	9	13
計	15	20	17	12	11	18

【資料 4-17】学生相談室の利用件数

・相談件数

	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
総合人間学部	32	37	44	49	64	72
大学院人間・環境学研究科	15	22	29	50	43	48
合計	47	59	73	99	107	120

・主訴の内訳 (学部生)

内容	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
学習・学業に関する相談	26	19	15	29	22	22
進路に関する相談	4	1	8	8	11	9
人間関係・個人の悩みに関する相談	17	14	15	9	29	39
その他	0	3	6	3	2	2
計	47	37	44	49	64	72

・主訴の内訳 (大学院生)

内容	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
学習・学業に関する相談	26	10	7	17	13	16
進路に関する相談	4	2	3	2	5	3
人間関係・個人の悩みに関する相談	17	9	14	21	23	27
その他	0	1	5	10	2	2
計	47	22	29	50	43	48



国際交流

5. 国際交流

【資料 5-1】留学生の受入状況（総合人間学部）

		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	
国費留学生 (外国政府派遣留学生を含む)	入学者	1	2	2	2	1	2	
	在籍者	4	6	7	7	7	7	
Kyoto iUP (吉田カレッジオフィス)* ¹	入学者				1	1	0	
	在籍者				1	2	2	
大学間学生交流協定による交換留学生	KUINEP* ²	入学者	54	55	46	4	0	0
		在籍者	65	77	59	19	0	0
	KUINEPを除く	入学者	15	14	11	1	1	7
		在籍者	22	20	17	6		7
短期交流学生* ³		1	4	6	0	0	0	
合計	入学者	71	75	65	8	3	9	
	在籍者	92	107	89	33	9	16	

*¹ Kyoto iUP (Kyoto University International Undergraduate Program)

優秀で志の高い留学生の学部段階での受入れの促進するため、入学段階で日本語能力を問わず、入学決定後に徹底した日本語教育を継続して実施し、専門教育段階では日本人学生と共に日本語での講義を受講する留学生向け教育プログラム。正規の4年の学部教育期間に加え、半年の予備教育期間を設けている。2018年第1期生受入れ。(国際高等教育院 HP より転載)

*² KUINEP (Kyoto University International Education Program 京都大学国際教育プログラム)

本学創立100周年の1997(平成9)年に始まった。学生交流協定を締結している大学より、半年から1年間、留学生を受け入れている。協定校の学部生が本学の学生とともに英語で講義される科目を履修するプログラム。2020(令和2)年10月より特別聴講学生として国際高等教育院に配属。

*³ 短期交流学生

交流協定に基づかない3ヵ月以内の受入外国人学生

【資料 5-2】日本人学生の留学状況（総合人間学部）

	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
大学間学生交流協定による派遣* ¹	11	12	7	2	1	5
語学研修、インターンシップ、ボランティア、学会出席等	12	7	9	0	1	4
国際交流科目への参加	1	5	4	0	0	0
大学が企画する各種短期留学プログラムへの参加	9	6	4	0	0	1
合計	33	30	24	2	2	10

*¹ 学生交流協定を締結している大学へ半年から1年間、日本人学生を派遣するプログラム(1997(平成9)年開始)

【資料 5-3】留学生の受入状況（人間・環境学研究科）

年度		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
修士課程	国費	3	6	7	5	4	5
	私費	49	65	90	83	77	74
	計	52	71	97	88	81	79
博士後期課程	国費	15	12	9	6	5	10
	私費	57	62	73	86	86	84
	計	72	74	82	92	91	94
研究生・特別研究生	国費	3	4	4	6	0	5
	私費	19	14	18	13	10	18
	計	22	18	22	19	10	23
合計		146	163	201	199	182	196

注)・在留資格が「留学」以外も含む

【資料 5-4】出身地域別留学生受入数（人間・環境学研究科）

(2022(R4) 年 5 月 1 日現在)

地域	国または地域名	修士課程	博士後期課程	非正規生	計
アジア					
	インドネシア共和国		2		2
	タイ		1		1
	大韓民国	3	7		10
	台湾	2	4	2	8
	中華人民共和国	69	61	20	150
	ベトナム社会主義共和国		1		1
	マカオ	1			1
	マレーシア		1		1
北米					
	アメリカ合衆国	1	2		3
中南米					
	チリ	1	1		2
欧州 (NIS 諸国含む)					
	ギリシャ共和国		1		1
	ドイツ連邦共和国		1		1
	フィンランド共和国			1	1
	ポルトガル共和国		1		1
	ロシア連邦	1	1		2
大洋州					
	オーストラリア連邦	1			1
中東					
	イラン・イスラム共和国			1	1
アフリカ					
	エジプト・アラブ共和国		1		1
合計		79	85	24	188

・在留資格が「留学」の学生のみを集計

・非正規生の内訳は、研究生 (19 名)、特別研究学生 (5 名)

【資料 5-5】外国人研究者等の受入状況

年度	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
外国人研究員 (客員教授・客員准教授)	6	4	5	1	1	5
招へい外国人学者	8	3	6	1	0	5
外国人共同研究者	4	10	6	1	3	2
計	18	17	17	3	4	12

【資料 5-6】招へい外国人学者による国際交流セミナー開催状況

受入 年度	日時		講演者	所属	タイトル	受入教員	受入れ期間
2021 (R3)	第 77 回	2021 年 4 月 22 日	Prof. Wei Wang	西安交通大学准教授	Brief introduction to the traditional customs in Xi'an	小松直樹	2019 年 12 月 15 日 – 2020 年 5 月 14 日
	第 78 回	2022 年 1 月 20 日	Prof. Md. Mahbubor Rahman	Rajshahi 大学 (Bangladesh) 教授	Iron Oxide Based Magnetic Nanoparticles: Synthesis, Characterization and Biomedical Applications 「酸化鉄系磁性ナノ粒子の合成、キャラクターゼーションと生物医療応用」	小松直樹	2021 年 9 月 1 日 – 2022 年 2 月 28 日
2022 (R4)	第 79 回	2022 年 5 月 25 日	Prof. Marco Giovanni BETTINELLI	イタリア／Verona 大学教授	Life and Ideas of Galileo GALILEI (ガリレオ・ガリレイの生涯と思想)	田部勢津久	2022 年 4 月 1 日 – 2022 年 6 月 30 日
	第 80 回	2022 年 6 月 30 日	Prof. Jean-Marc LEVEQUE	フランス／Savoie 大学教授	Discovery of Sonochemistry (音響化学って何？)	小松直樹	2022 年 4 月 1 日 – 2023 年 8 月 31 日
	第 81 回	2022 年 7 月 8 日	Mr. Irfan AKTAN	トルコ／ジャーナリスト	WHO are the KURDS? (クルドとは何者か？)	岡 真理	2022 年 4 月 16 日 – 2023 年 8 月 15 日
	第 82 回	2022 年 7 月 19 日	Dr. Haitham Mahmoud SHARQAWY	エジプト／ジャヌーブ・アル・ワーディ大学専任講師	Stories of Travel in Arabic & Hebrew Literatures in the Middle Age (旅と語り：中世アラビア語およびヘブライ文学を中心に)	勝又直也	2022 年 4 月 16 日 – 2023 年 9 月 30 日
	第 83 回	2022 年 11 月 30 日	Prof. Ali Volkan ERDEMIR	トルコ／エルジェス大学教授	トルコと村上春樹	小島基洋	2022 年 10 月 1 日 – 2023 年 3 月 31 日

【資料 5-7】部局間学術交流協定締結先一覧

人間・環境学研究科

国・地域名	大学・機関名	締結年
中華人民共和国	中国科学院 成都生物研究所	2012 (2016 更新)
中華人民共和国	浙江自然博物館	2014 (2019 更新)
台湾	国立台湾大学 文学院・社会科学院	2015 (2018 更新)
マレーシア	サラワク大学	2017
カザフスタン共和国	カザフスタン生物多様性保全協会	2017
ロシア	ロモノーソフ記念モスクワ国立総合大学	2019

総合人間学部

国・地域名	大学・機関名	締結年
台湾	国立台湾大学 文学院・社会科学院	2015 (2018 更新)



施設・設備

6. 施設・設備

【資料 6-1】使用目的別 室数と保有面積

(面積：㎡, 2016 (平成 28) 年度)

建物	教室 ^{*1}		教員研究室 ^{*2}		事務室 ^{*3}		その他 ^{*4}	
	部屋数	面積	部屋数	面積	部屋数	面積	部屋数	面積
吉田南総合館	7	287	170 [10]	5,822 [288]	0	0	24 [10]	954 [652]
吉田南 2 号館	3	216	49 [4]	1,382 [124]	0	0	4 [3]	196 [182]
吉田南 3 号館	2 [1]	162 [81]	31 [9]	840 [162]	1	36	3	180
吉田南 4 号館	0	0	0	0	0	0	2	50
総合人間学部棟	15	1,114	16	883	4	178	5	111
人間・環境学研究科棟	7	664	133	4,815	10	452	22 [6]	1,518 [622]
計	34 [1]	2,443 [81]	399 [23]	13,742 [574]	15 [0]	666 [0]	60 [19]	3,009 [1,456]

注) ・[] 内は、他部局利用スペース(貸借等)で内数

^{*1} 講義室、実験実習・演習室、語学実習室を示す

^{*2} 実験室、院生室、共同研究室が含まれる

^{*3} 会議室(3 室)が含まれる

^{*4} ボイラー室、電気(電源)室、ポンプ室、倉庫などが含まれる。また、吉田南総合図書館の使用スペース(14 室)が含まれる

【資料 6-2】使用形態別 室数と保有面積

(面積：㎡, 2012 (平成 24) 年度)

建物	講義室		実験・実習・演習室		語学実習室		合計	
	部屋数	面積	部屋数	面積	部屋数	面積	部屋数	面積
吉田南総合館	0	0	7	287	0	0	7	287
吉田南 2 号館	0	0	3	216	0	0	3	216
吉田南 3 号館	0	0	2 [1]	162 [81]	0	0	2 [1]	162 [81]
吉田南 4 号館	0	0	0	0	0	0	0	0
総合人間学部棟	10	800	4	203	1	111	15	1,114
人間・環境学研究科棟	2	353	5	311	0	0	7	664
計	12 [0]	1,153 [0]	21 [1]	1,179 [81]	1 [0]	111 [0]	34 [1]	2,443 [81]

注) ・[] 内は、他部局利用スペース(貸借等)で内数



社会との交流・公開

7. 社会との交流・公開

【資料 7-1】公開講座開催状況

年度	開催日・テーマ・場所	講師・演題	参加人数
2017 (H29)	脳の可能性と限界 平成 29 年 8 月 9 日 (水) 13:30 ~ 17:00 人間・環境学研究科棟 地階大講義室	セッション 1「無知の知を以て、未知の世界を渡らん」 ◇講演：小村 豊（こころの未来研究センター教授） ◇パネルディスカッションコメンテーター：佐野 宏（人間・環境学研究科准教授） 森成 隆夫（人間・環境学研究科准教授） セッション 2「<ことば>の獲得から見る心と脳」 ◇講演：谷口一美（人間・環境学研究科教授） ◇パネルディスカッションコメンテーター：池田 寛子（人間・環境学研究科准教授） 船曳 康子（人間・環境学研究科准教授）	94 名
2018 (H30)	来た・見た・考えた ーフィールド手帳からー 平成 30 年 8 月 9 日 (木) 13:30 ~ 17:00 人間・環境学研究科棟 地階大講義室	セッション 1「地図と景観から歴史を読む」 ◇講演：山村 亜希（人間・環境学研究科准教授） ◇パネルディスカッションコメンテーター：青山 拓央（人間・環境学研究科准教授） 櫻川 貴司（人間・環境学研究科准教授） セッション 2「賀茂の流れと社叢林の植物学」 ◇講演：瀬戸口 浩彰（人間・環境学研究科教授） ◇パネルディスカッションコメンテーター：宮下 英明（人間・環境学研究科教授） 中嶋 節子（人間・環境学研究科教授）	121 名
2019 (R1)	見えないものを観る力 令和元年 8 月 8 日 (木) 13:30 ~ 17:00 人間・環境学研究科棟 地階大講義室	セッション 1「国際関係と音楽の見えざる役割」 ◇講演：齋藤 嘉臣（人間・環境学研究科准教授） ◇パネルディスカッションコメンテーター：岩谷 彩子（人間・環境学研究科准教授） 市岡 孝朗（人間・環境学研究科教授） セッション 2「原子・分子が織りなすナノの世界」 ◇講演：高木 紀明（人間・環境学研究科教授） ◇パネルディスカッションコメンテーター：佐野 泰之（人間・環境学研究科特定助教） 清水 扇丈（人間・環境学研究科教授）	114 名
2020 (R2)	オンライン授業を覗いてみよう 専門を他者に語る ～私たちの教育実践 令和 3 年 2 月 15 日 (月) ~ 3 月 31 日 (水) WEB 公開	オンライン開催 ◇趣旨説明 見平 典（人間・環境学研究科准教授） ◇中国書誌論（総合人間学部科目） 松江 崇（人間・環境学研究科准教授） ◇有機化学演習 B（全学共通科目） 廣戸 聡（人間・環境学研究科准教授） （授業の公開は、令和 3 年 3 月 31 にて終了）	
2021 (R3)	令和と宇宙時代 令和 4 年 3 月 16 日 (水) ~ 5 月 31 日 (火) WEB 公開	オンライン開催 ◇「古代日本人の言語空間～予祝・言霊の基層～」佐野 宏（人間・環境学研究科教授 / 国語学） ◇「宇宙環境に適応する身体運動」 萩生 翔大（人間・環境学研究科講師 / 神経生理学・運動制御学） （講座の公開は、令和 4 年 5 月 31 にて終了）	
2022 (R4)	世界情勢とエネルギー問題 令和 4 年 8 月 9 日 (水) 13 時 30 分 ~ 17 時 00 分 人間・環境学研究科棟 地階大講義室 対面とオンラインのハイブリッド形式	【挨拶】人間・環境学研究科 副研究科長 佐藤 義之 【司会】人間・環境学研究科 准教授 廣戸 聡 セッション 1「グローバル化時代の「戦争」」 ◇講演：柴山 桂太（人間・環境学研究科准教授） ◇パネルディスカッションコメンテーター：津江 広人（人間・環境学研究科教授） ：中筋 朋（人間・環境学研究科准教授） セッション 2「水素エネルギーと触媒技術～水素社会へ向かって～」 ◇講演：藤田 健一（人間・環境学研究科教授） ◇パネルディスカッションコメンテーター：小林 哲也（人間・環境学研究科准教授） ：藤井 悠里（人間・環境学研究科助教）	来 場 70 名

【資料 7-2】総合人間学部オープンキャンパス開催状況

【参加人数】

年度	参加者数
2017 (H29)	2,100
2018 (H30)	2,000
2019 (R1)	1,600
2020 (R2)	8月6日～8月下旬にかけて特設サイトにてWEB開催
2021 (R3)	7月30日～9月30日 特設サイトにてWEB 開催 / 8月5日 オンラインZoom相談会 (参加者数:110名)
2022 (R4)	8月9日特設サイトにてWEB 開催

2022 (令和 4) 年度 総合人間学部オープンキャンパス

【開催日時】2022 年 8 月 9 日 (火)

【企画内容】・総合人間学部長メッセージ (総合人間学部長 浅野 耕太 教授)

- ・学部紹介 (総合人間学部長 浅野 耕太 教授)
- ・ライブ模擬講義 (質疑応答含む)
 - ・模擬講義Ⅰ：11:30 ~ 12:15 「聖書の語りなおし学」勝又 直也 教授
 - ・模擬講義Ⅱ：13:00 ~ 13:45 「汀線の自然史」加藤 真 教授

・オンライン Zoom 交流会 (一般ブースと女子ブースを用意)

総合人間学部学生 (総人生) との交流会

第 1 部 10:00 ~ 11:00

第 2 部 14:00 ~ 15:00

- ・学部説明・模擬講義 (収録)・総人生による学部紹介動画

- ・学部紹介
- ・令和5年度特色入試について
- ・#総合人間学部
- ・模擬講義
- ・「人はなぜ「集団」を作るのか」(人間科学系 吉田 純 教授)
- ・「フラクタルの世界へようこそ！」(認知情報学系 角 大輝 教授)
- ・「『国民の代表』とは？」(国際文明学系 佐野 亘 教授)
- ・「供述心理学とは何か」(人間科学系 大倉 得史 教授) 2021 年度オープンキャンパス模擬講義
- ・「人間言語のルーツを求めて」(認知情報学系 藤田 耕司 教授) 2021 年度模擬講義
- ・「イマジナリーキューブパズルとその数理」(認知情報学系 立木 秀樹 教授) 2020 年度オープンキャンパス模擬講義
- ・「地図から読む歴史」(文化環境学系 山村 亜希 教授) 2020 年度模擬講義
- ・「ダイコン野生種のサイエンス」(自然科学系 瀬戸口 浩彰 教授) 2020 年度模擬講義
- ・研究紹介「新しい歴史学を模索する」(文化環境学系 太田 出 教授 (東洋史学))
- ・研究紹介「総合人間学部で「自然科学」」(自然科学系 小木曽 哲 教授 (岩石学))
- ・研究紹介「過去から未来を予測する！？」(国際文明学系 柴山 桂太 准教授 (社会経済学))

【資料 7-3】本研究科関係発行元による学術誌

	タイトル	発行元 / 最新号 / ISSN/
1	『人間・環境学』	発行: 京都大学大学院人間・環境学研究科 最新号: 第31巻 (2022-12-20) ISSN: 0918-2829 NCID: AN10409834 1巻(1992)
2	『総人・人環フォーラム』	発行: 京都大学大学院人間・環境学研究科(第37号-) 最新号: No.41 (2023-02-28) ISSN: 2434-9143 NCID: AA12922608 第37号(2019) 継続前誌: 『人環フォーラム』京都大学大学院人間・環境学研究科, Vol.1(1996)-Vol.36(2008), ISSN: 1342-3622
3	『人間存在論』	発行: 京都大学大学院人間・環境学研究科総合人間学部『人間存在論』刊行会 最新号: 第29号 (2023-07-01) ISSN: 1341-2698 NCID: AN10540500 第1号(1995)
4	『あいだ／生成』	発行: あいだ哲学会 (京都大学大学院人間・環境学研究科篠原資明研究室→武田宙也研究室) 最新号: 第13号 (2023-03-31) PISSN: 2185-9515 EISSN: 2432-8758 NCID: AA12516163 第1号(2011)
5	『ディアファネース: 芸術と思想』	発行: 京都大学大学院人間・環境学研究科岡田温司研究室 最新号: 第7号 (2020-03-29) NCID: AA12674073 第1号(2013)
6	『文芸表象論集』	発行: 京都大学大学院人間・環境学研究科思想文化論講座文芸表象論分野 (第2号-), 文芸表象会 (第1号) 最新号: 第10号 (2023-01-13) ISSN: 2188-0239 第1号(2014)
7	『MURAKAMI REVIEW』	発行: 京都大学大学院人間・環境学研究科小島基洋研究室内 村上春樹研究フォーラム 最新号: 第4号 (2022-10-31) ISSN: 2434-5148 第0号創刊号(2018)
8	『言語科学論集』 (Papers in Linguistic Science)	発行: 京都大学大学院人間・環境学研究科言語科学講座 最新号: 第28号 (2022-12) NCID: AA11467856 第1号(1995)
9	『ドイツ文学研究 (ドイツ文学研究報告)』	発行: 京都大学人間・環境学研究科ドイツ語部会 (第49号-) 京都大学教養部ドイツ語研究室(第11号-第38号) / 京都大学総合人間学部ドイツ語部会(第39号-第48号) 最新号: 第68号 (2023-03-25) ISSN: 0419-5817 / NCID: AN0014593X / 第11号(1963)- 継続前誌: 『報告』京都大学分校獨逸語研究室, 第1號(1952)- 第2號(1953) 『獨逸文学研究』京都大学教養部獨逸語研究室, 第3號(1954)- 第10號(1961))
10	『社会システム研究』	発行: 京都大学大学院人間・環境学研究科 社会システム研究刊行会 最新号: 第26号 (2023-03) ISSN: 1343-4497 NCID: AA11273113 第1号(1998)
11	『地域と環境』 Region and Environment	発行: 京都大学大学院人間・環境学研究科「地域と環境」研究会 最新号: No.17 (2023-03) ISSN: 1344-0985 NCID: AA11356174 No.1 (1998)
12	『歴史文化社会論講座紀要』	発行: 京都大学大学院人間・環境学研究科歴史文化社会論講座 (第6号-) 最新号: 第20号 (2023-02-25) ISSN: 1344-4824 NCID: AA11893060 第6号 (2009) 継続前誌: 『日本文化環境論講座紀要』京都大学大学院人間・環境学研究科日本文化環境論講座, 第1号 (1999)- 第5号 (2003)
13	『英文学評論』 Review of English Literature	発行: 京都大学大学院人間・環境学研究科英語部会 (第76集-) 京都大学教養部英語教室(第1集-第64集) / 京都大学総合人間学部英語部会(第65集-第75集) 最新号: 第95集 (2023-03-23) ISSN: 0420-8641 NCID: AN00022521 第1集(1954)
14	Contributions from the Biological Laboratory, Kyoto University	発行: 人間・環境学研究科(旧: 教養部生物学教室・総合人間学部自然環境学科) 最新号: Vol.31 No.4 (2022-11-04) ISSN: 0452-9987 NCID: AA00616874 Vol.1 (1955)
15	『いのちの未来』	発行: 京都大学大学院人間・環境学研究科カール・ベッカー研究室 最新号: No.2 (2017-02-18) ISSN: 2423-9445 No.1 創刊号 (2016)
16	『左岸: 京都大学映画メディア研究』	発行: 京都大学大学院人間・環境学研究科 映画メディア合同研究室 最新号: 第2号 (2022-10-31) ISSN: 2436-6013 第1号 (2021)
17	『コンタクト・ゾーン』【終刊】	発行: 京都大学人間・環境学研究科 文化人類学分野 (006-) 最新号: 011 (2019-08-31) ISSN: 2188-5974 (電子版のみ) 006(2013)-011(2019) 継続前誌: 『Contact zone = コンタクト・ゾーン』京都大学人文科学研究所人文学国際研究センター, 001(2007)-005(2012)
18	『文明構造論: 京都大学大学院人間・環境 学研究科現代文明論講座文明構造論分野 論集』【終刊】	発行: 京都大学大学院人間・環境学研究科現代文明論講座文明構造論分野『文明構造論』刊行会 最新号: Vol.10 (2014-10-31) ISSN: 1880-4152 NCID: AA12055843 Vol.1(2005)-Vol.10(2014)

【資料 7-4】アウトリーチ活動について

(件数)

年度		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
出張講義	高等学校・中高一貫校	11	9	14	5	6	9
	小・中学校・小中一貫校	5	5	1	4	2	2
	その他	2	1				
	合計	18	15	15	9	8	11
訪問受入	高等学校・中高一貫校	19	24	19	1	4	13
	小・中学校・小中一貫校	2	5	4			1
	その他	0	4				1
	合計	21	33	23	1	4	15
オンライン講義	高等学校・中高一貫校				3	5	3
	小・中学校・小中一貫校						
	その他						
	合計	0	0	0	3	5	3



各種アンケート調査

8. 各種アンケート調査

【資料 8-1】総合人間学部 授業評価アンケート結果

		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
	開講年度	2020	2020	2021	2021	2022	2022
	対象科目	263	245	261	251	265	244
	履修者数	3,024	2,226	2,846	2,238	2,765	2,277
	回答者数	573	312	584	338	560	294
	回答率	18.9	14.0	20.5	15.1	20.3	12.9
(Q.01) この授業を履修しようと思ったのはなぜですか (複数回答可)	A. シラバスを読んで興味が湧いた	80.3	97.1	82.7	79.0	74.3	75.2
	B. 指導教員の授業だから	8.7	14.3	10.3	7.1	9.6	8.5
	C. 卒業要件に必要なだから	29.1	31.0	27.6	25.4	35.2	23.1
	D. 教員免許等の資格取得に必要な授業だから	7.5	16.3	8.6	8.3	9.8	12.2
	E. その他	0.9	0.8	0.9	1.8	1.6	1.7
	F. 無回答	0.2	0.4	0.3	0.0	0.2	0.0
(Q.02) この授業はどのような形式でしたか (複数回答可)	A. 教員による講義	74.7	69.2	83.6	76.9	81.8	71.1
	B. 学生による発表	15.0	8.3	17.5	9.2	18.4	9.9
	C. 特定のテーマについての討論	15.9	10.9	14.7	7.1	15.2	9.2
	D. 文献の輪読	7.3	4.8	6.0	5.0	7.9	5.1
	E. その他	7.3	0.3	3.4	0.6	3.4	0.7
	F. 無回答	0.2	6.4	0.3	1.2	0.4	4.1
(Q.03) この授業の内容についてどれくらい興味を持ってましたか	A. 非常におもしろく興味が持てた	34.6	38.3	40.0	42.4	39.6	41.2
	B. かなりおもしろく興味が持てた	42.3	40.2	39.3	37.9	34.3	35.1
	C. 少しはおもしろく興味が持てた	20.0	18.4	17.2	17.4	19.5	19.6
	D. あまりおもしろくなく興味が持てなかった	2.4	1.3	1.9	1.5	4.0	2.7
	E. まったくおもしろくなく興味が持てなかった	0.3	0.6	1.2	0.6	1.6	1.0
	F. その他	0.2	0.6	0.3	0.3	0.7	0.3
	G. 無回答	0.2	0.3	0.2	0.0	0.2	0.0
(Q.04) この授業の内容をどの程度理解できましたか	A. とてもよく理解できた	20.8	20.4	24.0	23.9	22.5	29.0
	B. かなり理解できた	30.9	41.1	34.8	34.1	29.5	23.9
	C. まずまず理解できた	42.4	34.2	36.1	36.4	39.7	43.8
	D. あまり理解できなかった	4.5	3.1	3.9	5.0	5.8	3.0
	E. まったく理解できなかった	0.9	0.6	0.7	0.6	1.4	0.0
	F. その他	0.5	0.3	0.3	0.0	1.1	0.3
	G. 無回答	0.0	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(Q.05) この授業はあなたの問題発見能力や問題解決能力に役立ちましたか	A. 大いに役立った	35.6	37.4	41.4	39.8	35.9	37.7
	B. ある程度役立った	42.7	38.1	39.7	39.5	38.9	43.4
	C. 少しは役立った	18.8	19.2	15.4	16.5	17.6	13.8
	D. あまり役立たなかった	2.4	3.8	2.4	2.9	5.5	4.0
	E. まったく役立たなかった	0.5	0.6	0.8	0.9	1.4	0.7
	F. その他	0.0	0.6	0.2	0.0	0.7	0.0
	G. 無回答	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.3
(Q.06) この授業の配布資料、OHPやPower Point による画像資料、板書などの分量と質は妥当なものでしたか	A. とてもよいものだった	33.9	33.7	38.0	42.3	36.7	48.3
	B. かなりよいものだった	43.3	46.2	41.3	36.1	36.7	33.7
	C. まずまずのものだった	19.4	18.3	17.8	18.6	23.6	13.9
	D. あまりよくなかった	2.6	1.0	2.2	2.4	2.3	3.1
	E. 非常に悪かった	0.7	0.3	0.5	0.3	0.5	0.7
	F. 無回答	0.2	0.6	0.2	0.3	0.2	0.3
(Q.07) この授業に何回出席しましたか。現在までの回数を書いてください	A. 13回以上	14.7	45.8	56.2	42.6	47.4	39.8
	B. 10回以上13回未満	60.6	47.1	37.5	42.3	37.6	44.9
	C. 7回以上10回未満	13.3	3.2	3.9	10.7	8.6	10.2
	D. 4回以上7回未満	5.4	1.3	1.0	3.0	3.4	2.4
	E. 4回未満	4.7	0.6	0.3	0.3	2.0	2.4
	F. 無回答	1.4	1.9	1.0	1.2	1.1	0.3
(Q.08) この授業の予習、復習、課題などのためにどれくらいの時間をかけましたか。学期を通じての1週間あたりの平均時間数を30分単位で書いてください	A. 3時間以上	17.3	6.7	10.6	8.6	5.0	4.8
	B. 2時間以上3時間未満	21.5	13.5	12.8	13.3	10.2	7.5
	C. 1時間以上2時間未満	38.4	36.2	35.1	26.6	27.2	27.2
	D. 0.5時間以上1時間未満	18.7	33.7	30.5	37.9	33.3	41.5
	E. 0.5時間未満	3.0	8.0	9.8	13.0	22.2	18.0
	F. 無回答	1.2	1.9	1.2	0.6	2.1	1.0
(Q.09) シラバスを活用しましたか	A. はい	79.4	72.1	77.2	78.4	81.4	82.7
	B. いいえ、またはどちらともいえない	20.6	27.6	22.8	21.0	18.6	16.7
	C. 無回答	0.0	0.3	0.0	0.6	0.0	0.7
(Q.10) 「はい」と回答した人は以下から選んでください。 (複数回答可)	A. 科目選択・履修登録に活用した	97.8	95.6	98.2	95.8	97.1	94.7
	B. 予習・復習に活用した	4.6	2.7	6.7	6.4	4.8	6.6
	C. 受講にあたり授業中などに活用した	3.5	4.0	4.7	4.2	7.0	4.9
	D. 試験・レポートに活用した	5.1	5.8	4.0	10.6	7.5	9.5
	E. その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	F. 無回答						
(Q.11) シラバスの情報は十分なものでしたか(活用の有無にかかわらず答えてください)	A. はい	97.6	97.4	97.1	97.6	95.9	97.6
	B. いいえ	2.3	1.6	2.4	2.1	3.2	2.4
	C. 無回答	0.2	1.0	0.5	0.3	0.9	0.0
(Q.12) 「いいえ」と答えた人は以下から選んでください。(複数回答可)	A. 「授業の概要・目的」の情報が不十分	15.4	0.0	14.3	0.0	22.2	14.3
	B. 「授業計画と内容」の情報が不十分	53.8	80.0	85.7	42.9	61.1	57.1
	C. 「履修要件」の情報が不十分	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	D. 「成績評価の方法・観点及び達成度」の情報が不十分	30.8	20.0	21.4	57.1	33.3	42.9
	E. 「教科書」及び「参考書」の情報が不十分	0.0	0.0	14.3	0.0	16.7	14.3
	F. 「その他」の情報が不十分	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0
	G. その他	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	14.3
(Q.13) この授業の到達目標に照らして達成できたかどうか、ご自身の判断を以下より1つ選択してください	A. 十分達成できた(概ね9割以上)	27.7	26.0	31.0	29.9	32.1	28.9
	B. ほぼ達成できた(概ね8割以上)	60.2	59.0	61.3	53.6	56.1	51.4
	C. どちらともいえない	-	12.5	-	13.6	-	16.0
	D. やや達成(概ね8割未満)できなかった	10.3	1.9	5.8	2.1	8.6	3.1
	E. 達成(概ね6割未満)できなかった	1.6	0.3	1.2	0.6	3.0	0.3
	F. 無回答	0.2	0.3	0.7	0.3	0.2	0.3
(Q.14) 上の13で学習の達成度が「達成できなかった」又は「やや達成できなかった」の場合は達成できなかった理由を、以下より選択してください。 (複数選択可)	A. 授業の速度が速かったため	5.9	14.3	14.6	33.3	13.8	0.0
	B. 予習・復習に十分時間を取ることができなかったため	51.5	28.6	53.7	55.6	46.2	40.0
	C. 説明がわかりにくかったため	16.2	14.6	29.3	22.2	21.5	10.0
	D. 特になし	13.2	28.6	14.6	0.0	20.0	30.0
	E. その他	14.7		4.9	0.0	10.8	10.0
	F. 無回答						

【資料 8-2】人間・環境学研究科 授業評価アンケート結果

		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
		2020	2020	2021	2021	2022	2022
		356	1,053		154	194	181
		1,454	1,484	1,113	821	1,037	742
		254	31	425	186	348	196
		17.5%	2.1%	38.2%	22.7%	33.6%	26.4%
(Q.01) この授業を履修しようと思ったのはなぜですか (複数回答可)	A. シラバスを読んで興味が湧いた	71.3	58.1	69.2	55.4	67.0	62.8
	B. 指導教員の授業だから	25.6	37.8	26.4	41.9	29.9	35.7
	C. 卒業要件に必要だから	28.3	41.9	22.8	24.7	27.6	18.4
	D. 教員免許等の資格取得に必要な授業だから	2.0	0.0	6.4	6.5	6.3	5.6
	E. その他	0.8	0.0	0.9	1.1	0.6	0.0
	F. 無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(Q.02) この授業はどのような形式でしたか	A. 教員による講義	44.1	29.0	54.8	37.1	52.6	35.7
	B. 学生による発表	23.2	48.4	23.3	37.1	22.4	39.8
	C. 特定のテーマについての討論	12.2	9.7	10.1	10.2	10.6	7.1
	D. 文献の輪読	7.9	9.7	7.8	10.2	9.8	12.8
	E. その他	0.4	3.2	0.5	0.5	0.6	0.5
	F. 無回答	12.2	0.0	3.5	4.8	4.3	4.1
(Q.03) この授業の内容についてどれくらい興味を持っていましたか	A. 非常におもしろく興味が持てた	53.7	83.9	59.8	64.5	57.9	65.1
	B. かなりおもしろく興味が持てた	30.6	9.7	30.2	26.9	30.3	26.7
	C. 少しはおもしろく興味が持てた	12.2	3.2	8.8	8.6	10.1	3.7
	D. あまりおもしろくなく興味が持てなかった	0.4	3.2	0.2	0.0	1.1	1.0
	E. まったくおもしろくなく興味が持てなかった	0.4	0.0	0.5	0.5	0.0	0.5
	F. その他	1.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
	G. 無回答	1.6	0.0	0.2	0.0	0.6	0.0
(Q.04) この授業の内容をどの程度理解できましたか	A. とてもよく理解できた	28.6	71.0	38.7	41.8	42.2	42.9
	B. かなり理解できた	40.9	12.9	37.4	36.5	35.1	32.8
	C. まずまず理解できた	25.1	16.1	21.3	20.1	20.4	20.7
	D. あまり理解できなかった	3.1	0.0	2.1	1.1	1.7	3.0
	E. まったく理解できなかった	0.4	0.0	0.2	0.5	0.0	0.5
	F. その他	1.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
	G. 無回答	0.8	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0
(Q.05) この授業はあなたの問題発見能力や問題解決能力に役立ちましたか	A. 大いに役立った	54.2	90.3	59.4	73.4	56.8	68.4
	B. ある程度役立った	33.2	3.2	31.1	18.1	35.2	24.5
	C. 少しは役立った	11.5	6.5	8.1	7.4	6.5	5.1
	D. あまり役立たなかった	0.0	0.0	0.7	0.5	0.9	1.0
	E. まったく役立たなかった	0.4	0.0	0.2	0.5	0.3	0.5
	F. その他	0.4	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
	G. 無回答	0.4	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
(Q.06) この授業の配布資料、OHPやPower Point による画像資料、板書などの分量と質は妥当なものでしたか	A. とてもよいものだった	55.5	87.1	60.2	60.2	63.5	70.4
	B. かなりよいものだった	28.7	6.5	28.5	24.7	24.1	17.9
	C. まずまずのものだった	12.2	6.5	10.4	14.5	10.6	9.7
	D. あまりよくなかった	0.8	0.0	0.2	0.5	0.6	1.5
	E. 非常に悪かった	0.4	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
	F. 無回答	2.4	0.0	0.2	0.0	1.1	0.0
(Q.07) この授業に何回出席しましたか。現在までの回数を書いてください	A. 13回以上	21.7	54.8	50.8	49.5	45.7	37.2
	B. 10回以上13回未満	45.7	25.8	31.3	33.3	39.1	38.3
	C. 7回以上10回未満	14.2	3.2	8.2	12.9	9.2	8.7
	D. 4回以上7回未満	3.9	12.9	3.8	1.6	2.6	6.6
	E. 4回未満	9.1	0.0	3.1	1.1	2.3	4.6
	F. 無回答	5.5	3.2	2.8	1.6	1.1	4.6
(Q.08) この授業の予習、復習、課題などのためにどれくらいの時間をかけましたか。学期を通じての1週間あたりの平均時間を30分単位で書いてください	A. 3時間以上	29.1	41.9	22.8	31.7	13.8	19.9
	B. 2時間以上3時間未満	16.1	25.8	19.3	13.4	16.1	13.8
	C. 1時間以上2時間未満	32.3	16.1	28.0	27.4	38.5	45.9
	D. 0.5時間以上1時間未満	15.0	12.9	20.2	21.0	23.0	14.8
	E. 0.5時間未満	3.5	0.0	7.1	4.3	7.5	3.6
	F. 無回答	3.9	3.2	2.6	2.2	1.1	2.0
(Q.09) シラバスを活用しましたか	A. はい	59.4	58.1	65.9	61.3	66.4	63.8
	B. いいえ、またはどちらともいえない	39.8	41.9	33.6	38.2	32.8	35.2
	C. 無回答	0.8	0.0	0.5	0.5	0.9	1.0
(Q.10) 「はい」と回答した人は以下から選んでください。 (複数回答可)	A. 科目選択・履修登録に活用した	87.4	100.0	90.4	85.1	84.8	90.4
	B. 予習・復習に活用した	34.4	38.9	18.6	29.8	22.1	16.8
	C. 受講にあたり授業中などに活用した	25.8	50.0	22.9	27.2	28.6	22.4
	D. 試験・レポートに活用した	25.2	55.6	16.4	19.3	16.5	12.0
	E. その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(Q.11) シラバスの情報は十分なものでしたか(活用の有無にかかわらず答えてください)	A. はい	96.1	100.0	96.7	98.9	98.9	95.9
	B. いいえ	1.6	0.0	2.6	0.5	0.6	2.0
	C. 無回答	2.4	0.0	0.7	0.5	0.6	2.0
(Q.12) 「いいえ」と答えた人は以下から選んでください。 (複数回答可)	A. 「授業の概要・目的」の情報が不十分	25.0	0.0	9.1	0.0	50.0	50.0
	B. 「授業計画と内容」の情報が不十分	75.0	0.0	63.6	0.0	100.0	75.0
	C. 「履修要件」の情報が不十分	0.0	0.0	45.5	0.0	0.0	0.0
	D. 「成績評価の方法・観点及び達成度」の情報が不十分	0.0	0.0	18.2	100.0	0.0	25.0
	E. 「教科書」及び「参考書」の情報が不十分	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	F. 「その他」の情報が不十分	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	G. その他	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0
(Q.13) この授業の到達目標に照らして達成できたかどうか、ご自身の判断を以下より1つ選択してください	A. 十分達成できた(概ね9割以上)	37.0	51.6	42.6	45.7	41.1	44.9
	B. ほぼ達成できた(概ね8割以上)	50.4	35.5	46.4	49.5	48.3	41.8
	C. どちらともいえない	10.2	3.2	8.5	3.8	9.2	8.7
	D. あまり達成できなかった(概ね8割未満)	0.4	3.2	0.5	0.5	0.9	1.0
	E. 達成できなかった(概ね6割未満)	0.8	3.2	0.7	0.5	0.3	1.0
	F. 無回答	1.2	3.2	1.4	0.0	0.3	2.6
(Q.14) 上の13で学習の達成度が「達成できなかった」又は「やや達成できなかった」の場合は達成できなかった理由を、以下より選択してください。	A. 授業の速度が速かったため	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	B. 予習・復習に十分時間を取ることができなかったため	0.0	0.0	40.0	50.0	50.0	25.0
	C. 説明がわかりにくかったため	33.3	0.0	20.0	50.0	25.0	50.0
	D. 特になし	33.3	100.0	20.0	50.0	25.0	0.0
	E. その他	33.3	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0

【資料 8-3】総合人間学部 在学生・卒業生アンケート結果 総合人間学部 1 回生

	入学年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
	回答数	121	121	124	124	123
(1) 総合人間学部を選択した理由は何ですか(複数回答)	1. 勉強したい学問分野が本学部にあったから 2. 入試の難易度が自分の実力に合致していた 3. かなり幅広く何でも勉強できそうだから 4. 卒業後の就職を考えて 5. 大学院への進学を考えて 6. 高校や予備校の先生に勧められたから 7. 親や親戚など周囲の人に勧められたから 8. その他 無回答	40.5 19.0 84.3 1.7 2.5 5.0 2.5 6.6	48.8 14.9 85.1 3.3 5.0 4.1 3.3 5.8	55.6 16.9 88.7 1.6 6.5 5.6 6.5 5.6	50.0 21.0 94.4 8.1 5.6 4.8 4.0 2.4	43.1 24.4 93.5 4.9 3.3 3.3 2.4 3.3
(2) 受験に際して、総合人間学部の教育内容について十分な情報を得ることができましたか	1. 十分情報を得ることができた 2. 少しは情報を得ることができた 3. あまり情報を得ることができなかった 無回答	37.2 47.9 14.9	31.7 53.3 15.0	35.8 55.3 8.9	28.6 63.5 7.9	39.0 50.4 10.6
(3) 総合人間学部の「オープン・キャンパス」について知っていますか	1. 参加した 2. 参加しなかったが、知っていた 3. 知らなかった 無回答	38.8 35.5 25.6	35.8 40.0 24.2	41.1 46.8 12.1	26.6 43.5 29.8	29.3 37.4 33.3
(4) 貴方自身についてお尋ねします。						
① 総合人間学部を受験したのは、現役でしたか？ 浪人でしたか	1. 現役 2. 浪人 未記入	51.2 41.3 7.4	66.7 30.0 3.3	61.3 37.1 1.6	61.8 35.0 3.2	69.7 30.3
総合人間学部受験は、何回目ですか(いわゆる浪人の方)	1. 1 回目 2. 2 回目 3. 3 回目以上 無回答	62.0 38.0 0.0	62.0 38.0 0.0	61.5 35.9 6.5	58.2 34.5 7.3	62.7 37.3 0.0
② 総合人間学部を受験したのは、文系ですか理系ですか	1. 文系 2. 理系 3. 特色入試 4. 国費留学生 無回答	45.5 45.5 0.8 1.7 6.6	50.0 44.2 0.8 0.8 4.2	50.0 44.4 3.2 0.8 1.6	50.8 43.5 3.2 0.0 2.4	50.8 45.1 2.5 1.6
③ 総合人間学部を受験することを決めたのはいつですか	1. 高校 2 年生までに決めた 2. 高校 3 年生の秋までに決めた 3. 大学入試センター試験の後に決めた 4. その他 無回答	37.2 26.4 11.6 17.4 7.4	28.3 46.7 9.2 13.3 2.5	29.0 45.2 8.9 15.3 1.6	33.9 41.9 7.3 13.7 3.2	37.5 44.2 8.3 10.0
(5) 現在の気持ちに近いものに、いくつでも○をつけてください(複数回答)	1. 思い切り勉強したい 2. 思い切りのんびり楽しみたい 3. サークル活動を始めたい 4. 新しい友人をつくりたい 5. 先生と話したい 6. アルバイトに精を出したい 7. その他 無回答	61.2 54.5 40.5 56.2 19.8 20.7 1.7 5.8	60.8 56.7 56.7 67.5 30.0 22.5 5.0	72.6 57.3 54.0 77.4 37.1 25.8 2.4	63.7 62.1 43.5 72.6 30.6 23.4 2.4	69.9 68.3 56.9 74.8 32.5 19.5 6.5
(6) 現在、所属してみたいと思っている学系(複数回答 (人))	文系 理系	20 11 16 11 16 12	25 23 14 16 12 10	30 27 13 20 7 1	32 19 27 15 6 6	32 19 27 15 6 6
	1. 人間科学系 2. 認知情報学系 3. 国際文明学系 4. 文化環境学系 5. 自然科学系 6. まったく未定	15 20 7 7 20 13	14 31 6 8 14 5	24 27 7 5 17 7	22 30 6 4 12 8	22 30 6 4 12 8

総合人間学部 2 回生

	進学年度		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)				
	回答数		119	112	120	72	105				
(1) 単位の取得状況はどうですか	1. ほぼ順調に取得している		67.5	72.3	78.3	84.7	81.9				
	2. あまり取得できなかった		30.0	25.9	20.8	15.3	16.2				
	3. それ以外		1.7	1.8	0.8	0.0	1.9				
	無回答		0.8								
(2) 授業を含めて週に何時間ぐらい大学で勉強していますか	1. 20 時間未満		30.8	30.4	23.3	15.3	58.1				
	2. 20～30 時間未満		39.2	36.6	45.0	50.0	23.8				
	3. 30～40 時間未満		25.8	26.8	23.3	20.8	14.3				
	4. 40～50 時間未満		2.5	3.6	5.0	13.9	2.9				
	5. 50 時間以上		1.7	1.8	3.3	0.0	1.0				
	無回答			0.9							
(3) 自宅等学外で週に何時間ぐらい勉強していますか	1. 5 時間未満		51.7	60.7	59.2	48.6	32.4				
	2. 5～10 時間未満		37.5	26.8	29.2	29.2	31.4				
	3. 10～15 時間未満		5.8	7.1	7.5	9.7	16.2				
	4. 15～20 時間未満		4.2	1.8	1.7	9.7	3.8				
	5. 20 時間以上		0.8	3.6	2.5	2.8	16.2				
	無回答										
(4) 授業についてどう思いますか	1. 有益な授業が多い		36.7	39.3	50.8	56.9	53.3				
	2. 有益な授業も少しはある		59.2	57.1	46.7	41.7	43.8				
	3. 有益な授業はほとんどない		2.5	3.6	2.5	1.4	2.9				
	無回答		1.7								
(5) 授業のカリキュラムについて、どう思いますか	1. ほぼ今のままでよい		71.7	61.9	71.7	60.6	62.9				
	2. もっと学系ごとに履修すべき科目を提示してほしい		25.0	32.7	25.0	31.0	29.5				
	3. その他		3.3	5.3	3.3	8.5	7.6				
(6) 自分の教員アドバイザーを訪れたことはありますか	1. ある		20.9	21.8	14.2	17.1	22.9				
	2. ない		73.0	72.7	73.3	68.6	74.3				
	3. 誰がアドバイザーか知らない		6.1	5.5	12.5	14.3	1.9				
	無回答						0.9				
(7) 卒業論文／卒業研究指導教員を決定する時期について、いつにすべきだと思いますか	1. 4 回生になったとき		13.9	15.5	14.8	11.4	20.0				
	2. 3 回生の後期開始時点		52.2	43.6	47.5	52.9	47.6				
	3. 3 回生になったとき		30.4	37.3	32.0	31.4	27.6				
	4. もっと早い時期		1.7	2.7	3.3	2.9	1.0				
	5. その他		0.0	0.0	1.6	1.4	2.9				
	無回答		1.7	0.9	0.8		0.9				
(8) 文系、理系、どちらで入学し、現在どの学系に所属していますか	学系別	1. 人間科学系		(文系)	60.9	62.5	76.9	52.4	56.8		
				(理系)	39.1	37.5	23.1	47.6	43.2		
		2. 認知情報学系		(文系)	28.6	42.9	30.8	45.0	40.6		
				(理系)	71.4	57.1	69.2	55.0	59.4		
		3. 国際文明学系		(文系)	71.4	65.0	81.0	61.5	68.4		
	(理系)			28.6	35.0	19.0	38.5	31.6			
	4. 文化環境学系		(文系)	88.9	71.4	60.0	75.0	71.4			
			(理系)	11.1	28.6	40.0	25.0	28.6			
	5. 自然科学系		(文系)	40.0	12.5	26.7	0.0	25.0			
			(理系)	60.0	87.5	73.3	100.0	75.0			
	文理別	文系	1. 人間科学系		43.8	26.3	31.3	32.4	39.6		
					2. 認知情報学系		12.5	31.6	18.8	26.5	24.5
							3. 国際文明学系		23.4	22.8	26.6
					4. 文化環境学系				12.5	17.5	14.1
							5. 自然科学系		6.3	1.8	6.3
					6. 無回答				1.6	0.0	3.1
		理系	1. 人間科学系				35.3	17.0	10.9	29.4	34.8
2. 認知情報学系					39.2	45.3	49.1	32.4	41.3		
					3. 国際文明学系		11.8	13.2	7.3	14.7	13.0
4. 文化環境学系							2.0	7.5	10.9	5.9	4.3
					5. 自然科学系		11.8	13.2	20.0	17.6	6.5
6. 無回答								3.8	1.8		
		(9) 分属の時期についていつにすべきだと思いますか	1. 今のまま		87.0	70.0	74.2	78.6	81.9		
2. もっと早く			3.5	2.7	0.0	1.4	1.9				
3. もっと遅く			9.6	27.3	25.8	20.0	16.3				

総合人間学部 3 回生

	進学年度	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)
	回答数	122	119	119	68	105
(1) 単位の取得状況はどうですか	1. 卒業論文／卒業研究を除いて、今年度でほぼ必要単位を取得できる見込み 2. あと 2 年かければ必要単位を取得できる見込み 3. あと 2 年では必要単位を取得するのは困難 4. それ以外	69.2 27.5 2.5 0.8	64.7 31.1 4.2	63.1 31.5 3.6 1.8	67.6 29.4 1.5 1.5	60.0 35.2 1.9 2.9
(2) 授業を含めて週に何時間ぐらい大学で勉強していますか	1. 20 時間未満 2. 20～30 時間未満 3. 30～40 時間未満 4. 40～50 時間未満 5. 50 時間以上	42.5 39.2 10.8 4.2 3.3	40.3 39.5 14.3 4.2 1.7	34.2 46.8 17.1 1.8	27.9 48.5 17.6 4.4 1.5	41.9 34.3 17.1 5.7 1.0
(3) 自宅等学外で週に何時間ぐらい勉強していますか	1. 5 時間未満 2. 5～10 時間未満 3. 10～15 時間未満 4. 15～20 時間未満 5. 20 時間以上	57.5 30.0 9.2 1.7 1.7	46.2 37.0 7.6 4.2 5.0	52.3 33.3 9.9 3.6 0.9	47.1 35.3 8.8 2.9 5.9	36.2 38.1 11.4 3.8 10.5
(4) 授業についてどう思いますか	1. 有益な授業が多い 2. 有益な授業も少しはある 3. 有益な授業はほとんどない 無回答	41.7 56.7 1.7	35.3 58.8 5.0 0.8	45.0 54.1 0.9	64.7 35.3 0.0	59.0 39.0 1.9
(5) 自分の教員アドバイザーを訪れたことはありますか	1. ある 2. ない 3. 誰がアドバイザーか知らない 無回答	48.2 50.0 1.8	44.8 53.4 0.9 0.9	51.8 46.4 1.8	52.9 39.7 7.4	20.0 75.2 4.8
(6) 卒業論文／卒業研究指導教員を決定する時期について、いつにすべきだと思いますか	1. 4 回生になったとき 2. 3 回生の後期開始時点 3. 3 回生になったとき 4. もっと早い時期 5. その他 無回答	16.4 62.7 17.3 0.9 2.7	23.3 56.9 14.7 0.9 1.7 2.6	30.0 48.2 17.3 3.6 0.9	16.2 61.8 17.6 1.5 2.9	23.8 60.0 12.4 1.0 1.9 0.9
(7) 授業のカリキュラムについて、どう思いますか	1. ほぼ今のままでよい 2. もっと学系ごとに履修すべき科目を提示してほしい 3. その他 無回答	68.2 24.5 7.3	62.9 27.6 8.6 0.9	63.6 30.0 5.5 0.9	70.6 23.5 5.9	67.6 24.8 7.6

総合人間学部 4 回生

	進学年度	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)
	回答数	154	146	146	61	118
(1) 授業を含めて週に何時間ぐらい大学で勉強していますか	1. 20 時間未満 2. 20～30 時間未満 3. 30～40 時間未満 4. 40～50 時間未満 5. 50 時間以上 無回答	63.2 24.3 6.6 1.3 3.9 0.7	60.3 26.7 10.3 2.1 0.7	54.6 30.0 11.5 2.3 1.5	62.3 29.5 3.3 4.9 0.0	64.4 19.5 11.0 2.5 2.5
(2) 自宅等学外で週に何時間ぐらい勉強していますか	1. 5 時間未満 2. 5～10 時間未満 3. 10～15 時間未満 4. 15～20 時間未満 5. 20 時間以上 無回答	52.6 28.9 7.2 5.9 4.6 0.7	47.3 29.5 11.0 5.5 6.8	40.0 35.4 10.8 6.2 7.7	50.8 21.3 13.1 4.9 9.8	28.8 36.4 15.3 4.2 14.4 0.9
(3) 卒業論文／卒業研究の指導教員は決まっていますか	1. 決まっている 2. まだ決まっていない 3. 今年度は卒業論文／卒業研究に入らない 4. それ以外（具体的に ）	86.2 9.9 3.3 0.7	87.0 8.2 2.7 2.1	93.1 4.6 1.5 0.8	80.3 14.8 0.0 4.9	93.2 14.8 0.0 4.9
(4) 卒業論文／卒業研究のテーマ（方向性）は決まりつつあります	1. ほぼ決まっている 2. 決まりつつある 3. まだ決まっていない 4. その他（具体的に ） 無回答	26.3 36.8 36.2 0.0 0.7	27.4 39.7 31.5 0.7 0.7	32.3 46.2 21.5 0.0	21.3 34.4 41.0 3.3	26.3 39.8 33.1 0.8
(5) 単位の取得状況はどうですか	1. 卒業論文/卒業研究を除いて、ほぼ必要単位を取得済み 2. 今年度ですべての必要単位を取得できる見込み 3. 今年度では、必要単位を全部取得することは困難 4. それ以外（具体的に ）	39.9 51.6 7.2 1.3	49.3 44.5 4.8 1.4	49.3 44.5 4.8 1.4	44.3 47.5 6.6 1.6	58.5 36.4 5.1 0.0
(6) 就職活動はどうですか	1. すでに内定の感触をつかんだ 1a. すでに内定の感触をつかんだが、さらに就職活動を続 2. 現在、就職活動を続けている 3. 就職活動をしようにも手がかりがつかめず困っている 4. 就職をする意思はない 4a. 意思はなく、大学院進学を希望 無回答	14.3 7.1 45.5 7.1 30.5 19.5 2.6	14.4 4.1 40.4 10.3 34.9 23.3 2.7	16.4 0.7 31.5 4.1 32.9 28.1 2.7	11.5 6.6 34.4 11.5 39.3 32.8 6.6	15.4 5.6 37.6 7.7 39.3 36.8
(7) 大学院進学への準備はどうですか（複数回答）	1. 人間・環境学研究科を受験予定 2. 京都大学の人環以外の研究科を受験予定 3. 他大学の研究科を受験予定 4. 大学院進学への希望はない 4a. 大学院進学への希望はなく、就職活動は行っている 無回答	18.2 11.0 4.5 57.8 23.4 1.9	26.0 12.3 8.9 57.5 19.2 2.7	22.6 8.2 4.8 50.7 24.7 6.2	29.5 11.5 4.9 57.4 16.4	33.1 12.7 8.5 52.5 41.9 0.8
(8) 就職活動や大学院進学について相談できる教員や事務職員はいますか	1. いる 2. いない 3. 不必要 4. その他 無回答	51.7 39.2 8.4 0.0 0.7	53.4 37.7 7.5 0.7 0.7	59.4 32.0 8.6 0.0	55.0 31.7 13.3 0.0	55.9 27.1 14.4 0.0 2.5

総合人間学部 卒業生

	卒業年度	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)
	回答数	113	102	102	94	85
(1) 授業を含めて週に何時間ぐらい大学で勉強しましたか	1. 20 時間未満 2. 20～30 時間未満 3. 30～40 時間未満 4. 40～50 時間未満 5. 50 時間以上 無回答	37.2 38.9 18.6 2.7 1.8 0.9	49.0 29.4 16.7 1.0 2.9 1.0	46.6 25.4 14.4 6.8 5.9 0.8	35.4 38.1 20.4 2.7 3.5	45.9 34.1 16.5 2.4 1.2
(2) 自宅等学外で週に何時間ぐらい勉強しましたか	1. 5 時間未満 2. 5～10 時間未満 3. 10～15 時間未満 4. 15～20 時間未満 5. 20 時間以上 無回答	51.3 29.2 10.6 0.9 7.1 0.9	50.0 27.5 14.7 2.9 3.9 1.0	42.4 31.4 11.0 5.9 8.5 0.8	41.6 26.5 22.1 3.5 6.2	38.8 42.4 10.6 2.4 5.9
(3) 授業から得るものは大きかったですか	1. 大きかった 2. 大きいとは言えないが、得るものがあった 3. ある程度は得るものがあった 4. 得るものはあまりなかった	44.2 38.1 14.2 3.5	41.2 39.2 15.7 3.9	44.9 35.6 15.3 4.2	47.8 36.3 14.2 1.8	51.3 39.8 7.1 1.8
(4) 卒業論文／卒業研究から得るものは大きかったですか	1. 大きかった 2. 大きいとは言えないが、得るものがあった 3. ある程度は得るものがあった 4. 得るものはあまりなかった	69.9 23.9 4.4 1.8	59.8 27.5 8.8 3.9	58.8 31.1 9.2 0.8	71.7 20.4 4.4 3.5	67.3 25.7 7.1
(5) 振り返ってみて、卒業論文／卒業研究の指導教員を決定する時期についていつにすべきだと思いますか	1. 4 回生になったとき 2. 3 回生の後期開始時点 3. 3 回生になったとき 4. もっと早い時期 5. その他 無回答	21.2 44.2 30.1 1.8 1.8 0.9	19.6 42.2 28.4 6.9 1.0 2.0	21.2 41.5 25.4 5.9 5.1 0.8	17.7 39.8 33.6 6.2 2.7	22.1 38.9 33.6 5.3 0.0
(6) 副専攻から得るものは大きかったですか	1. 大きかった 2. 大きいとは言えないが、得るものがあった 3. ある程度は得るものがあった 4. 得るものはあまりなかった	24.3 41.4 23.4 10.8	32.0 31.1 27.2 9.7	32.2 41.5 18.6 7.6	39.8 34.5 19.5 6.2	37.2 36.3 11.5 15.0
(7) 総合人間学部のディプロマポリシー掲げる能力についてどれくらい身につきましたか						
(7-1) 幅広い知識と教養	1. かなり身についた 2. ある程度身についた 3. あまり身につかなかった 4. まったく身につかなかった 無回答	- - - - -	18.6 54.9 22.5 2.9 1.0	20.3 67.8 9.3 1.7 0.8	24.8 61.1 14.2 0.0 0.0	31.8 56.5 9.4 2.4
(7-2) プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力	1. かなり身についた 2. ある程度身についた 3. あまり身につかなかった 4. まったく身につかなかった 無回答	- - - - -	13.7 43.1 36.3 5.9 1.0	15.3 49.2 29.7 5.1 0.8	16.8 50.4 29.2 3.5	14.1 43.5 35.3 7.1
(7-3) リーダーシップ	1. かなり身についた 2. ある程度身についた 3. あまり身につかなかった 4. まったく身につかなかった 無回答	- - - - -	7.8 26.5 49.0 15.7 1.0	10.2 31.4 38.1 18.6 1.7	10.6 38.1 46.9 4.4	12.9 29.4 42.4 15.3

	卒業年度	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)	2020 (R2)
	回答数	113	102	102	94	85
(7-4) 専門的分野の知識と理解力	1. かなり身についた 2. ある程度身についた 3. あまり身につかなかった 4. まったく身につかなかった 無回答	- - - - -	17.6 56.9 18.6 2.0 4.9	22.9 60.2 15.3 1.7	22.1 60.2 15.9 0.0 1.8	27.1 58.5 10.6 0.0 3.5
(7-5) 多角的な視点や柔軟な発想力	1. かなり身についた 2. ある程度身についた 3. あまり身につかなかった 4. まったく身につかなかった 無回答	- - - - -	27.5 52.0 13.7 2.0 4.9	33.1 55.9 9.3 1.7	32.7 57.5 8.0 0.0 1.8	40.0 49.4 7.1 0.0 3.5
(8) 総合人間学部の教育について、どう思いますか	1. ほぼ現状のままでよい 2. 改善すべき点が残されている 3. 抜本的に改善すべきである 無回答	54.1 32.4 11.7 1.8	48.0 43.1 2.9 5.9	57.6 35.6 5.1 1.7	61.9 31.0 5.3 1.8	64.7 28.2 2.4 4.7
(10) 学生生活全般についてあなたの満足度は、どの程度ですか	1. 満足している 2. ある程度満足している 3. あまり満足していない 4. 不満である 無回答	- - - - -	44.1 38.2 5.9 2.0 9.8	56.8 28.8 5.9 0.0 8.5	49.6 38.1 5.3 0.9 6.2	48.7 38.1 2.7 0.9 8.8
(12) 全学共通の学習を振り返って入学当初と比べ、どの程度向上した又は得られたと思いますか						
(12-1) 専門以外の幅広い知識・教養	1. 大いに向上した 2. ある程度向上した 3. あまり向上しなかった 4. まったく向上しなかった 無回答	- - - - -	16.7 57.8 14.7 2.0 8.8	21.2 66.1 11.0 1.7	20.4 69.0 8.8 0.0 1.8	24.8 61.1 7.1 1.8 5.3
(12-2) 専門分野で基礎となる学力	1. 大いに向上した 2. ある程度向上した 3. あまり向上しなかった 4. まったく向上しなかった 無回答	- - - - -	24.5 47.1 16.7 2.9 8.8	23.7 57.6 16.1 2.5	25.7 61.1 10.6 0.9 1.8	22.1 61.1 7.1 1.8 5.3
(12-3) 英語の能力(英語以外の言語を第1外国語とした方は、その言語)	1. 大いに向上した 2. ある程度向上した 3. あまり向上しなかった 4. まったく向上しなかった 無回答	- - - - -	8.8 21.6 43.1 17.6 8.8	8.5 37.3 35.6 18.6	8.0 35.4 38.1 16.8 1.8	7.1 31.0 45.1 11.5 5.3
(12-4) 初修外国語の能力	1. 大いに向上した 2. ある程度向上した 3. あまり向上しなかった 4. まったく向上しなかった 5. 初修外国語は修得しなかった 無回答	- - - - - -	6.9 30.4 41.2 11.8 1.0 8.8	12.8 40.2 34.2 11.1 1.7	17.7 38.1 33.6 8.8 0.0 1.8	14.2 36.3 37.2 8.0 0.9 3.5
(12-5) 将来の研究分野や進路を決める手がかり	1. 大いに向上した 2. ある程度向上した 3. あまり向上しなかった 4. まったく向上しなかった 無回答	- - - - -	17.6 52.9 19.6 1.0 8.8	18.6 56.8 16.1 8.5	31.0 46.0 17.7 2.7 2.7	23.9 46.0 20.4 5.3 5.3

【資料 8-4】人間・環境学研究科 修士課程 M2 学生アンケート結果

		進学年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
		対象者数	54	214	209	173	171
		回答数		86	99	74	80
		回答率		40.2	47.4	42.8	46.8
【1】所属する専攻を選んでください(2022年度まで)	1. 共生人間学専攻 2. 共生文明学専攻 3. 関連環境学専攻		48.1 29.6 22.2	43.0 30.2 26.7	41.4 30.3 28.3	45.9 23.0 31.1	- - -
【1】修士課程での専門分野を選んでください	1. 文科系 2. 理科系 3. 領域横断的		52.8 35.8 11.3	47.7 37.2 15.1	54.5 39.4 6.1	47.3 41.9 10.8	58.8 32.5 8.8
【2】希望している進路を選んでください。	1. 人間・環境学研究科博士課程に進学 2. 他研究科、他大学大学院などに進学 3. 就職 4. その他()		34.0 7.5 58.5 0.0	31.4 5.8 58.1 4.7	21.2 5.1 71.7 3.0	25.7 0.0 66.2 8.1	38.8 2.5 57.5 1.3
【3】本研究科のホームページおよび『学生便覧』(p. 1) に書かれている本研究科の教育理念・各専攻の教育理念をいつ知りましたか	1. 入学以前 2. 入学後のガイダンス 3. 修士1年生の間 4. 今まで知らなかった		29.6 55.6 9.3 5.6	40.7 40.7 5.8 12.8	37.4 44.4 7.1 11.1	37.8 44.6 12.2 5.4	53.8 30.0 7.5 8.8
【4】本研究科の教育体制は理念に沿うものだと思いますか	1. おおいにそう思う 2. そう思う 3. どちらともいえない 4. そうは思わない 5. まったくそうは思わない		20.8 54.7 18.9 5.7 0.0	22.1 51.2 19.8 7.0 0.0	20.2 59.6 19.2 0.0 1.0	16.2 64.9 17.6 1.4 0.0	30.0 50.0 16.3 3.8 0.0
【5】週に何時間ぐらい大学で学業・研究に従事していますか	1. 20 時間未満 2. 20～30 時間未満 3. 30～40 時間未満 4. 40～50 時間未満 5. 50～60 時間未満 6. 60 時間以上 無回答		20.4 9.3 25.9 24.1 11.1 9.3 1.2	31.4 18.6 16.3 20.9 5.8 5.8 1.0	33.3 15.2 14.1 19.2 10.1 7.1 1.0	28.4 23.0 12.2 16.2 10.8 9.5 1.0	21.3 27.5 20.0 16.3 12.5 2.5 1.0
【6】週に自宅等学外で何時間ぐらい学業に時間を使っていますか	1. 5 時間未満 2. 5～10 時間未満 3. 10～15 時間未満 4. 15～20 時間未満 5. 20 時間以上 無回答		35.2 29.6 11.1 9.3 14.8 1.2	16.3 17.4 20.9 10.5 33.7 1.0	20.2 26.3 15.2 13.1 24.2 1.0	25.7 20.3 18.9 10.8 24.3 1.0	30.0 23.8 17.5 16.3 12.5 1.0
【7】大学院での学業に意欲的に取り組んでいると思いますか	1. おおいに取り組んでいる 2. まずまず取り組んでいる 3. どちらとも言えない 4. 十分意欲的に取り組んでいるとは言え 5. 意欲的に取り組んでいない 無回答		29.6 59.3 3.7 5.6 1.9 1.2	38.4 46.5 9.3 3.5 1.2 1.0	27.3 48.5 16.2 4.0 3.0 1.0	24.3 63.5 9.5 2.7 0.0 1.0	33.8 42.5 13.8 8.8 1.3 1.0
【8】大学院での授業科目の単位をどの程度取得できていると思いますか	1. おおいに取得できている 2. まずまず取得できている 3. どちらとも言えない 4. あまり取得できているとは言えない 5. まったく取得できていない		66.7 31.5 1.9 0.0 0.0	68.6 30.2 1.2 0.0 0.0	52.5 41.4 6.1 0.0 0.0	63.5 35.1 0.0 1.4 0.0	68.8 25.0 5.0 1.3 0.0
【9】修士課程に入学した時、本研究科でどのような研究能力・知識を身に付けることを学業の目標にしましたか(複数回答可)	1. 実験を適切に計画して遂行する能力 2. データを分析する能力 3. 研究課題を発見する能力 4. 文献(外国語を含む)を読む能力 5. 論理的に思考して推論する能力 6. 専門分野に関する幅広い知識 7. 学術論文を書く能力 8. 学会などで研究発表する能力 9. 人間関係を築く能力 10. その他		38.9 38.9 51.9 50.0 72.2 72.2 40.7 31.5 13.0 0.0	44.2 60.5 61.6 68.6 74.4 77.9 57.0 32.6 24.4 0.0	39.4 44.4 68.7 69.7 76.8 76.8 50.5 21.2 13.1 1.0	43.2 55.4 62.2 51.4 68.9 62.2 52.7 39.2 29.7 0.0	41.3 43.8 62.5 51.3 75.0 77.5 50.0 28.8 16.3 0.0

		入学年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
		対象者数		214	209	173	171
		回答数	54	86	99	74	80
		回答率		40.2	47.4	42.8	46.8
【10】修士課程の1年目を終えた段階で、入学当初目標としていた学業の成果はあがっていると思いますか	1. おおいにあがっている		13.0	10.5	13.1	13.5	21.3
	2. まあまああがっている		54.0	59.3	55.6	68.9	56.3
	3. どちらともいえない		27.0	22.1	27.3	13.5	18.8
	4. あまりあがっていない		4.0	4.7	2.0	4.1	3.8
	5. まったくあがっていない		2.0	2.3	2.0	0.0	0.0
	6. その他			1.2			0.0
【11】修士課程の2年目であなたが学業の上で目標とすることをあげてください（複数回答可）	1. 実験を適切に計画して遂行する能力		29.6	41.9	33.3	41.9	40.0
	2. データを分析する能力		44.4	53.5	41.4	54.1	56.3
	3. 研究課題を発見する能力		42.6	52.3	50.5	40.5	45.0
	4. 文献（外国語を含む）を読む能力		44.4	52.3	57.6	52.7	48.8
	5. 論理的に思考して推論する能力		70.4	65.1	66.7	56.8	62.5
	6. 専門分野に関する幅広い知識		55.6	62.8	57.6	52.7	62.5
	7. 学術論文を書く能力		79.6	76.7	84.8	79.7	76.3
	8. 学会などで研究発表する能力		33.3	44.2	33.3	43.2	48.8
	9. 人間関係を築く能力		13.0	23.3	18.2	24.3	25.0
	10. その他		0.0	0.0	1.0	0.0	0.0
		無回答		1.2			
【12】修士課程の講義・演習などのカリキュラムと内容、研究指導などの教育は、研究能力の向上に役立つようにできていると思いますか	1. おおいにそう思う		25.9	30.2	24.2	35.1	28.8
	2. そう思う		57.4	53.5	56.6	54.1	55.0
	3. どちらともいえない		13.0	8.1	15.2	9.5	12.5
	4. そうは思わない		3.7	4.7	4.0	0.0	3.8
	5. まったくそうは思わない		0.0	2.3	0.0	0.0	0.0
		無回答		1.2		1.4	
【13】教室・演習室・実験室などの設備や数、院生室の設備や机の数、図書室の蔵書や利用条件などにどの程度満足していますか	1. おおいに満足している		30.2	29.1	22.2	35.1	31.3
	2. おおむね満足している		41.5	50.0	55.6	39.2	40.0
	3. どちらともいえない		13.2	12.8	12.1	10.8	13.8
	4. やや不満を感じている		11.3	7.0	9.1	12.2	12.5
	5. おおいに不満を感じている		3.8	0.0	1.0	1.4	1.3
		無回答		1.2		1.4	1.3
【14】副指導教育、アドバイザーについておたずねします							
【14】副指導教員に何か相談したいと思ったことがありますか	1. ある		11.1	18.6	21.2	25.7	21.3
	2. ない		88.9	80.2	77.8	73.0	78.8
	無回答			1.2	1.0	1.4	
【15】【14】で「ある」と回答した人におたずねします。今までに副指導教員に相談したことはありますか	1. 何度もある		34.0	43.8	33.3	15.8	29.4
	2. 1度ある		33.0	31.3	33.3	26.3	11.8
	3. まだない		33.0	18.8	14.3	57.9	41.2
	4. 副指導教員が誰か知らない		0.0	6.3	19.0	0.0	17.6
【16】アドバイザーに何か相談したいと思ったことがありますか	1. ある		13.0	19.8	15.2	20.3	16.3
	2. ない		87.0	79.1	81.8	78.4	81.3
	無回答			1.2	3.0	1.4	2.5
【17】【16】で「ある」と回答した人におたずねします。今までにアドバイザーに相談したことはありますか	1. 何度もある		16.0	41.2	26.7	46.7	38.5
	2. 1度ある		17.0	23.5	13.3	6.7	15.4
	3. まだない		67.0	35.3	46.7	46.7	23.1
	4. アドバイザーが誰か知らない		0.0	0.0	13.3	0.0	23.1
【18】副指導教員、アドバイザーを置く制度が学生にとって役立つと思いますか	1. おおいにそう思う		15.1	14.0	9.1	16.2	26.3
	2. そう思う		37.7	27.9	40.4	41.9	31.3
	3. どちらともいえない		34.0	46.5	43.4	28.4	30.0
	4. そうは思わない		7.5	8.1	5.1	10.8	10.0
	5. まったくそうは思わない		5.7	2.3	2.0	1.4	2.5
	無回答			1.2		1.4	

【資料 8-5】人間・環境学研究科 修士課程修了時アンケート結果

	修了年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
	対象者数	142	149	154	159	134
	回答者数	122	112	117	109	101
	回答率	85.9	75.2	76.0	68.6	75.4
【1】研究科の教育理念・各専攻の教育理念を何時知りましたか	1.入学以前	49.2	46.4	41.9	51.4	53.5
	2.入学後のガイダンス	33.6	34.8	42.7	30.3	35.6
	3.修士1年生の間	3.3	2.7	3.4	2.8	3.0
	4.修士2年生の間	0.0	4.5	0.9	0.0	1.0
	5.修了まで知らなかった	13.9	11.6	11.1	15.6	6.9
【2】研究科の理念に沿った教育体制であったと思いますか	1.おおいにそう思う	13.9	27.7	19.7	27.5	25.7
	2.そう思う	57.4	58.0	57.3	47.7	57.4
	3.どちらともいえない	23.8	13.4	21.4	21.1	11.9
	4.そうは思わない	4.9	0.9	0.9	1.8	3.0
	5.まったくそうは思わない	0.0	0.0	0.9	1.8	2.0
【3】週毎に何時間ぐらい大学で学業・研究に従事しましたか。	1.20 時間未満	12.3	11.6	27.4	28.4	25.7
	2.20～30 時間	17.2	18.8	17.9	25.7	18.8
	3.30～40 時間	23.8	27.7	17.1	14.7	20.8
	4.40～50 時間	21.3	17.0	18.8	19.3	10.9
	5.50～60 時間	15.6	10.7	12.0	5.5	8.9
	6.60 時間以上	9.8	13.4	6.8	6.4	14.9
	無回答		0.9			
【4】週毎に自宅等学外では何時間ぐらい学業・研究に時間を使いましたか	1.5 時間未満	28.7	22.3	19.7	23.9	16.8
	2.5～10 時間未満	23.0	34.8	33.3	25.7	27.7
	3.10～15 時間未満	20.5	18.8	15.4	16.5	18.8
	4.15～20 時間未満	10.7	10.7	8.5	9.2	7.9
	5.20 時間以上	17.2	13.4	23.1	23.9	28.7
	無回答				0.9	
【5】講義・演習等の配分は適切だと思いますか	1.適切	31.1	48.2	51.3	45.0	49.5
	2.概ね適切	50.0	39.3	34.2	41.3	44.6
	3.どちらともいえない	14.8	11.6	12.0	9.2	3.0
	4.やや不適切	0.8	0.9	2.6	3.7	2.0
	5.不適切	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答					1.0
【6】大学院の学業・研究に意欲的に取り組んだと思いますか	1.取り組んだ	54.9	56.3	54.7	45.9	58.4
	2.概ね取り組んだ	41.0	36.6	36.8	41.3	33.7
	3.どちらともいえない	0.8	5.4	3.4	9.2	4.0
	4.十分意欲的に取り組んだとは言えない	3.3	0.9	1.7	3.7	4.0
	5.意欲的に取り組まなかった	0.0	0.9	3.4	0.0	0.0
【7】修士課程で予定していた学業の成果が上がりましたか	1.おおいに上がった	22.1	29.5	32.5	24.8	41.6
	2.まあまあ上がった	55.7	50.9	53.8	52.3	45.5
	3.どちらともいえない	13.1	14.3	9.4	18.3	9.9
	4.あまりあがらなかった	8.2	3.6	2.6	4.6	5.0
	5.まったくあがらなかった	0.8	1.8	1.7	0.9	0.0
【8】修士課程での学業・研究を通じて、幅広い知識を習得したと思いますか	1. 修得した	27.0	42.0	33.3	35.8	47.5
	2. 概ね修得した	54.1	49.1	47.9	48.6	37.6
	3. どちらともいえない	14.8	7.1	13.7	11.9	11.9
	4. あまり修得しなかった	4.1	1.8	1.7	2.8	3.0
	5. 修得しなかった	0.0	0.0	3.4	0.9	0.0

	修了年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
	対象者数	142	149	154	159	134
	回答者数	122	112	117	109	101
	回答率	85.9	75.2	76.0	68.6	75.4
【9】 修士課程での学業・研究を通じて、高度な研究能力を修得したと思いますか	1. 修得した	13.9	25.9	25.6	23.9	32.7
	2. 概ね修得した	59.0	52.7	47.9	54.1	46.5
	3. どちらともいえない	23.8	17.9	21.4	18.3	12.9
	4. あまり修得しなかった	3.3	2.7	4.3	1.8	6.9
	5. 修得しなかった	0.0	0.0	0.9	1.8	1.0
	無回答		0.9			
【10】 修士課程はあなたにとって有意義でしたか	1. 有意義だった	60.7	74.1	66.7	62.4	73.3
	2. 概ね有意義だった	34.4	23.2	27.4	31.2	21.8
	3. どちらともいえない	4.9	1.8	4.3	2.8	4.0
	4. 必ずしも有意義ではなかった	0.0	0.0	0.9	2.8	1.0
	5. 有意義ではなかった	0.0	0.9	0.9	0.9	0.0
【11】 修士課程での学業・経験は進学先または就職先で役立つと思いますか	1. 役立つと思う	59.8	58.0	66.7	55.0	66.3
	2. どちらかという役立つと思う	23.8	27.7	17.9	26.6	19.8
	3. わからない	13.1	10.7	11.1	15.6	7.9
	4. あまり役立たないと思う	2.5	2.7	3.4	0.9	4.0
	5. まったく役立たないと思う	0.8	0.0	0.9	1.8	1.0
	無回答		0.9			1.0
【12】 修士課程のカリキュラム・教育等は、実力を身につける上で、上手く組まれていましたか	1. 組まれていた	15.6	28.6	35.0	23.9	37.6
	2. 概ね組まれていた	44.3	47.3	40.2	54.1	50.5
	3. どちらともいえない	27.9	21.4	19.7	17.4	5.9
	4. 必ずしも組まれていなかった	9.0	0.0	3.4	2.8	5.0
	5. 組まれていなかった	3.3	0.9	1.7	1.8	1.0
	無回答		0.9			
【13】 研究環境について満足度を聞かせてください	1. 満足	40.2	42.0	52.1	43.1	50.5
	2. 概ね満足	41.0	44.6	34.2	42.2	36.6
	3. どちらともいえない	13.1	9.8	10.3	9.2	8.9
	4. やや不満	4.1	2.7	1.7	2.8	3.0
	5. 不満	1.6	0.0	1.7	2.8	1.0
	無回答		0.9			
【14】 指導教員の指導に満足しましたか	1. 満足	68.0	67.0	68.4	70.6	66.3
	2. 概ね満足	22.1	23.2	19.7	22.9	27.7
	3. どちらともいえない	8.2	1.8	11.1	3.7	4.0
	4. やや不満	0.8	2.7	0.0	1.8	2.0
	5. 不満	0.8	5.4	0.9	0.9	2.0

【資料 8-6】人間・環境学研究科 博士後期課程修了(認定退学)時アンケート結果

	修了(認定退学) 年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
	対象者数				123
	回答数	60	48	34	35
	回答率				28.5
(Q01) 研究科の教育理念・各専攻の教育理念をいつ知りましたか	1. 入学以前	48.3	47.9	44.1	40.0
	2. 入学後のガイダンス	31.7	27.1	26.5	42.9
	3. 博士1年生の間	6.7	6.3	8.8	0.0
	4. 博士2年生の間	0.0	0.0	0.0	2.9
	5. 博士3年生から修了(認定退学)までの間	5.0	0.0	5.9	2.9
	6. 修了(認定退学)まで知らなかった	8.3	18.8	14.7	11.4
(Q02) 研究科の理念に沿った教育体制であったと思いますか	1. おおいにそう思う	23.3	27.1	23.5	31.4
	2. そう思う	50.0	41.7	41.2	42.9
	3. どちらともいえない	20.0	25.0	32.4	20.0
	4. そうは思わない	5.0	2.1	0.0	2.9
	5. まったくそうは思わない	1.7	0.0	2.9	2.9
	無回答		4.2		
(Q03) 週に何時間ぐらい大学で学業・研究に従事しましたか	1. 20 時間未満	42.4	39.6	50.0	51.4
	2. 20-30 時間	15.3	10.4	11.8	14.3
	3. 30-40 時間	22.0	10.4	8.8	8.6
	4. 40-50 時間	1.7	10.4	11.8	14.3
	5. 50-60 時間	10.2	10.4	0.0	11.4
	6. 60 時間以上	8.5	18.8	17.6	0.0
(Q04) 週毎に自宅等学外では何時間ぐらい学業・研究に時間を使いましたか	1. 5 時間未満	27.1	14.6	11.8	8.6
	2. 5-10 時間	20.3	25.0	8.8	20.0
	3. 10-15 時間	13.6	14.6	11.8	8.6
	4. 15-20 時間	27.1	14.6	17.6	11.4
	5. 20 時間以上	11.9	31.3	50.0	51.4
(Q05) 大学院の学業・研究に意欲的に取り組んだと思いますか	1. 取り組んだ	44.1	54.2	50.0	51.4
	2. 概ね取り組んだ	39.0	33.3	35.3	42.9
	3. どちらともいえない	8.5	10.4	8.8	5.7
	4. 十分意欲的に取り組んだとは言えない	8.5	2.1	5.9	0.0
	5. 意欲的に取り組まなかった	0.0	0.0	0.0	0.0
(Q06) 博士後期課程で予定していた学業の成果が上がりましたか	1. おおいにあがった	23.7	31.3	35.3	28.6
	2. まあまああがった	42.4	35.4	44.1	42.9
	3. どちらともいえない	16.9	25.0	11.8	17.1
	4. あまりあがらなかった	16.9	8.3	5.9	8.6
	5. まったくあがらなかった	0.0	0.0	2.9	2.9

	修了(認定退学) 修了年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
	対象者数 回答数 回答率	60	48	34	123 35 28.5
(Q07) 博士後期課程での学業・研究を通じて、高度な学識や学際的な幅広い視野に基づく研究能力を修得したと思いますか	1. 修得した 2. 概ね修得した 3. どちらともいえない 4. あまり修得しなかった 5. 修得しなかった	26.3 36.8 29.8 7.0 99.9	29.2 50.0 16.7 2.1 2.1	38.2 32.4 26.5 2.9 0.0	37.1 45.7 17.1 0.0 0.0
(Q08) 博士後期課程での学業・研究を通じて、着想の独創性を修得したと思いますか。	1. 修得した 2. 概ね修得した 3. どちらともいえない 4. あまり修得しなかった 5. 修得しなかった	29.3 44.8 20.7 5.2 0.0	31.3 50.0 14.6 2.1 2.1	32.4 44.1 23.5 0.0 0.0	51.4 40.0 8.6 0.0 0.0
(Q09) 博士後期課程での学業・研究を通じて、問題解決の企画力を修得したと思いますか。	1. 修得した 2. 概ね修得した 3. どちらともいえない 4. あまり修得しなかった 5. 修得しなかった 無回答	31.0 39.7 24.1 5.2 0.0	31.3 37.5 25.0 2.1 2.1	35.3 41.2 20.6 2.9 0.0	42.9 40.0 17.1 0.0 0.0
(Q10) 博士後期課程での学業・研究を通じて、持続的努力を修得したと思いますか。	1. 修得した 2. 概ね修得した 3. どちらともいえない 4. あまり修得しなかった 5. 修得しなかった	46.6 20.7 20.7 10.3 1.7	45.8 35.4 14.6 4.2 0.0	41.2 38.2 17.6 2.9 0.0	45.7 40.0 14.3 0.0 0.0
(Q11) 博士後期課程はあなたにとって有意義でしたか	1. 有意義だった 2. 概ね有意義だった 3. どちらともいえない 4. あまり有意義ではなかった 5. 有意義ではなかった	64.4 27.1 6.8 1.7 0.0	66.7 22.9 10.4 0.0 0.0	64.7 17.6 14.7 0.0 2.9	68.6 25.7 5.7 0.0 0.0
(Q12) 博士後期課程での学業・研究・経験は就職先または今後の進路で役立つと思いますか	1. 役立つと思う 2. どちらかというと役立つと思う 3. わからない 4. あまり役立たないと思う 5. 全く役立たないと思う	78.3 10.0 11.7 0.0 0.0	66.7 14.6 14.6 4.2 0.0	73.5 14.7 8.8 2.9 0.0	77.1 11.4 11.4 0.0 0.0
(Q13) 博士後期課程のカリキュラム・教育等は、実力を身につける上で、上手く組みまれていましたか	1. 組みまれていた 2. 概ね組みまれていた 3. どちらともいえない 4. 必ずしも組みまれていなかった 5. 組みまれていなかった	12.3 43.9 29.8 8.8 5.3	29.2 27.1 35.4 6.3 2.1	23.5 41.2 26.5 2.9 5.9	28.6 34.3 31.4 0.0 5.7
(Q14) 研究環境について、満足度を聞かせてください	1. 満足 2. 概ね満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満	48.3 38.3 6.7 6.7 0.0	43.8 31.3 18.8 4.2 2.1	52.9 32.4 11.8 0.0 2.9	42.9 42.9 11.4 0.0 2.9
(Q15) 指導教員の指導に満足しましたか	1. 満足 2. 概ね満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満	63.3 31.7 5.0 0.0 0.0	56.3 29.2 14.6 0.0 0.0	67.6 20.6 8.8 2.9 0.0	71.4 14.3 8.6 5.7 0.0

【資料 8-7】 総合人間学部 卒業生（卒業後 3 年目）アンケート結果

調査実施年度		2020	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)
回答期間 (Webアンケートシステムにより実施)			2021年5月12日 ～6月11日	2022年6月1日～ 6月19日	2023年5月16日 ～6月15日
卒業時期		H29(2017)年 3月	H30(2018)年 3月	H31(2019)年 3月	R2(2020)年 3月
全卒業生数		125		140	121
調査対象者数 (卒業時に、メールアドレス利用の同意を取得)		96	73	79	76
回答者数		29	15	27	31
回答率		30.2%	20.5%	34.2%	40.8%
(Q.01) 現在の身分についてお答えください	A. 学生	13.8	13.3	14.8	0.0
	B. 社会人	86.2	86.7	85.2	96.8
	C. その他	0.0	0.0	0.0	3.2
	D. 無回答				
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
(Q.02) Q.01 で「学生」とお答えされた方にお聞きします。当てはまるのは次のうちどれですか	A. 京都大学	75.0	50.0	75.0	－
	B. 他大学	25.0	50.0	25.0	－
	C. その他	0.0	0.0	0.0	－
	D. 無回答				
	計	100.0	100.0	100.0	－
(Q.3) Q.01で「社会人」とお答えされた方にお聞きします。当てはまるのは次のうちどれですか	A. 就労者 (非正規雇用を含む)	100.0	92.3	95.6	96.8
	B. 非就労者	0.0	7.7	0.0	0.0
	C. 無回答			4.3	3.2
	計	100.0	100.0	99.9	100.0
(Q.04) 本学での学習により身についた、卒業後に役立った能力を選択してください(複数選択可)	A. 幅広い教養・知識	96.6	80.0	85.2	87.1
	B. 専門的な知識と技術	31.0	33.3	25.9	16.1
	C. 国際性 (外国のことを理解する力及び日本のことを伝える力)	24.1	20.0	18.5	16.1
	D. 企画力、創造的思考力	24.1	26.7	25.9	35.5
	E. 実行力	13.8	33.3	11.1	22.6
	F. 協調性 (チームワーク)	13.8	20.0	28.5	25.8
	G. コミュニケーション能力	13.8	13.3	29.6	35.5
	H. リーダーシップ	0.0	13.3	7.4	9.7
	I. たくましさ (問題解決力)	27.6	40.0	37.0	35.5
	J. 自己管理能力	31.0	53.3	22.2	32.3
	K. 倫理観	3.4	26.7	3.7	41.9
	L. その他	0.0	6.7	3.7	6.5
	M. 無回答			3.7	
(Q.06) 本学での学習では身につかなかった能力を以下より選択してください(複数選択可)	A. 幅広い教養・知識	0.0	0.0	3.7	0.0
	B. 専門的な知識と技術	27.6	26.7	40.7	32.3
	C. 国際性 (外国のことを理解する力及び日本のことを伝える力)	27.6	33.3	25.9	38.7
	D. 企画力、創造的思考力	20.7	26.7	11.1	19.4
	E. 実行力	6.9	26.7	11.1	12.9
	F. 協調性 (チームワーク)	24.1	46.7	44.4	25.8
	G. コミュニケーション能力	10.3	26.7	22.2	25.8
	H. リーダーシップ	37.9	60.0	37.0	32.3
	I. たくましさ (問題解決力)	6.9	13.3	11.1	9.7
	J. 自己管理能力	10.3	0.0	29.6	12.9
	K. 倫理観	10.3	13.3	3.7	6.5
	L. その他	0.0	0.0	3.7	0.0
	M. 無回答	6.9		7.4	12.9
(Q.08) 総合人間学部の副専攻に関してお答えください。副専攻から得るものは大きかったですか	A. 大きかった	37.9	33.3	33.3	32.3
	B. 大きいとは言えないが、得るものがあった	34.5	46.7	29.6	45.2
	C. ある程度は得るものがあった	13.8	20.0	25.9	16.1
	D. 得るものはあまりなかった	13.8	0.0	11.1	3.2
	E. 無回答				3.2
計		100.0	100.0	99.9	100.0
(Q.10) 総合人間学部の卒業論文・卒業研究、及びそれにかかわる勉学は現在役立っていますか	A. 非常に役に立っている	20.7	53.3	25.9	41.9
	B. 少しは役に立っている	62.1	6.7	63.0	38.7
	C. どちらともいえない	10.3	26.7	11.1	16.1
	D. ほとんど役に立っていない	3.4	13.3	0.0	0.0
	E. まったく役に立っていない	3.4	0.0	0.0	3.2
	F. 無回答				
計		99.9	100.0	100.0	99.9

【資料 8-8】人間・環境学研究科 修士課程修了生（修了後 3 年目）アンケート結果

実施年度		2021	2022	2023
対象		2018 (H30)年3月 修士課程修了生	2019 (H31)3月 修士課程修了生	2020 (R2)3月 修士課程修了生
対象者数		84	83	105
回答者数		7	9	6
回答率		8.3	11	5.7
(Q.01) 現在の身分についてお答えください	A. 学生	0.0	11.1	0.0
	B. 社会人	85.7	66.7	100.0
	C. その他	14.3	11.1	0.0
	D. 無回答		11.1	
	計	100.0	100.0	100.0
(Q.02) Q.01 で「学生」とお答えされた方にお聞きます。当てはまるのは次のうちどれですか	A. 京都大学	－	100.0	－
	B. 他大学	－	0.0	－
	C. その他	－	0.0	－
	計	－	100.0	0.0
(Q.03) Q.01 で「社会人」とお答えされた方にお聞きます。当てはまるのは次のうちどれですか	A. 就労者（非正規雇用を含む）	85.7	100.0	100.0
	B. 非就労者	0.0	0.0	0.0
	計	85.7	100.0	100.0
(Q.04) 人間・環境学研究科での学習により身についた、修了後に役立った能力を選択してください（複数選択可）	A. 幅広い教養・知識	42.9	66.7	100.0
	B. 専門的な知識と技術	42.9	44.4	33.3
	C. 国際性（外国のことを理解する力及び日本のことを伝える力）	28.6	44.4	33.3
	D. 企画力、創造的思考力	28.6	55.6	100.0
	E. 実行力	14.3	22.2	66.7
	F. 協調性（チームワーク）	14.3	22.2	33.3
	G. コミュニケーション能力	28.6	66.7	50.0
	H. リーダーシップ	0.0	11.1	0.0
	I. たくましさ（問題解決力）	57.1	66.7	83.3
	J. 自己管理能力	14.3	44.4	50.0
	K. 倫理観	14.3	22.2	33.3
	L. その他	0.0	11.1	16.7
(Q.06) 人間・環境学研究科での学習では身につかなかった能力を選択してください（複数選択可）	A. 幅広い教養・知識	14.3	11.1	0.0
	B. 専門的な知識と技術	14.3	11.1	16.7
	C. 国際性（外国のことを理解する力及び日本のことを伝える力）	28.6	22.2	33.3
	D. 企画力、創造的思考力	28.6	11.1	0.0
	E. 実行力	28.6	11.1	0.0
	F. 協調性（チームワーク）	28.6	22.2	33.3
	G. コミュニケーション能力	14.3	22.2	33.3
	H. リーダーシップ	28.6	44.4	66.7
	I. たくましさ（問題解決力）	14.3	11.1	16.7
	J. 自己管理能力	14.3	0.0	33.3
	K. 倫理観	14.3	22.2	0.0
	L. 無回答	14.3		
(Q.08) 【修士修了者】 修士論文に関わる研究、およびそれに伴う勉学は現在役立っていますか	A. 非常に役に立っている	57.1	33.3	16.7
	B. 少しは役に立っている	14.3	44.4	83.3
	C. どちらともいえない	14.3	11.1	0.0
	D. ほとんど役に立っていない	14.3	11.1	0.0
	E. まったく役に立っていない	0.0	0.0	0.0
	計	100.0	99.9	100.0
(Q.10) 【修士課程修了者】 人間・環境学研究科修士課程を修了したことは良かったと思いますか	A. とても良かったと思う	42.9	66.7	83.3
	B. 良かったと思う	42.9	33.3	16.7
	C. どちらともいえない	14.3	0.0	0.0
	D. 良くなかった	0.0	0.0	0.0
	計	100.1	100.0	100.0

【資料 8-9】人間・環境学研究科 博士後期課程修了生（修了後 3 年目）アンケート結果

実施年度		2021	2022	2023
		平成30年3月	平成31年3月	令和2年3月
対象		博士後期課程修了生(認定退学含む)	博士後期課程修了生(認定退学含む)	博士後期課程修了生(認定退学含む)
対象者数		19	18	40
回答者数		3	7	9
回答率		15.8	38.9	22.5
(Q.01) 現在の身分についてお答えください	A. 学生	0.0	0.0	0.0
	B. 社会人	100.0	100.0	77.8
	C. その他	0.0	0.0	11.1
	D. 無回答			11.1
	計	100.0	100.0	100.0
(Q.02) Q.01 で「学生」とお答えされた方にお聞きます。当てはまるのは次のうちどれですか	A. 京都大学	-	-	-
	B. 他大学	-	-	-
	C. その他	-	-	-
	計			
(Q.03) Q.01 で「社会人」とお答えされた方にお聞きます。当てはまるのは次のうちどれですか	A. 就労者	100.0	100.0	100.0
	B. 非就労者	0.0	0.0	0.0
	計	100.0	100.0	100.0
(Q.04) 人間・環境学研究科での学習により身についた、修了後に役立った能力を選択してください(複数選択可)	A. 幅広い教養・知識	33.3	85.7	66.7
	B. 専門的な知識と技術	66.7	100.0	88.9
	C. 国際性(外国のことを理解する力及び日本のことを伝える力)	33.3	57.1	22.2
	D. 企画力、創造的思考力	33.3	28.6	55.6
	E. 実行力	33.3	42.9	33.3
	F. 協調性(チームワーク)	33.3	28.6	33.3
	G. コミュニケーション能力	33.3	28.6	33.3
	H. リーダーシップ	0.0	14.3	0.0
	I. たくましさ(問題解決力)	66.7	57.1	33.3
	J. 自己管理能力	33.3	28.6	22.2
	K. 倫理観	0.0	14.3	33.3
	L. その他	0.0	0.0	0.0
(Q.06) 人間・環境学研究科での学習では身につかなかった能力を選択してください(複数選択可)	A. 幅広い教養・知識	66.7	0.0	0.0
	B. 専門的な知識と技術	0.0	0.0	0.0
	C. 国際性(外国のことを理解する力及び日本のことを伝える力)	33.3	14.3	22.2
	D. 企画力、創造的思考力	33.3	14.3	11.1
	E. 実行力	0.0	0.0	11.1
	F. 協調性(チームワーク)	0.0	28.6	0.0
	G. コミュニケーション能力	0.0	14.3	0.0
	H. リーダーシップ	33.3	14.3	33.3
	I. たくましさ(問題解決力)	0.0	0.0	0.0
	J. 自己管理能力	0.0	0.0	11.1
	K. 倫理観	33.3	28.6	0.0
	L. 無回答		42.9	33.3
(Q.08) 【人環の修士修了者のみ】修士論文に関わる研究、およびそれに伴う勉学は現在役立っていますか	A. 非常に役に立っている	66.7	42.9	66.7
	B. 少しは役に立っている	0.0	28.6	0.0
	C. どちらともいえない	0.0	0.0	11.1
	D. ほとんど役に立っていない	0.0	0.0	0.0
	E. まったく役に立っていない	0.0	0.0	0.0
	F. 無回答	33.3	28.6	22.2
	計	100.0	100.1	100.0
(Q.10) 【人環の修士課程修了者】人間・環境学研究科修士課程を修了したことは良かったと思いますか	A. とても良かったと思う	66.7	42.9	22.2
	B. 良かったと思う	0.0	28.6	44.4
	C. どちらともいえない	0.0	0.0	11.1
	D. 良くなかった	0.0	0.0	0.0
	E. 無回答	33.3	28.6	22.2
	計	100.0	100.1	99.9
(Q.11) 【博士後期課程修了者】博士論文に関わる研究、およびそれに伴う勉学は現在役立っていますか	A. 非常に役に立っている	66.7	85.7	100.0
	B. 少しは役に立っている	0.0	14.3	0.0
	C. どちらともいえない	33.3	0.0	0.0
	D. ほとんど役に立っていない	0.0	0.0	0.0
	E. まったく役に立っていない	0.0	0.0	0.0
	計	100.0	100.0	100.0
(Q.13) 【博士後期課程修了者】人間・環境学研究科博士後期課程を修了したことは良かったと思いますか？	A. とても良かったと思う	66.7	85.7	88.9
	B. 良かったと思う	0.0	0.0	11.1
	C. どちらともいえない	33.3	0.0	0.0
	D. 良くなかった	0.0	0.0	0.0
	E. 無回答		14.3	
	計	100.0	100.0	100.0

人環レビュー 資料編 2022

教育・研究活動の自己評価 資料編

2024年3月発行

編集・発行 京都大学大学院人間・環境学研究科

自己点検・評価委員会

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

TEL: 075-753-6599(総務企画室) FAX: 075-753-7908

<https://www.h.kyoto-u.ac.jp/>

印刷・製本 有限会社レイ・プリンティング

©2013 Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University

本誌の無断転写・転載を禁じます。